

# 九州医療科学大学 学修行動・学生生活に関するアンケート結果 報告書 令和7年度(2025年度)まとめ

## 教育イノベーション委員会

### 1. はじめに

本学では平成28年度(2016年度)より、「学生生活並びに事務部門アンケート」として、全学の学生を対象に、毎年、調査を実施してきた。調査の目的は、学生生活及び、それに関わる大学事務部門の実態を把握し、学生生活に対する大学側の支援の更なる充実や改善を図るための基礎資料を得ることであった。

令和5年度(2023年度)より、教育イノベーションの観点から、学生の学修行動を把握した上で、その行動をより好ましく改善していく必要があることを踏まえ、従来の「学生生活並びに事務部門アンケート」に「学修行動」調査も含める形とし、新たに「学修行動・学生生活に関するアンケート」(※以下「アンケート」と表記する。)としてリニューアルが図られることになった。「アンケート」は、「学修行動」調査、「学生生活」調査、「自由記述」の3部構成となっている。

「学修行動」調査は、学生自らの学修行動を振り返ってもらい、それに基づいて大学や学科のレベルで必要となる教育的な支援につなげることを企図している。また、「学生生活」調査についても、学生生活が学修行動を支える土台となっていることから、その調査結果を教学マネジメントに活用していくことを企図している。「学修行動」調査、「学生生活」調査での回答は、複数の選択肢から選択できる方式としている。「自由記述」では、大学の改善点や要望を自由に記載できる方式としている。

令和7年度(2025年度)の「アンケート」について、実施方法と全体および学科単位での集計結果を以下に示す。この結果を踏まえて、大学や学科での教育的支援のあり方を検討した。

### 2. アンケート実施方法

アンケートの内容と配付・回収：アンケートの設問(別紙1)は「学修行動について」に関する項目(結果の図I-1~10)、「学生生活について」に関する項目(結果の図II-1~10)の2項目と自由記述である。回答は選択肢から1つまたは複数選ぶ形式及び「自由記述」の欄があり、大学生活の中で相談したいことや要望、大学に対して改善してほしいことや提案等があれば記入することになっている。

#### ※アンケート設問(別紙1)

実施時期については、9月~11月に本学学習支援システムユニバーサルパスポート(本学WEB学習支援システム)において、学生自身がWEB上で回答した。

**アンケート対象学生数：(892名中 回答者460名 回答率51.6%)**

令和7年度(2025年度)のアンケートの対象となった学生数を下記※表1にまとめた。

学科	学年	回答者数	無回答者数	合計	回答率	備考
スポ	1年	34	33	67	51%	
	2年	24	37	61	39%	
	3年	17	12	29	59%	
	4年	10	24	34	29%	
	計	85	106	191	45%	
臨床	2年	1	0	1	100%	
	3年	12	9	21	57%	
	4年	20	5	25	80%	
	計	33	14	47	70%	
動物	1年	18	16	34	53%	
	2年	7	14	21	33%	
	3年	5	18	23	22%	
	4年	4	20	24	17%	
	計	34	68	102	33%	
生命	1年	17	6	23	74%	
	2年	14	16	30	47%	
	3年	22	19	41	54%	
	4年	10	35	45	22%	
	計	63	76	139	45%	
心理	1年	30	7	37	81%	
	2年	11	9	20	55%	
	3年	5	16	21	24%	
	4年	11	18	29	38%	
	計	57	50	107	53%	
薬	1年	48	9	57	84%	
	2年	26	9	35	74%	
	3年	33	5	38	87%	
	4年	30	13	43	70%	
	5年	24	22	46	52%	
	6年	27	58	85	32%	
	計	188	116	304	62%	
大学全体	合計	460	430	892	51.6%	

※表1

## アンケート集計・解析方法とフィードバック：

各学科の学年単位で回答の割合を図示した。令和7年度のアンケート回答率は全体で51.6%となった。オンラインでのアンケートで学生の自由なタイミングでの回答を求め、多くの学生から意見を集約することができたが、一部の学科では改善が必要である。来年度も引き続きアンケート実施計画を学生に配付し、事前周知を行うことで、回答率のさらなる向上を図っていく。

集計されたカテゴリーデータについては、薬学科（6年制学科）と薬学科以外の大学全体（4年制学科群）に分け、さらに学科ごとの全体集計結果と学年別集計結果に分け、グラフとして纏めた。グラフは、1）質問別の各選択肢の度数分布、2）質問別の各選択肢の相対度数分布、の2種類を作成した。集計された自由記述データについては、回答内容別に関係する学科・部署別に振り分け、表として纏めた。前年度より全学レベルや各学科・部署レベルで纏められた集計結果を共有して検証できる体制としているが、今後も改善すべき点をタイムリーにあぶり出して対策を講じていくことで、学生のより好ましい学修行動・学生生活に結び付けていく必要がある。

※「薬学科（6年制学科）」以下「6年制学科」と表記する。

※「薬学科以外の大学全体（4年制学科群）」以下「4年制学科」と表記する。

## 3. アンケート結果

アンケート結果については、アンケート内容である「学修行動について」、「学生生活について」、各学科学年単位での回答割合を図で示した。

### 全学的アンケート結果（892名中 回答者460名 回答率51.6%）

#### 「学修行動について」（図I-1～10）

##### ・学修時間（設問I-1,2）

授業以外の学修時間は、授業がある日では、最多は「30-60分未満」が40.9%で、次いで「30分未満」（25.0%）であり、60分未満が6割を占めている。また、「0分」が9.6%と1割弱あった。60分以上は「60-120分未満」が15.7%、「120分以上」が8.9%で、両者を合わせると約25%であった。

授業がない日では、「30分未満」（25.1%）が最多で、「30-60分未満」（21.6%）、「60-120分未満」（19.8%）、「120分以上」（19.0%）とつづく。60分以上は約4割で授業がある日よりも長くなっている。しかし、「0分」が14.6%であり、授業がある日よりも比率が高くなっていた。

学年別にみると、授業がある日では、すべての学年で「30-60分未満」が最多であり、各学年とも4割前後を占めている。2年生と3年生は「30分未満」の比率が1年生4年生よりも高く、4年生は「120分以上」の比率が高くなっている。

授業がない日では、1・2・3年生において「30分未満」と「0分」の比率が高まり、とくに1・3年生は「0分」の比率が25%前後あるのに対し、4年生は「60-120分未満」と「120分以上」を合わせて4割程度を占めている。

前年度と比較すると、授業がある日は60分未満の比率がすべて減少し、60分以上がすべて増加していた。とくに「30-60分未満」が6.5ポイント増加したのに対し、「60-120分未満」が6.5ポイント減少していた。また、授業がない日は30分未満の比率が3.5ポイント、「0分」が3.9ポイント増加しており、前年度より授業以外の学修時間が減少していた。学年別では、すべての学年で「0分」の比率が高くなっており、とくに3年生は授業のある日で10.0ポイント、授業のない日で11.5ポイント増加していた。

#### ・学修内容（設問 I -3, 4）

学修内容は、授業がある日では、「授業の予習・復習（専門科目）」が70.0%で最多で、「授業の予習・復習（教養科目）」（33.9%）、「国家試験や資格試験の勉強」（26.1%）とつづく。「ほとんど勉強しない」は12.6%であった。

授業のない日では、「授業の予習・復習（専門科目）」が60.0%で最多で、「授業の予習・復習（教養科目）」（29.6%）、「国家試験や資格試験の勉強」（31.3%）とつづき、授業のある日と比べて資格関係の勉強の比率が高まっていた。「ほとんど勉強しない」は18.3%であり、授業がある日より高い比率であった。

学年別にみると、授業のある日・ない日ともに、すべての学年で「授業の予習・復習（専門科目）」の比率が高く、4年生では「国家試験や資格試験の勉強」と「卒業研究」の比率が高かった。

前年度と比較すると、授業がある日では「国家試験や資格試験の勉強」と「ほとんど勉強しない」の比率が約2ポイント増加し、授業がない日では、「ほとんど勉強しない」の比率が1.3ポイント増加していた。学年別では、授業のある日・ない日ともに、3・4年生の「ほとんど勉強しない」の比率が5～8ポイント増加していた。

#### ・学修環境（設問 I -5, 6）

学修場所は、「自宅・下宿」（80.2%）が最多で、「大学図書館」（34.3%）、「食堂・カメラ」（27.2%）、「教室（演習室、実習室含む）」（12.5%）とつづく。

学年別にみると、すべての学年で「自宅・下宿」の比率が8割前後で最多であり、次いで「大学図書館」が4割弱であった。

前年度と比較すると、「大学図書館」と「教室（演習室、実習室含む）」の比率が減少し、「自宅・下宿」の比率が約5ポイント増加していた。学年別では、2年生で「自宅・下宿」が11.0ポイント、3年生は「食堂・カメラ」が20.1ポイント、4年生で「自宅・下宿」が32.1ポイント増加していた。

デジタルツールによる学修は、「大いに使用している」が40.7%、「ときどき使用している」が33.1%であり、7割以上が活用していた。

学年別にみると、1・2・4年生で「ときどき使用している」の比率が高く、3年生は「大いに使用している」が最多であった。2年生は他の学年と比較して「あまり使用していない」の比率が高くなっていた。

前年度と比較すると、「大いに使用している」が9.6ポイント増加しており、「ほとんど使用していない」と「ときどき使用している」が4.2ポイント減少していた。学年別では、すべての学年で「大いに使用している」のポイントが増加しているが、2・3年生では「あまり使用していない」が9ポイント前後増加していた。

#### ・学修形態（設問 I -7, 8）

分からないことがあった時の解決法は、「自分で調べる」（78.5%）、「同級生（友人に聞く）」（71.1%）の比率が高く、「教員に聞く」は36.3%であった。

学年別にみると、1・2・4年生では「自分で調べる」の比率が8割前後を占め、次いで「同級生（友人）に聞く」が6割前後であった。3年生はこれらが逆転し、前者が6割、後者が8割であった。すべての学年で「教員に聞く」が3～4割を占めていた。

前年度と比較すると、「同級生（友人に聞く）」が4.8ポイント減少したのに対し、「自分で調べる」が6.3ポイント増加していた。学年別では、1・2・4年生で「自分で調べる」のポイントがそれぞれ9.7ポイント、16.1ポイント、17.3ポイント増加し、3遠征は「その他の人に聞く」が8.2ポイント「同級生（友人）に聞く」が6.1ポイント増加していた。

学修相手は、「ときどき他の学生と勉強している」が46.1%で最多で、次いで「ほとんど一人で勉強している」が27.8%であった。総じて、他者と一緒に学修する者と一人で学修する者がおおよそ半々に分かれていた。

学年別にみると、1・2・3年生は「ときどき他の学生と勉強している」の比率が5割前後で最多であり、4年生は「ほとんど一人で勉強している」が47.3%で最多であった。

前年度と比較すると、「ときどき他の学生と勉強している」が6.0ポイント増加したものの、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」が9.0ポイント減少しており、一人で学修する者の比率がやや増加した。学年別では、1年生は「いつも一人で勉強している」が7ポイント、3年生は「ときどき他の学生と勉強している」が10.5ポイント、4年生は「ほとんど一人で勉強している」が20.0ポイント増加していた。

#### ・学修意欲（設問Ⅰ-9,10）

学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関しては、「比較的合っている」（47.6%）、「非常に合っている」（39.0%）であり、約9割が学びの興味・関心が一致していた。

学年別にみると、2・3・4年生は「比較的合っている」が5割前後でもっとも高く、1年生は「非常に合っている」が54.1%で最多であった。

前年度と比較すると「合っていない」と「比較的合っている」がともに3~4ポイント減少し、その分、「非常に合っている」が8.7ポイント増加していた。学年別では、1・2年生で「非常に合っている」がそれぞれ19.0ポイント、19.4ポイント増加し、3年生は「比較的合っている」が17.2ポイント増加していた。一方、4年生は「あまり合っていない」が9.7ポイント増加していた。

学修への積極性は、「取り組んでいる」が57.7%で最多で、次いで「あまり取り組んでいない」が23.5%であった。「取り組んでいない」「あまり取り組んでいない」を合わせると約3割が学修への取り組みに消極的であった。

学年別にみると、すべての学年で「取り組んでいる」の比率が6割前後であったが、「あまり取り組んでいない」も3割前後を占めていた。

前年度と比較すると、「取り組んでいる」が1.6ポイント増加した一方で、「取り組んでいない」も1.4ポイント増加していた。学年別では、1・3年生で「取り組んでいる」がそれぞれ14.8ポイント、10.7ポイント増加しているのに対し、4年生は「あまり取り組んでいない」が11.9ポイント増加していた。

#### ・学修行動 全学考察

本調査結果から、学生の学修行動には多面的に「二極化」の傾向が強まっていることが確認できる。まず学修時間では、授業の有無にかかわらず60分未満の短時間層が最多である一方、「60分以上」の中長時間層も存在する。注視すべき点は「0分」の割合の増加である。とくに授業のない日は「0分」が14.6%に達し、学年別では1・3年生で25%前後となるなど、学修を全く行わない層の拡大が顕著である。反対に、4年生では「120分以上」が高く、学修量の格差が学年間でも見られる。

学修内容においても二極化が進む。多くの学生が専門科目の予復習を行う一方、「ほとんど勉強しない」は授業日・非授業日とも増加し、特に3・4年生で上昇が大きい。また、資格学習に積極的な学生とそうでない学生との差が広がり、学修姿勢の分断が進展している。

学修環境では、自宅学修の割合がさらに高まり、学内施設利用の減少とあわせて、学修場所の固定化が進む一方、デジタルツールの活用度では「大いに使用する」層が増加しながら、「あまり使用しない」層も学年間で一定割合残存し、技術活用面でも二極化がみられる。

学修形態では、「自分で調べる」が増加して主体的学修が強まる一方、一人で勉強する学生が増加し、他者と協働する層との隔たりが拡大している。さらに、学修意欲においても、高意欲層と低意欲層が

同時に増える構図が見られ、行動・意欲の両面で中間層が薄れつつある。以上より、学生の学修行動は総じて、積極的に学びを深める層と学修から距離を置く層への二極化が進行していると言える。

以上のように、学生の学修行動は総じて「よく学ぶ学生」と「あまり学ばない学生」という二つの極に分かれつつあり、この乖離に対応した多層的支援が今後ますます重要になると考えられる。

## 「学生生活について」(図Ⅱ-1~10)

### ・部活動やサークル(設問Ⅱ-1)

全体では「活動していない」が70.0%(前回68.4%、以下同様)と最も高く、「週に1~3回」が20.0%(24.9%)であった。前回調査と比較すると、部活動・サークル活動への参加頻度はやや低下する傾向が認められた。

学年別にみると、1年生では「週に1~3回」が24.0%と他学年より高い割合を示したが、昨年度の1年生(51.0%)と比較すると大幅に減少していた。4年生では「全くしていない」が82.4%(83.3%)と最も高い割合を示した。また、「毎日」と回答した割合は3年生が4.3%(3.0%)で最も高かった。

### ・アルバイト(設問Ⅱ-2)

全体では「全くしていない」が36.4%(44.6%)、「週に1~3回」が40.7%(38.5%)、「週4~6回」が18.5%(13.2%)であった。前回調査と比較すると、アルバイトを行う学生の割合および実施頻度はやや増加している傾向が認められた。

学年別にみると、2年生では「週1~3回」が49.4%と最も高い割合を示した。また、4年生における「全くしていない」は37.6%(51.5%)であった。一方、薬学科6年生では「全くしていない」が88.9%と高い割合を示しており、前回調査同様に学年による差異が認められた。

### ・睡眠時間(設問Ⅱ-3,4)

授業のある日では「5~6時間」が66.7%(65.9%)と最も高い割合を示した。一方、授業のない日では「7~8時間」が44.0%と最も多かった。授業のある日において睡眠時間が5時間未満である割合は18.3%(12.9%)であり、授業のない日は7.8%であった。

また、授業の有無にかかわらず、学年が上がるにつれて睡眠時間が短くなる傾向が認められるものの、全体としては一定の睡眠時間を確保している学生が多数を占めていることが確認された。

### ・自由時間(設問Ⅱ-5,6)

全体では、授業のある日において「1~2時間」が51.1%(31.7%)と最も高く、「3~4時間」が33.1%(43.2%)であった。一方、授業のない日では「5時間以上」が55.3%(59.1%)と半数以上を占めていた。

学年別にみると、授業のある日において3年生では「ない」が4.3%と比較的高い割合を示した。また、授業のない日では薬学科6年生において「ない」が3.7%と、他学年と比較してやや高い割合を示した。

### ・ストレス解消(設問Ⅱ-7)

全体では「時々ある」が66.7%(58.2%)、「毎日ある」が27.4%(37.2%)であり、「時々」または「毎日」と回答した学生は約93%に達した。これらの結果から、多くの学生が何らかの形でストレス解消の機会を確保している状況がうかがえる。

学年別にみると、2年生では「ない」が7.3%と他学年より高い割合を示した一方、3年生では2.1%と最も低い割合であった。

### ・ボランティア活動(設問Ⅱ-8)

全体では「参加していない」が74.0%(76.9%)と最も高く、次いで「年に1~2回」が14.2%(14.0%)であった。これらの結果は前回調査とほぼ同様の傾向を示していた。

学年別の参加率をみると、1年生が34%、4年生が35%と比較的高い割合を示した。一方、2年生は21%、3年生は25%であり、1年生および4年生と比較して約10%程度低い傾向が認められた。

#### ・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

全体では「感じていない」が39.4%（36.3%）、「あまり感じていない」が37.9%（38.3%）であり、前回調査と比較して大きな変化は認められなかった。

一方、「感じている」および「大いに感じている」と回答した割合を学年別にみると、1～3年生ではいずれも20%前後であったのに対し、最終学年（薬学科6年およびその他学科4年）ではそれぞれ26.9%、30.6%と高い割合を示しており、昨年同様に最終学年において不安や悩みを感じる学生が相対的に多い傾向が認められた。

#### ・相談相手（設問Ⅱ-10）

全体では「保護者や家族」が52.4%（59.7%）、「学内の友人」が58.5%（59.5%）、「学外の友人等」が30.7%（32.7%）と高い割合を示し、前回調査と同様の傾向が認められた。

相談相手を学年別にみると、いずれの学年においても「学内の友人」が約35%と最も高い割合を示した。また、「チューター教員」を相談相手として挙げた割合は、1年生6.6%、2年生7.6%、3年生9.7%、4年生12.9%と、学年の進行に伴い増加する傾向が認められた。

一方、体調やメンタル面の相談窓口である「健康管理センター」を挙げた回答は1.5%にとどまった。

#### ・学生生活 全学考察

学生生活全般について、前回調査と比較して大きな変化は認められなかった。前回調査では新設コースの影響により入学者の属性に一定の変化が見られたが、今回の調査ではそのような大きな変化がなかったことから、前回調査と同様な結果になったと考えられる。

部活動・サークル活動については、特定の学科によっては活発な活動が見られるものの、全体では約7割の学生が参加していない。一方、アルバイトを行う学生の割合は前回調査よりやや増加しており、学生生活においてサークル活動よりアルバイトを優先する傾向が一定程度見られる。学年別では低学年ほどアルバイト実施率が高く、高学年になるにつれて減少している。特に最終学年（薬学部6年、その他学部4年）ではアルバイト実施率が低下しており、国家試験対策や卒業に向けた学修活動に時間を充てていることが背景にあると考えられる。

ボランティア活動については、前回調査と同様に約7割の学生が参加しておらず、全体として参加率は高いとは言えない。学年別では1年生および4年生で比較的高く、2・3年生では低い傾向が見られ、学生生活の段階や学修状況が参加状況に影響している可能性が示唆される。

睡眠時間、自由時間、ストレス解消のための時間については、前回調査と同様、十分に確保できていないと回答した学生が1割未満ながら存在した。割合は大きくないものの、学修環境の維持という観点から継続的な注意が必要であり、大学として引き続き学生生活に関する啓発や生活状況の把握を通じた支援体制の維持・強化が求められる。

また、不安や悩みを抱える学生は、最終学年で約3割、その他の学年でも約2割存在しており、心理的支援の重要性は依然として高い。大学として相談・支援体制を維持するとともに、その充実を図る必要がある。

相談相手としては、前回調査と同様に保護者や友人が多く、次いで教員となっている。学生が身近な人間関係の中で問題解決を図っている実態がうかがえることから、教育活動を通じて学生同士の相談援助能力の向上を図るとともに、保護者への情報提供など家庭内での支援体制の充実も重要である。

さらに、教員による相談対応に加え、専門的対応が必要な場合には「健康管理センター」における専門スタッフの相談体制を引き続き整備・維持することが求められる。これらの取組により、学生が

安心して学修および学生生活を送ることができる環境の維持・向上を図る必要がある。

### 「自由記述について」(設問Ⅲ)

『大学に対して要望や改善すべき点などがあれば、ご自由にお書きください。』の設問に回答いただくことで、学生から大学に対する学生の声を募った。

学生からの要望に対し、すべての項目に対応することは難しいが、大切な意見を真摯に受け止め、大学として可能な対応を優先的に行うことで、大学のクオリティを維持できるものと考えている。

#### 《今年度の具体的な対応》

##### (1) Wi-Fi 環境の改善

昨年度に引き続き、通信環境の調査を実施し、通信が不安定であった箇所の無線 LAN ルーター設置場所の変更について検討を行い、よりよい通信環境の改善に向けて取り組んでいる。

##### (2) 駐車場ラインの整備

学生から QOL 棟側駐車場の線が分かりづらく危険であるため改善して欲しいとの要望を受けて、区画ラインの整備を行い、駐車する際の安全面の向上と利用しやすい環境整備を行った。

##### (3) パン自販機の導入

学食・売店の営業時間外における軽食販売に対応するため、ラウンジエリアにパン自販機を新たに設置し、隙間ニーズを埋める施策を行った。

総合的に見ると、学生から寄せられた要望の中には、大学からの情報発信が十分でなかったことが要因と考えられるものも見受けられた。また、大学の各種取り組みに対するフィードバックの不十分さが確認されたため、今後は学生の意見を踏まえた改善計画に努め、取り組み内容や対応状況について学生へ分かりやすく発信することで学生の満足度向上に繋げたい。

なお、各学科においても学生からの要望を踏まえ改善できる点を検討しているが、現時点では協議段階であり、対応可能な事項から順次実施していく予定である。

## スポーツ健康福祉学科アンケート結果 (191 名中 回答者 85 名 回答率 45%)

### 「学修行動について」(図 I-1~10)

スポーツ健康福祉学科は、2024 年に改組が行われ、臨床福祉学科と合併し、救急救命士養成コースが新設された。現在はスポーツ科学コース、ソーシャルワークコース、鍼灸健康コース、救急救命コースの 4 コースで構成されている。今回のアンケート結果は 3 年生・4 年生は旧スポーツ健康福祉学科の学生、1 年生・2 年生は現在のスポーツ健康福祉学科の学生が対象となり学科構成が異なる。そのため、学年間の比較はあくまで参考値としてとらえる必要があり注意が必要である。

#### ・学修時間 (設問 I-1, 2)

授業のある日の学修時間は、『30~60 分未満』が 31 名 (36%) と昨年度に続き最頻値となったが、『0 分』と回答した学生が昨年度の 13 名 (15%) から 19 名 (22%) へと増加した。授業のない日においては、『0 分』の回答が昨年度 19 名 (23%) から 28 名 (33%) へと大幅に増加しており、特に 3 年次で『0 分』が 9 名に達するなど、休日に全く学修しない層の広がり確認された。一方で、4 年次では授業のある日に『120 分以上』学修する学生が昨年度の 0 名から 2 名に増えるなど、一部で学修意欲の高い層も見られた。

#### ・学修内容（設問 I -3, 4）

授業のある日は、全学年を通して『授業の予習・復習（専門科目）』が52名と最も多く、学科の専門教育への注力が伺えた。授業のない日においても専門科目の予習・復習（38名）が主流であるが、本年度は『国家試験や資格取得の勉強』に取り組む学生が昨年度の12名から20名へと増加した。一方で、授業のない日に『ほとんど勉強しない』と回答した学生も31名存在し、昨年度（34名）から依然として高い水準にあった。

#### ・学修環境（設問 I -5, 6）

学修場所としては、『自宅・下宿』が64名と圧倒的に多く、次いで『大学図書館』29名、『教室』17名の順だった。昨年度と比較して、教室や実習室を活用する学生が昨年度13名から17名へと微増した。学修にデジタルツール（パソコン・スマホ等）を使用している割合（『大いに』と『ときどき』の合計）は44名（52%）であり、昨年度の55%からほぼ横ばいの状況がみられた。『ほとんど使用していない』と回答した学生は23名（27%）存在し、特に1年次（11名）と2年次（7名）でその割合が高い傾向にあった。

#### ・学修形態（設問 I -7, 8）

分からない内容があった際の解決法は、『自分で調べる』が60名（昨年度46名）と大幅に増加し、次いで『同級生（友人）に聞く』43名となった。『教員に聞く』は26名（昨年度28名）であり、まずは自力や身近な友人を頼って解決を図る傾向が継続していた。学修形態については、『ときどき他の学生と一緒に勉強している』が39名（46%）と最多であるが、『一人で勉強（「いつも」と「ほとんど」の合計）』を合わせた割合も38名（45%）に達しており、個人のペースで学修するスタイルも定着していることが伺われた。

#### ・学修意欲（設問 I -9, 10）

学科の学びが自分の興味・関心に『非常に』または『比較的』合っているとの回答した学生は71名（85%）と昨年度と同じ割合（85%）であった。学習への取り組みについて、『取り組んでいない』との自己評価が昨年度の5名（6%）から12名（14%）へと倍増した。興味関心があるにもかかわらず、積極的に取り組んでいない学生が一定数存在する現状が浮き彫りとなった。

#### ・学修行動 学科学生考察

本年度のアンケート結果から、スポーツ健康福祉学科の学生は、学科の専門的な学びに対して非常に高い興味・関心（85%）を持ち、休日には国家試験や資格取得に向けた学修を強化する傾向（昨年度12名から20名に増加）が見られた。しかし、学修時間で見ると、授業のある日・ない日の両方で「学修時間0分」の学生が増加しており、特に授業のない日の「0分」層の拡大は、学外における学修習慣の欠如を示唆している。

学修時間の最頻値は依然として『30-60分未満』にとどまっており、昨年度からの課題である「学修時間の確保」は依然として解決されていない。特に『自宅・下宿』での学修が中心である一方、分からない内容への対処として『自分で調べる』層が増加していることから、一人で解決しようとして行き詰まり、結果的に学修意欲が低下している可能性も考えられる。

最も深刻な課題は、学びへの興味は高まっている一方で、積極的に取り組んでいないと自覚する学生が増加している点である。興味関心という「動機」はあるものの、実際の「行動」に移せていない原因（アルバイトの過密化や、自宅での学習方法の不明確さなど）を教員側が詳細に把握し、学生自らが主体的に学修時間を確保できるよう、具体的な自習方法やデジタルツールの活用支援を含めた指導の必要性があるものと考えられる。

## 「学生生活について」(図Ⅱ-1~10)

### ・部活動やサークル(設問Ⅱ-1)

部活動やサークルに『全くしていない』と回答した学生が33名(39%)となり、昨年度の26名(31%)から増加した。学年別で見ると、特に2年次において『全くしていない』学生が昨年度の4名から11名へと大幅に増加した。一方で、『毎日』活動している学生も昨年度の5名から8名へと微増しており、活動状況の二極化が見られた。

### ・アルバイト(設問Ⅱ-2)

アルバイトを『全くしていない』学生は昨年度14名(16%)から本年度9名(11%)に減少し、何らかのアルバイトに従事している学生が全体の約9割に達した。頻度としては『週4~6回』従事する学生が昨年度29名(34%)から34名(40%)へと増加しており、特に3年次では17名中11名が週4回以上の高頻度でアルバイトを行っていた。

### ・睡眠時間(設問Ⅱ-3,4)

授業のある日の睡眠時間は、『5-7時間未満』が55名(65%[昨年度60名/71%])と最も多く、次いで『7-9時間未満』が16名(19%[昨年度16名/19%])であった。『3-5時間未満』は14名(16%)で昨年度(6名)より、睡眠時間が短い層が増加した。授業のない日には、『7-9時間未満』が33名(39%)、『9時間以上』が7名(8%)となり、休日で睡眠不足を補っている様子が見ええた。また『3-5時間未満』が13名(15%)おり、授業がない日でも十分な睡眠時間が確保されない学生が一定数存在した。

### ・自由時間(設問Ⅱ-5,6)

授業のある日の自由時間は『1-3時間未満』が37名(44%[昨年度32名/38%])と最も多い一方で、『ない』と回答した学生も4名(5%[昨年度0名])確認された。授業のない日は『5時間以上』の自由時間を持つ学生が43名(51%)と半数を超えていた。

### ・ストレス解消(設問Ⅱ-7)

ストレス解消やリラックスのための時間は、計81名(96%)が『時々ある』または『毎日ある』と回答し、多くの学生が休息時間を確保できていることが示された。

### ・ボランティア活動(設問Ⅱ-8)

ボランティア活動に『参加していない』学生は55名(65%)で、昨年度と同数だった。参加している学生も『年に1~2回』が12名(14%)と最多で、『2~3か月に1回』が11名(13%)、『月に1~2回程度』が7名(8%)と続いた。継続的・日常的なボランティア活動を行っている学生は少数にとどまった。

### ・学生生活で不安や悩み(設問Ⅱ-9)

現在の生活で不安や悩みを『大いに感じている』『感じている』学生の合計が昨年度の8名(10%)から17名(20%)へと増加した。

### ・相談相手(設問Ⅱ-10)

相談相手としては『学内の友人』48名(昨年度51名)、『家族』41名(昨年度43名)が中心であるが、『ゼミ・チューターの教員』に相談する学生が17名(昨年度11名)に増加しており、教員への相談ニーズが高まっている。

### ・学生生活 学科学生考察

2025年度の学生生活調査からは、「経済活動の活発化」と「精神的不安の増大」という二つの大きな変化が読み取れた。アルバイトの頻度が『週4回以上』という過密な状況にある学生が全体の約4割を占めており、これが課外活動への参加減少や、平日の睡眠時間・自由時間の圧迫を招いている主要因となっている可能性が高い。特に、睡眠時間が5時間未満の学生の増加は、学業や体調

管理に悪影響を及ぼすものと考えられ、注意を要する。

特筆すべきは、不安を感じている学生の急増である。昨年度と比較して不安を抱える学生が倍増している現状は、経済的な負担や多忙な生活リズムが精神面にも影響を及ぼしている可能性を示唆している。一方で、ゼミ・チューターの教員を相談相手として選ぶ学生が増えている点は、学生が深刻な悩みに対して学内の公的なサポートを求めている証ともとらえることができる。

今後は、学生がアルバイトと学業・私生活のバランスを適切に保てるよう生活指導を行うとともに、不安を抱える学生の早期発見に向け、ゼミ等の少人数教育の場を活用したメンタルサポート体制をより一層強化することが求められる。

## **臨床福祉学科アンケート結果（47名中 回答者 33名 回答率 70%）**

臨床福祉学科は改組が行われ、2024年度より「スポーツ健康福祉学科ソーシャルワークコース」となった。そのため、アンケート回答学年は3,4年生が主での結果報告である（2年生の1名は留年にて在籍）。

### **「学修行動について」（図 I-1~10）**

#### **・学修時間（設問 I-1, 2）**

学修時間は「60分未満」が、授業のある日が82%、ない日が76%と前年度（ともに65%）より多い結果となった。大学全体（61%）と比較すると高く、アンケート回答者が3,4年生であるにもかかわらず学修時間が十分に確保されているとは言えない結果であった。

#### **・学修内容（設問 I-3, 4）**

「授業の予習・復習（専門科目）」、「国家試験や資格取得の勉強」、「卒業研究」で、授業のある日が85%、ない日が89%であった。大学全体と比較すると臨床福祉学科はアンケート回答者が3,4年生であるため卒業研究の占める割合が高い結果となった。

#### **・学修環境（設問 I-5, 6）**

学修場所としては、「自宅・下宿」が47%で最も高く、次いで「教室」、「図書館」、「食堂・カメラ」の順であった。少数ではあるが公立図書館なども使用していた。

学修にデジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を「大いに使用している」、「ときどき使用している」は58%で、大学全体（74%）と比較するとデジタルツールの使用頻度は低い結果となった。

#### **・学修形態（設問 I-7, 8）**

分からないことがあった時の解決法は、「自分で調べる」が40%、「同級生（友人に聞く）」が31%、「教員に聞く」が16%の順であった。「そのままにしておく（調べない）」が3%であった。

他の学生と勉強を一緒に行うかに関しては、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と「ときどき他の学生と勉強している」を合わせて49%であった。大学全体（57%）と比較すると、低い結果となった。

#### **・学修意欲（設問 I-9, 10）**

学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関しては、「非常に合っている」と「比較的合っている」を合わせて79%であった。「合っていない」と「あまり合っていない」は21%で前年度（35%）に比べ低くなっている。

積極的に学修に取り組んでいるかに関しては、「大いに取り組んでいる」「取り組んでいる」は61%であった。大学全体（70%）と比較すると少し低い結果となった。

#### **・学修行動 学科学生考察**

学修時間に関しては、回答学年は3,4年生が主であるにも関わらず「60分以下」が前年度よりも高い結果となった。

臨床福祉学科は、社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士の国家試験受験資格が取得できる学科ではあるが、資格を目指さず卒業のみを希望する学生が一部いる。

授業以外での学修習慣ができていないことが課題である。入学時より学修習慣をつける取り組みが必要である。

学生の勉強場所としては、「自宅・下宿」、「教室」、「図書館」、「食堂・カメラ」の順であった。「公立図書館」の活用が少なからずあった。「ラーニングコモンズ」の活用方法は入学時に行っているが、使用している学生はいなかった。

当学科では、学生指導や専門ゼミで4F・5Fの演習室（教室）を活用している。その場所が使い慣れた落ち着ける場所であることが考えられる。学生が一番落ち着ける、学修しやすい場所を見つけることが大切である。

「学科・コースの学びが自分の興味・関心にあっているか」については、「合っていない」と思っている学生は激減（35%→21%）してきている。アンケート対象者が3・4年生が主であることが考えられる。2年次より各実習が始まるため、資格取得後の将来像や自分に合っているのかなど、具体的に体験し考えることができるのではないかと思われる。実習後、意欲的に学修に取り組む学生と、資格取得をあきらめる学生が少数いることも事実である。また、当学科は編入生・転科生が多い学科である（4年生：編入・転科生25名中8名、3年生：22名中4名）。編入・転科し、受験資格の取得や国家試験に合格する学生と、途中で資格取得をせずに卒業のみを目指す学生が、半々である。

編入・転科生のみならず、資格取得をしない学生への学修支援、就労支援が課題である。

## 「学生生活について」(図Ⅱ-1～10)

### ・部活動やサークル（設問Ⅱ-1）

「全くしていない」が75.8%、「週に1～3回」が15.2%であった。

「全くしていない」は、大学全体（70%）と比較するとあまり変わらなかった。

### ・アルバイト（設問Ⅱ-2）

「全くしていない」が18%、「週に1～3回」が33%、「週4～6回」が37%であった。「週4～6回」が最多であった。「全くしていない」が前年度が30%であり減少している。3～4年生で、専門教科が増え、学外実習、卒業研究等でバイトをする時間が無くなってきているのではないかと考えられる。

### ・睡眠時間（設問Ⅱ-3,4）

睡眠時間は、授業のある日が「5～7時間」が40%、授業のない日が「7～9時間」が34%と最多であった。睡眠時間が「3時間未満」は、授業のある日・授業のない日ともに3%であった。

### ・自由時間（設問Ⅱ-5,6）

授業のある日は「1～2時間」が46%、「3～4時間」が33%、授業のない日は「5時間以上」が46%、「3～4時間」が27%の順であった。自由時間が「ない」はともに3%であった。

### ・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

「時々ある」が67%、「毎日ある」が30%、「ない」が0%であった。「時々ある」と「毎日ある」は大学全体（94%）と比較すると、あまりかわらなかった。

### ・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

「参加していない」が49%と最も多く、「年に1～2回」が27%、「2～3か月に1回」が15%、「月に1～2回」が6%で51%の学生がボランティアに参加していた。

ボランティア活動に「参加していない」を大学全体（76.9%）と比較すると、ボランティア活動の割合が高い結果となった。

### ・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

「感じている」「大いに感じている」が40%であった。大学全体（22%）と比較すると、不安や悩みを感じている割合が高い結果となった。

### ・相談相手（設問Ⅱ-10）

「保護者や家族」が27%、「学内の友人」が29%、「学外の友人等」が18%であった。

「チューター教員」18%は大学全体（8.9%）と比較すると、割合が高い結果となった。

### ・学生生活 学科学生考察

部活動・サークル活動は75.8%が所属していない。コロナ禍での活動自粛期中・高校時代を過ぎた学生の特徴と思われるが、前年度より微増してきている。今後、部活動やサークル活動参加が増えていくことに期待したい。

アルバイトしている学生が減少しているが、専門教科の単位修得、学外実習、卒業研究、国家試験の勉強など並行して行わなければならない。チューターは、バイトをしている学生に対してバイトの状況や、学修に影響がないかどうかの状況を把握し、指導していく必要がある。

ボランティア活動は、51%が参加している。割合が高い理由として、当学科では、大学共通基礎科目の『ボランティア活動』が、一部の実習要件に必須としていることがあげられる。『ボランティア活動』は1年生の科目ではある。ボランティアに参加したことで、単位履修後もボランティア活動参加の心理的ハードルが下がることや、3～4年になっても引き続きボランティア活動を継続している学生がいるからだと思われる。

不安や悩みを感じている学生が40%いる。学外実習や国家試験勉強、就職活動、卒業研究など、授業に依らない時間が大半を占め、いろいろなことを並行して実施しなければならない。自分で優先順位をつけ計画を立てるなど、自分で考え実行していかなければならないので、ストレスを抱える可能性がある。専門ゼミ等の時間等を活用し、学生一人ひとりの置かれている状況を把握し、学生にあった指導・支援をしていかなければならない。

相談相手としては、「保護者や家族」「学内の友人」が多かった。「チューター教員」が相談者となっている割合は、大学全体（8.9%）と比べると高い。

当学科は転科生や編入学生がいる。その学生も含め学生と積極的にコミュニケーションを図り、さらに学内で相談しやすい環境づくり、例えば学生同士の横・縦のつながり、また、個人情報の取扱いに注意しながら学科全体で共通認識を持ち対応できるよう努めていきたい。

## 動物生命薬科学科アンケート結果（102名中 回答者34名 回答率33%）

### 「学修行動について」（図Ⅱ-1～10）

#### ・学修時間（設問Ⅰ-1,2）

全学年において、「授業のある日は、授業以外でどれくらい学修」しているかは、30分～60未満が59%、「授業のない日」においても、同様に30分～60未満が38%と最も高かった。

学年別の結果は、1年生以外のアンケート回答率が低かったために述べる事ができなかった。

#### ・学修内容（設問Ⅰ-3,4）

全学年において、「授業の予習・復習（専門科目）」が、授業のある日は85%、授業がない日が49%であり、いずれもこの回答項目の比率が最も高く、これを最優先した学修内容となっていた。次いで授業の予習・復習（教養科目）」が、授業のある日は32%、授業のない日も31%と高かった。なお、「就職試験」は、1年生の1名が授業のない日のみと回答、ほとんどの学生が就職試験対策をしていないことが分かった。さらに、授業がある日並びに授業がない日に、ほとんど勉強をしない学生が2名（3%）いた。

学年別の結果は、1年生以外のアンケート回答率が低かったために述べる事ができなかった。

#### ・学修環境（設問 I-5, 6）

学修場所としては、全学年において、「自宅・下宿」が53%と最も高かった。次いで「大学図書館」が22%、さらに「食堂・カメラ」が14%であった。一方、「教室」、「ラーニングサポートセンター（英語村）」、「ラーニングコモンズ（図書館）」は、それぞれ、5%、3%、並びに2%と低かった。学修にデジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）は、全学年において、「ときどき使用している」が59%と最も多かった。「大いに使用している」と「ときどき使用している」の合計は77%であった。

学年別の結果は、1年生以外のアンケート回答率が低かったために述べる事ができなかった。

#### ・学修形態（設問 I-7, 8）

「分からない内容があった時の解決法」は、全学年において、「自分で調べる」が43%と最も高く、次いで「同級生（友人に聞く）」が32%であった。「教員に聞く」は17%、「先輩に聞く」は7%であった。

「他の学生と勉強をすることはありますか」について、全学年において、「ときどき他の学生と勉強している」が41%と最も高かったが、次いで、「ほとんど一人で勉強している」が32%であった。なお、「いつも一人で勉強している」、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と回答した学生はそれぞれ21%、6%であった。

学年別の結果は、1年生以外のアンケート回答率が低かったために述べる事ができなかった。

#### ・学修意欲（設問 I-9, 10）

「学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているか」については、「非常に合っている」が65%と最も高く、次いで「比較的合っている」が29%、2つの合計は94%と非常に高かった。また、アンケート回収率が高かった1年生では「非常に合っている」（72%）と「比較的合っている」（27%）のみの回答であった。全学年で、「あまりあっていない」または「あっていない」と回答した学生が、2名（1年生1名、3年生1名）と少なかったが見られた。

「積極的に学修に取り組んでいるか」については、「取り組んでいる」が74%、「大いに取り組んでいる」6%で、合計は79%であった。しかし、「あまり取り組んでいない」が18%、「取り組んでいない」が3%で、合計21%であった。

学年別の結果は、1年生以外のアンケート回答率が低かったために述べる事ができなかった。

#### ・学修行動 学科学生考察

学年別の結果は、1年生以外のアンケート回収率が低かったために述べる事ができなかった。全学年において、「授業のある日は、授業以外でどれくらい学修」しているかは、30分～60分未満、また、「授業のない日」では、30分～60分未満の比率がいずれも高かった。すなわち、学修時間は短かったが、昨年度は30分未満の比率が高かったことと比較すると少し学修時間が長くなっていた。学修内容は、「授業の予習・いずれも復習（専門科目）」が、中心であったが、ほとんどの学生が就職試験対策をしていないこと、授業がない日は、ほとんど勉強をしない学生が2名（3%）見られたが、しかし、この比率も昨年度（7名、12%）と比較すると少なくなっていた。学修場所としては、「自宅・下宿」が最も比率が高かったが、「教室」、「ラーニングサポートセンター（英語村）」、「ラーニングコモンズ（図書館2階）」はいずれも低かった。学修に約6割の学生はデジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）をよく使用（大いに使用していると、ときどき使用している、の合計）していた。この比率は昨年度（約5割）よりも高く（約8割）なっていた。「分からない内容があった時の解決法」は、全学年において、「自分で調べる」（43%）あるいは「同級生（友人に聞く）」（32%）で、「教員に聞く」（17%）は低かった。この理由は、「自分で調べる」あるいは「同級生（友人に聞く）」ことで、解

決できる内容が多いのか、あるいは、「教員に聞く」ことに距離を感じている学生がいるのかは、この設問では不明であった。なお、昨年度の回答とほぼ同様であった。「他の学生と勉強をしていますか」の回答は、昨年度と同様、「ときどき他の学生と勉強している」が最も高かった（46%）。学修意欲の設問の「学科・コースの学びが自分の興味・関心にあっているか」について、「非常に合っている」・「合っている」の合計は、昨年度も高かった（88%）が、本年度はさらに比率が高くなっていった（94%）。ただし、「あまりあっていない」または「あっていない」と回答した学生が昨年度の5名よりも少なくなっているものの2名（1年生1名、3年生1名）いたこととは、留意すべきことと思われた。「積極的に学修に取り組んでいるか」については、「取り組んでいる」と「大いに取り組んでいる」の合計が79%と高かった。昨年度は、「学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているか」と「積極的に学修に取り組むことができるか」の設問の回答に乖離が見られたが、本年度は異なり乖離はなかった。しかし、「学科・コースの学びは、自分の興味・関心に合っていますか」の設問に「合っていない」、「あまり合っていない」（合計2名、6%）、また、「あなたは積極的に取り組んでいると思いますか」の設問に「取り組んでいない」、「あまり取り組んでいない」（合計7名、21%）と回答した学生が人数は少ないものが見られた。これらの学生は、留年、休学、退学につながる可能性があり、昨年度同様に、教員間でこれらの情報を共有し、学生対応を実施する必要がある。

### 「学生生活について」（図Ⅱ-1～10）

1年生以外のアンケート回答率が低かったために、全学年での結果を述べました。

#### ・部活動やサークル（設問Ⅱ-1）

全学年では、「全くしていない」が76%と最も高く、次いで「週に1～3回」が15%であった。

#### ・アルバイト（設問Ⅱ-2）

全学年では、「週に1～3回」または「全くしていない」が共に41%と高く、次いで「週に4～6回」が18%であった。アルバイトをしている学生の合計は59%であったが、「毎日している」学生はいなかった。

#### ・睡眠時間（設問Ⅱ-3, 4）

全学年では、授業のある日は「5～7時間未満」が85%と最も高く、次いで「7～9時間未満」であった。また、授業のない日は「7～9時間未満」が53%で最も高く、次いで「5～7時間未満」であった。なお、授業のある日に2名が「3～5時間未満」、授業のない日に1名が「3～5時間未満」と回答していた。なお、いずれの場合も、「3時間未満」の学生は見られなかった。

#### ・自由時間（設問Ⅱ-5, 6）

全学年では、授業のある日は「1～3時間未満」が50%と最も高く、次いで「3～5時間」が32%であった。なお、2名（1年生）が「ない」と回答していた。授業がない日は「5時間以上」が65%と最も高く、次いで、3～5時間未満が29%であった。「ない」と回答した学生が1名（1年生）見られた。

#### ・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

全学年では、「時々ある」が68%で最も高く、次いで「毎日ある」が32%であった。「ない」と回答した学生は見られなかった。

#### ・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

全学年では、「参加していない」が76%と最も高く、次いで「年に1～2回」が21%であった。したがって、ほとんどの学生はボランティア活動をしていなかった。

### ・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

全学年では、「あまり感じていない」が47%と最も高く、次いで「感じていない」が32%であった。「大いに感じている」と回答した学生は見られなかった。

### ・相談相手（設問Ⅱ-10）

全学年では、「保護者や家族」並びに「学内の友人」が共に37%、次いで、学外の友人や知り合い（13%）であった。なお、1名（3%）が「相談する相手がいない」と回答していた。

### ・学生生活 学科学生考察

部活動・サークル活動は全体では約8割が所属していない。この原因は、部活動・サークル活動の内容・魅力と各学生の活動思考とのミスマッチの問題かは、この設問では不明であった。原因を知るためには、「なぜ所属・活動しないのか」についての質問項目（自由記載など）が必要と思われた。

次に、アルバイトについては、本学科の約6割が実施しているが、逆に約4割の学生はまったく実施していない。ボランティア活動にも、昨年度と同様に約8割が参加していなかった。過剰なアルバイト時間は学業への悪影響が考えられる反面、本学科のように卒業後に社会で必要なものは、高い専門知識・技能のみならず、優れたコミュニケーション能力を必要とする（愛玩動物看護師など）である。優れるコミュニケーション能力を在学中に得るには、学生間だけでなく、社会人と接する機会が多いボランティア活動や適切な職種・適切な時間でのアルバイトの実施は必要ではないかと思われる。

睡眠時間が3時間未満の学生並びにストレス解消の時間の確保できない学生、不安や悩みを大いに感じている学生がいなかったことは、昨年度と比較して、良い結果であった。しかし、自由な時間がないあるいは、学生生活で不安や悩みを相談する相手がいない学生が、少ないながらも存在している。学科ではチューター教員を中心として相談者となり、また、学科教員間では指導に必要な情報の共有を図っているものの、さらなる対応を注意深く、また、全学的に配慮する必要があると考える。

## 生命医科学科アンケート結果（139名中 回答者63名 回答率45%）

### 「学修行動について」（図Ⅰ-1～10）

#### ・学修時間（設問Ⅰ-1,2）

授業のある日

本年度のこのアンケートの回答率は1年次で81%、2年次で47%、3年次で54%が得られ4年次では僅か22%であり、高学年になると回答率が低下するという昨年と同様の傾向を示した。2年次と4年次では50%の回答を得られておらず、これらの学年については状況を表していない可能性が否定できない結果であるが、傾向・率として解析した。

学修時間について大学全体と比較すると、本学科の1年次の59%が30分から60分未満の学修時間を占めており学修時間0分の学生はいなかった。さらに昨年の1年次と比較しても全体的な学修時間が多い傾向を示した。但し、昨年は120分以上の学修時間を示した学生がいたが、本年では見られなかった。2年次において学修時間は30分未満が最も多く、0分の学生もおり、また60分から120分未満の学修時間を示す学生が0であり全体的に学修時間が短縮している傾向を示した。昨年度の2年次と比較しても学修時間の短時間傾向を示している結果が得られた。3年次においては昨年と同程度の学修時間を示していた。しかし国家試験を目前とした4年次において120分以上の学修時間を示したのが70%を示しており昨年の46%からすると大幅な延長が見られた。大学全体では120分以上が26%であったことからすると本学科の4年次では学修時間が延長していることを示した。但し、前述のごとく回答数が少ないため全体を表しているかどうかは、断言できない。

これらの事から現在の1年次、2年次においては現在の学修時間を更に延長する指導が必要であると思われる。また、3年次は昨年度と同様な結果を示したが、国家試験を前に更に延長した学修時間を

生活の一つに入れるよう教員による積極的な指導が必要である。

#### 授業のない日

生命医科学科全体では昨年同様に学修時間は30分未満と30～60分未満が、ほぼ同じ傾向を示しており概ね全体の割合は変わっていない。

しかし1年次と2年次までは全体的に0分又は30分未満へ若干のシフト傾向が見られる。特に2年次においては学修時間0分が36%を占めており、授業のある日と同様に絶対的な勉強時間の不足を示している。今後3年次になると専門分野が増えてくるので、この学修時間不足が今後の国家試験に影響しないよう積極的な指導が必要と思われる。3年次では概ね昨年と変わっていないが僅かに学修時間の延長が見られた。4年次においても概ね同様な傾向が見られるが、120分以上学修したものは50%程度であり、短時間の学修時間からわずかではあるが学修時間の延長傾向が認められた。

#### ・学修内容（設問Ⅰ-3,4）

授業のある日、授業のない日を含め、学修内容については1年次から2年次で「専門科目の予習・復習」が最も多く、次いで「教養科目の授業の予習・復習」であるが3年次では「専門科目の予習・復習」が最も多く、次いで「国家試験や資格取得の勉強」であり大学全体と概ね似たような傾向を示していた。また3年次では授業のある日、授業のない日を含め、「国家試験の勉強」に対する学修時間が短い学生が昨年より増えており、ほとんど勉強しないが、授業のある日15%、授業のない日9%存在した。特に2年次では、ほとんど勉強しないと回答した学生は授業のある日12%に対し、授業のない日は29%と増加傾向を示している。学修時間にメリハリを付けるための休みなら特に問題ないが、2年次では全体的に学修時間が減少しているため指導が必要と思われる。

#### ・学修環境（設問Ⅰ-5,6）

##### ・授業以外の学修先

学科全体では「自宅・下宿」が最も多く、次いで「大学図書館」、「食堂・カメラ」が続いており大学内の施設が有効利用されていることが示された。学年別にみると1年次から3年次迄大きな差はないが、4年次では「自宅・下宿」、「大学図書館」、「教室（演習室、実習室含む）」が均衡しているという結果であった。

##### ・デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使った学修について

全体では「ときどき使用している」、「大いに使用している」と合わせて75%であり昨年より13ポイント増加しており学内で高いデジタルツールの使用が示された。また学年別にみると、1年次では76%、2年次では64%、3年次では72%、4年次では90%使用しており、4年次での高い使用率が認められた。

#### ・学修形態（設問Ⅰ-7,8）

##### ・授業時間以外に分からないことがあった時の解決法

学科全体では「同級生（友人）に聞く」34%、「自分で調べる」34%が他を引き離し最も多く、次いで「教員に聞く」22%が多かった。学年別にみると、1年次と2年次は「同級生（友人）に聞く」、「自分で調べる」がほぼ同程度であるが、3年次では「同級生（友人）に聞く」は変わらないが、「自分で調べる」が減少し、代わりに「教員に聞く」が増加することにより「自分で調べる」と「教員に聞く」が均衡している。

##### ・授業以外で他の学生と勉強をすることがあるかに関して

学科全体では「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と「ときどき他の学生と勉強している」を合わせて62%を示している。また、「ほとんど一人で勉強している」と「いつも一人で勉強している」を合わせて38%であった。学年別にみると、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と

「ときどき他の学生と勉強している」は1年次では59%、2年次では64%、3年次は77%であり半数以上が誰かと学修している結果が得られた。しかし4年次では誰かと学修している学生が30%と少なく4年次の国家試験勉強では一人での学修が効率の良い学修が得られているのかもしれない。但し前述のごとく4年次は回答数が10名のみであり、必ずしも4年生全体を示しているとは限らないと思われる。

#### ・学修意欲（設問I-9,10）

- ・学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関して

学科全体では「比較的合っている」と「非常に合っている」を合わせて82%であり昨年より5ポイント上昇していた。また、「合っていない」と「あまり合っていない」を合わせて18%であり、昨年より5ポイント低下していた。学年別にみると「比較的合っている」と「非常に合っている」の合計は1年次では100%、2年次では71%、3年次では71%、4年次では90%を示し「合っていない」と「あまり合っていない」の合計が1年次では0%、2年次では29%、3年次では29%、4年次では10%という結果が得られた。特に最高学年である4年次で「比較的合っている」と「非常に合っている」の合計が90%いた反面、「合っていない」が10%もの学生もいたことには驚きを隠せない。

- ・積極的に学修に取り組んでいるかに関して

学科全体では「取り組んでいる」と「大いに取り組んでいる」の合計が70%であり、昨年より6ポイントも増加しており、更に「取り組んでいない」「あまり取り組んでいない」の合計が30%で昨年よりも5ポイント低下しており全体的に学習意欲が上昇している傾向を示した。

学年別では「取り組んでいる」と「大いに取り組んでいる」の合計が1年次で82%、2年次は57%、3年次は59%、4年次は90%を示した。ここでは2年次の取り組み率が最も低かった。次年度から専門教科による講義や実習が多数始まることから専門職の意識を持たることが重要だと思われる。

#### ・学修行動 学科学生考察

学修時間については、4年次を除いて「授業のある日」、「授業のない日」に関わらず120分以上の学修時間を示す学生が減少しており全体的に学修時間の短縮化が見られる。このことから生活のリズムの中に勉強時間を組み込む指導が更に重要である。特に2年次において注意する必要性が感じられる。4年次は目標を国家試験のため、120分以上の学修時間が確保されており特に「授業のある日」は90%、「授業のない日」でも50%を示しており、本学科に入学した成果としてこの結果が本年度の国家試験にも影響していると思われる。

現在の3年次は「授業のある日」、「授業のない日」に関わらず学修時間が0分の学生が10数%いるため、これは次年度に教員から積極的な指導をする必要性がある。

また、学習内容については、4年次以外専門科目の授業の予習・復習が最も多く毎日の授業を取りこぼすことなく理解するため行動の一端ではないかと思われる。このまま基礎学習に基づいた専門科目の学修を行なってもらいたい。

尚、4年次は、他学年と異なり「国家試験の学修」が最も多く国家試験を前にした時期であることから理解できる。

学修の場所については、「自宅・下宿」が最も多いが、次いで「大学図書館」、「学食、カメラ」が続いており学内施設が有効に使用されているようだ。

デジタルツールの使用については、スマホ・PC・タブレット端末による学習は学科全体で74%であり半数以上が使用している。しかも4年次では90%と最も多く使用しているが、ネットの中には誤った情報も混在しているためデータについては出所を確認し安易な使用法は避ける様に注意する必要がある。

分からない内容の解決法とし「自分で調べる」と「同級生（友人）に聞く」ということが多い結果が示され、基本的には自分で調べ、解決しない時には友人に聞くというスタイルが、この結果から想像される。尚、3年次と4年次では他学年と異なり「教員に聞く」が増加しており、専門教科が増えたため国家試験関連問題で「自分で調べる」が調べきれずに「教員に聞く」ことが増加したことが考えられる。

他の学生と一緒に学修する勉強については4年次以外ひとりで学修するよりも他人と一緒にいるという学生が、学年が上がるると共に増加しており、グループ学習によるプラスの効果が期待できているのではないと思われる。

コースの選択においては「合っていない」と「あまり合っていない」を合わせて18%を占めており昨年より5ポイント低下しており、自分の入学した学科の特性を入学前のオープンキャンパスや合格者相談会に参加しコースの内容を熟知していたことが考えられる。

## 「学生生活について」(図Ⅱ-1～10)

### ・部活動やサークル(設問Ⅱ-1)

大学全体では部活動やサークルに参加について「全くしていない」学生が64%だったのに対して生命医科学科全体では83%と高い率で部活動やサークル活動へ不参加であった。これは昨年より不参加者が3ポイント増加している。

学年別にみると週に1回以上、部活動やサークルに参加する学生は1年次では35%、2年次では29%、3年次では5%、4年次では0%であった。生命医科学科では、部活動やサークルに参加する学生は少数であり、専門教科の始まる学年が上がるると共にその参加率が減少している。

### ・アルバイト(設問Ⅱ-2)

大学全体ではアルバイトを『全くしていない』が25%だったのに対し、生命医科学科では43%、学年別では1年次で35%、2年次で29%、3年次で41%、4年次では80%がアルバイトをしていないという結果であった。特に3年次は臨地実習前であるため院内への感染持ち込み防止依頼によりアルバイト率が他学年と比較し少ない傾向を示していると思われる。また4年次は国家試験前であることが少ない原因の一つと思われる。

### ・睡眠時間(設問Ⅱ-3, 4)

大学全体では授業のある日は「5～7時間未満」が全学年を通して最も多く63%であるのに対して、授業のない日は「7～9時間」が全学年を通して43%で最も多かった。学科内でも概ね同様な傾向を示し、授業のない日は睡眠時間を長く取る傾向を示した。しかし3年次では授業のない日では「5～7時間未満」と「7～9時間未満」が41%の同数であり変化がなかったこれは昨年度も同じ傾向を示した。

### ・自由時間(設問Ⅱ-5, 6)

大学全体では授業のある日は「1～3時間未満」が最も多く47%、次いで「3～5時間未満」が36%であり、授業のない日は「5時間以上」が最も多く56%であった。また授業のある日、ない日を含め自由時間がないという学生が4～2%いるという結果が得られた。学科全体でも同様な傾向を示し授業のある日は「1～3時間未満」が最も多く49%、次いで「3～5時間未満」が37%であり、授業のない日の自由時間は「5時間以上」が67%であった。また授業のある日、ない日を含め自由時間がないという学生が3～2%いるという結果が得られた。

### ・ストレス解消(設問Ⅱ-7)

大学全体では「時々ある」が61%、「毎日ある」が35%でありストレス解消やリラクスのための時間を有する学生が、96%いることが示された。学科全体では「時々ある」56%「毎日ある」が37%であり92%の学生が何らかのストレス解消やリラクスのための時間を有しており健全な学園生活が

行っていると思われる。その一方、学科内ではストレス解消やリラックスのための時間ない学生が8%おり昨年より2ポイント増加している。学年別では1年次の学生でストレス解消やリラックスのための時間がない最も多く約5%が「ない」と回答しており早期にストレス解消等を作る必要性がある。

#### ・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

大学全体では「参加していない」が67%でもっとも比率が高く、次いで「年に1~2回」が16%であった。学科内では「参加していない」が83%と最も比率が高く、次いで「年に1~2回」が16%であった。「参加しない」学生が昨年と比較し5ポイント増加する一方、「年に1~2回程度参加する」学生が4ポイント減少し、ボランティア参加率が低下している傾向を示した。

学科内の学年別にみると、1年次でのボランティア参加率は18%、2年次では14%、3年次では14%、4年次では30%であった。

#### ・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

大学全体では「感じていない」及び「あまり感じていない」の合計が約76%であった。その一方『感じている』『大いに感じている』が約24%との回答であった。学科内で見ると「感じていない」及び「あまり感じていない」の合計が約75%であった。その一方「感じている」「大いに感じている」が約25%との回答であった。学年別にみると「感じている」「大いに感じている」と回答したのは1年次が最も多く35%で、次いで2年次が29%であった。1年次ではこれまでと環境が変わりクラスに馴染めず友人のいない学生がいる可能性があり、特に退学者低減を鑑みどのような悩みであるかを調査する必要があると思われる。

#### ・相談相手（設問Ⅱ-10）

大学全体では『保護者や家族』と「学内の友人」が最も多く（66%）、次いで「学外の友人等」（19%）と言う順で比率が高かった。中には「相談する相手がない」と回答した学生が3%程度見られた。学科内でもほぼ同様な結果であった。「保護者や家族」（32%）と「学内の友人」（37%）が最も多く、両者で69%を示した。次いで「学外の友人等」（21%）と言う順で比率が高かった。各学年で相談する相手がいる一方、1年次では2名、2年次では1名の学生が相談する相手がないと回答している。

#### ・学生生活 学科学生考察

・部活動・サークル活動は大学全体と比較し生命医科学科の学生は参加していない学生が多い傾向を示している。更に昨年より部活動・サークル活動参加していない学生が、3ポイント増加しており、学内の部活やサークルを有効利用していない。しかし学生によると延岡市内の社会人チームのサークルで活動しているという学生もおり、自分のやりたいサークル等がないため参加していないことも考えられる。

・生命医科学科ではアルバイトを行っていない学生が大学全体の平均より高い傾向を示した。特に4年次については国家試験前でありアルバイトを行なっていない時間がないため80%の学生がアルバイトを行っていないと思われる。また1年次から3年次についても日常の実習やそのレポート、小テスト、中間テストと頻繁に時間を要する事柄が多くアルバイトを実施しにくい状況が考えられる。

・睡眠時間については「授業のある日」と「授業のない日」を比較すると「授業のない日」で概ね1~2時間程度睡眠時間が多く結果が示された。但し3年次では授業の有無に関わらず変わらない学生が見られたが学科全体としては5~6時間の睡眠が最も多く健全であると思われる。尚、3時間未満の学生が1年次に1名いることからこれらの学生には適正な睡眠時間を確保し規則的な生活を送ってほしい。

・自由な時間については、その自由時間に何をしているかという質問が必要と思われる。この時間帯に①アルバイトをしている。②ストレス解消の趣味をしている。③自由時間だから勉強している。④家事を行っているなど、その内容がわからないとどのように解釈してよいか悩むところである。また、

自宅通学者とアパート暮らしによるものの差が大きいと思われる。そのため以降のアンケートでは自宅通学か一人暮らしに分類した方が良いと思われる。

・ストレス解消やリラックスのための方策については学科全体で92%が何らかのストレス解消やそのための時間を有しており健全な学園生活が行っていると思われる。しかし1年次、2年次、4年次合計5名(8%)の学生がストレス解消やそのための時間が無いと回答している。これらの学生には適切なストレス解消法を設けるよう指導していきたい。

・ボランティア活動では学科内では全体的にはボランティア意識が低く83%学生が活動を行っていない。更に本学科では各学年を通してボランティア活動参加への減少傾向があるようだ。

・学生生活での不安や悩みについては学科内では75%が感じていないという事であった。その一方で「感じている」「大いに感じている」と回答した学生が1年次から4年次迄16名(25%)おり不安や悩みを感じているという結果であった。1年次は大学生という、これ迄とは異なる生活環境に馴染めない学生がいる可能性があり、特に退学者低減を鑑み、どのような悩みであるかを調査する必要があると思われる。

・相談相手は例年と変わらず、保護者、友人が最も多く、次いで外部の友人が多かった。身内や同年代の学生に相談しているようであるが、相談相手が全くいない学生も居ることから、話ができる相手を見つけ、大学生活を楽しんでもらいたい。そのために学内の教員で協力可能領域をサポートしたいと考えている。

## **臨床心理学科アンケート結果 (107名中 回答者 57名 回答率 53%)**

### **「学修行動について」(図 I-1~10)**

#### **・学修時間 (設問 I-1, 2)**

本学科では1年生から4年生までの学年ごとの違いはあまりみられず、授業のある日の学修時間は「30~60分未満」が、授業のない日では「30~60分未満」が最も多かった。

しかし、学科全体は、大学全体の同様に、学修時間が十分に確保されているとは言えない結果であった。

#### **・学修内容 (設問 I-3, 4)**

本学科では1年次から3年次まで、「授業の予習・復習(専門科目)」を最優先した学修内容となっていた。4年次は、「卒業研究」や「国家試験や資格試験の勉強」が多く、大学全体の同様に、「授業の予習・復習(専門科目)」から「卒業研究」や「国家試験や資格試験の勉強」へと学修内容がシフトしていた。「その他」は皆無であった。

#### **・学修環境 (設問 I-5, 6)**

学修場所としては、「自宅・下宿」が最も多かった。次いで、「食堂・カメリア」と「図書館」が多かった。

デジタルツール(パソコン・スマホ・タブレット等)は、「ときどき使用している」が多い一方で、「ほとんど使用していない」が比較的多くみられた。デジタルツールの使用は、学年が上がるにつれ増える傾向にあった。

#### **・学修形態 (設問 I-7, 8)**

分からないことがあった時の解決法は、「自分で調べる」「同級生(友人に聞く)」が多かった。「教員に聞く」も今回、13%で前年度と比較して少なかった。

他の学生と勉強を一緒に行うかに関して、「ときどき他の学生と勉強している」が最も多かった。

## ・学修意欲（設問Ⅰ-9,10）

学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているかに関しては、「非常に合っている」と「比較的合っている」を合わせて88%であった。「合っていない」と「あまり合っていない」を合わせて11%であった。

積極的に学修に取り組んでいるかに関しては、「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」を合わせて32%であった。

## ・学修行動 全学考察

本学科は、学年を重ねるにつれて、学修時間が増加している。しかしながら、3年生までの大部分は「30～60分未満」であり、その内容をみても「授業の予習・復習（専門科目）」に留まった。学修時間の量的な確保は第一の課題である。それとともに、質問項目の設定が十分と言えない面もあるが、「授業の予習・復習（専門科目）」に留まらず、学生自ら探究的な学習に発展させる必要がある。教員は、授業などで、学生の知的好奇心を拡大するような機会を与える必要があると言えるだろう。

学修の場をみると、「自宅・下宿」が最も多かった。このことは、帰宅後の学習が確保されているとも考えられる。しかし、学修時間が十分に確保されていない現状を考慮すると、大学内において、学修の場が有効に活用されていない現状が窺える。「図書室」や「演習室」の活用だけでなくその活用方法に関し、教員を含め、大学側がオリエンテーションなどで啓発していく必要がある。

分からないことがあった時の解決法に関し、大学全体と同様に、「教員に聞く」が以前より上昇したものの、十分な割合とは言い難い。多くの場面において、学生自身や学生間で自己解決が図られていることが考えられる。その一方で、教員とのコミュニケーションが不十分であると考えられる。その対応方法として、教員との連絡方法を明示しておくことが考えられる。オフィスアワーが設けられているものの、学生個々の空き時間やスケジュールと合致するとは限らない。その意味で、シラバスにメールアドレスを明記するなど、授業内に教員との連絡方法を具体的に提示する必要がある。

デジタルツールの使用は学年が上がるにつれ増える傾向にあるものの、「ほとんど使用していない」が一定数みられた。『使用できる』と『使用する』には乖離があることは十分考えられる。パソコンなどのソフトの活用は現代社会において必要不可欠である。「ほとんど使用していない」の一群の学習の進捗を見定めるとともに、これらの活用スキルがどの程度あるか把握する必要がある。

学科・コースの学びが学生の大部分が概ね学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っていた。しかし、興味・関心に合っていないと回答した学生が一部存在した。本学科が複数の資格や進路を選択できるメリットを活かして、チューター面談を通じて、早い段階から随時、各学生の軌道修正を行う工夫も必要である。それと同時に、各学生の学修の進捗を把握して、進捗に応じた内容を個別に用意して達成感を持つ機会を設けることも大切であろう。

## 「学生生活について」（図Ⅱ-1～10）

### ・部活動やサークル（設問Ⅱ-1）

本学科では、67%が活動をしておらず、『週に1～3回』が31%であった。

学年別にみると、1年生、2年生は3、4年生と比較して『週に1～3回』が多かった。4年生は『全くしていない』が91%で最も高い。

### ・アルバイト（設問Ⅱ-2）

全体では『全くしていない』が21%、『週に1～3回』が51%、『週4～6回』が26%であった。学年別にみると、3年生は『週4～6回』の割合が最も高く、4年生は『週に1～3回』の割合が最も高かった。

#### ・睡眠時間（設問Ⅱ-3, 4）

授業のある日は『5～6 時間』が 65%で最も多くあり、授業のない日は『5～6 時間』あるいは『7～8 時間』がそれぞれ、42%であった。授業のある日において、4 時間未満が 7%であった。

#### ・自由時間（設問Ⅱ-5, 6）

授業のある日は『1～2 時間』が 47%、『3～4 時間』が 42%であり、授業のない日は『5 時間以上』が 53%であった。

学年別にみると、授業のある日では、1 年生において『1～2 時間』（47%）が他の学年よりも高かった。

#### ・ストレス解消（設問Ⅱ-7）

全体では『時々ある』が 67%、『毎日ある』が 49%であった。学年別でも、全体と同様の傾向であった。

#### ・ボランティア活動（設問Ⅱ-8）

全体では『参加していない』が 84%で最も高く、次いで『年に 1～2 回』が 18%であった。学年別にみると、1 年生は『参加していない』が 83%で他の学年よりも割合が高い。

#### ・学生生活で不安や悩み（設問Ⅱ-9）

全体では『感じていない』が 42%、『あまり感じていない』が 33%であった。

学年別にみると、2 年生は『感じている』が 27%で他の学年よりも高かった。

#### ・相談相手（設問Ⅱ-10）

全体では『学内の友人』が 74%、『保護者や家族』が 65%、『学外の友人等』が 39%の順で高かった。学年別にみると、『チューター教員』は学年によらず、2 割程度と比較的低かった。

#### ・学生生活 全学考察

部活動・サークル活動及びボランティア活動は、7 割～8 割が所属していない。所属するか否かは、学生の意思によるものである。しかし、これらの活動は、就職活動にプラスに働くことから、ここでの経験を、積極的に大学として促して活動の場を拓いていく必要がある。

アルバイトは全体では約 8 割が行っている。学年が上がるにつれて頻度が減る傾向がある。経済的事情により、アルバイトを行わざるを得ないことも十分考えられる。大学側としては、アルバイトをなるべく避けて、学修時間を確保して欲しい。今後、学生の経済的な事情やアルバイトの目的などについて把握する必要がある。

睡眠時間、自由な時間、ストレス解消は、大部分の学生がほぼ適切といえる。ただ、4 年生では睡眠時間が 4 時間程度の者が散見され、大学での学習への影響が懸念される。

また、全体では約 3 割が不安や悩みを感じており、今後、これらがどのような種類のものであるか把握する必要がある。学生のプライベートな悩みにまで、大学が対応するのは限界がある。また、対応可能な部分に関して、その種類に応じて、相談相手や相談方法などの相談システムを構築することが望まれる。

### 薬学科アンケート結果（304 名中 回答者 188 名 回答率 62%）

#### 「学修行動について」（図 I-1～10）

#### ・学修時間（設問Ⅰ-1, 2）

大学全体の傾向と比較し、学修時間は長めの傾向にある。しかし、前年度と比較し、全体として学修時間の若干の減少傾向が見受けられた。

#### 【授業のある日】

学科全体での学修時間の最頻値は「30～60 分未満」（39%）であった。前年度も同様に「30～60 分未満」が最頻値であり、大きな変化はみられなかった。

1年次は、前年度と比較すると、中間層がやや減少し、学修時間の長い学生と短い学生の比率が増加している。学生の二極分化が懸念される。

2年次は、「30～60分未満」が65%と突出して多い分布となっていた。前年度とほぼ同様である。

3年次は、前年度とほぼ同様であるが、0分と回答した学生が2名存在している。

4年次は、前年度とほぼ同様であるが、全体として学修時間の若干の増加傾向が見受けられる。

5年次は、前年度と比較し、学修時間の減少傾向が見受けられる。

6年次は、前年度と比較し、学修時間の減少傾向が見受けられる。

#### 【授業のない日】

学科全体では「120分以上」(33%)が最も多く、次いで「60～120分未満」(27%)であった。前年度と比較すると「120分以上」の比率がやや低下し(前年度36%)、「30分未満」がやや増加していた。授業のある日に比べ学修時間は長い傾向にあるが、「0分」の学生が約6%存在する。

学年毎の状況では、前年度と比べ、1年次は大きな変化はないが、2年次は学修時間の減少傾向が見受けられる。3年次は学修時間が増加しているが、0分と回答した学生が3名存在している。4年次は増加、5年次および6年次では大きな変化は見られない。

#### ・学修内容(設問I-3,4)

#### 【授業のある日】

専門科目の予習・復習(48%)が最も多く、教養科目(25%)、国家試験や資格取得の勉強(20%)と続いた。前年度とほぼ同様の傾向が示されている。

1～3年次では専門科目の予習・復習が中心であり、4年次以降は国家試験に向けた学修の比率が増加していた。特に6年次では国家試験対策が60%を占めていた。各学年において、前年度との大きな違いはないが、高学年における国家試験対策の学修時間の比率がやや増加している傾向にある。

#### 【授業のない日】

授業のある日と概ね同様の傾向であるが、国家試験対策の比率がやや高くなっていった。特に、5・6年次ではその傾向が前年度より強まっている。

#### ・学修環境(設問I-5,6)

学修場所としては、「自宅・下宿」が44%と最も高い比率を占めており、前年度よりその比率が高まっている。次いで「大学図書館」(16%)、「教室(演習室、実習室含む)」(15%)、「食堂・カメリア」(12%)の順であった。「ラーニングcommons(図書館2階)」(2%)と「ラーニングサポートセンター(英語村)」(2%)の活用度は引き続き低かった。

デジタルツール(パソコン・スマホ・タブレット等)については、「大いに使用している」(67%)と「ときどき使用している」(22%)を合わせて89%が使用しており、前年度の83%からさらに増加した。特に「大いに使用している」の比率が前年度の55%から67%へと大きく上昇しており、デジタルツールを活用した学修がより一層定着していることが示された。

#### ・学修形態(設問I-7,8)

分からない内容があった時の解決法は、「自分で調べる」が38%で最も多く、次いで「同級生(友人に聞く)」が37%、「教員に聞く」が19%であった。前年度とほぼ同様の傾向であった。

他の学生と勉強を一緒に行うかに関しては、「ほとんど他の学生と一緒に勉強している」と「ときどき他の学生と勉強している」を合わせて59%、「いつも一人で勉強している」と「ほとんど一人で勉強している」を合わせて41%であった。前年度(一緒に勉強56%、一人で勉強44%)と比較し、概ね同様の傾向であった。前年度に比べ、5年次では他の学生と一緒に学修する傾向が高まり、6年次では逆に、個人で学修する傾向が高まっていた。学年毎の学生同士の親密さの違いが反映されていると考えられる。

## ・学修意欲（設問 I-9, 10）

学科の学びが自身の興味・関心と合っているかに関しては、「比較的合っている」と「非常に合っている」を合わせて88%であり、前年度の84%からやや上昇した。特に「非常に合っている」が前年度の27%から37%へと増加しており、学生の興味・関心との合致度が向上している。一方、「合っていない」と「あまり合っていない」を合わせて12%の学生が存在した。

積極的な学修への取り組みに関しては、「取り組んでいる」と「大いに取り組んでいる」を合わせて72%であり、前年度の74%と概ね同水準であった。「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」を合わせて28%であり、これらの学生への支援が引き続き課題である。

## ・学修行動 学科学生考察

薬学科のアンケート回答率は62%となっており、前年度の67%からやや低下した。全学科中では引き続き高い回答率を維持しているが、特に6年次の回答率が32%と低い結果であった。これは、6年次が薬剤師国家試験の準備に集中している時期であることの影響と推察される。一方、3年次の回答率は87%と最も高かった。これには、学年毎の学生のパーソナリティの違いが反映している印象を受ける。

回答率の低下があり、依然として4割近い学生が未回答であるため、「学業に熱心な学生の方が回答率が高い」などのバイアスが生じている可能性がある。そのため、本アンケート結果の解釈には引き続き注意が必要と考える。

学修時間については、授業のある日は「30～60分未満」が最頻値であり、前年度から大きな変化はみられなかったが、やや減少傾向は見受けられる。授業のない日についても、前年度と比較して「120分以上」の比率がやや低下しており、全体的な学修時間の確保がやや後退した可能性がある。6年次においても国家試験を控えた時期でありながら60分に満たない学生が一定数存在するため、これらの学生へのアプローチは引き続き急務である。

学修内容については、前年度と同様に4年次以降で国家試験対策の学修が本格化している。各学年の学修内容の推移は概ね前年度と同様であり、基礎薬学総合演習試験やCBT・OSCEの成績を評価しながら、カリキュラムや学生指導の継続的な調整が求められる。

学修環境については、全学年を通して「自宅・下宿」と回答した学生が最も多かった。各学生の個性に合わせた柔軟な対応が必要ではあるが、成績が伸び悩む学生に対しては、集中力を維持しやすい学内での学修を促すことも有用であると考えられる。自由記述において、学修環境の整備（Wi-Fi環境やエアコン、講義室・演習室、図書館の利用時間延長等）に関する要望が寄せられているため、可能な限り快適な学修環境を提供できるよう引き続き検討していく。

デジタルツールの使用は89%に達し、前年度の83%からさらに増加した。学科で導入している「すらら」、「SATT」等のeラーニングシステムや、教科書・講義資料等のデジタル化の影響が反映されていると考える。

学修形態については、分からない内容の解決に関し、「教員に聞く」の比率は19%で前年度の17%からわずかに上昇したが、依然として「自分で調べる」や「同級生に聞く」が大半を占めている。学生-教員間の良好な関係性の構築について、今後も改善のための対策を講じる必要があると考える。学修意欲については、興味・関心の合致度が前年度の84%から88%に上昇しており、特に「非常に合っている」の回答が増加した点は肯定的な変化である。一方、積極的に学修に取り組んでいるかについては前年度と概ね同水準であり、興味・関心はあるものの積極的な取り組みに至っていない学生が一定数存在する可能性がある。引き続き、学生の自主性を向上させるため、講義・実習へのアクティブラーニングの組み込み等、さらなる改善を模索する必要がある。

## 「学生生活について」(図Ⅱ-1～10)

### ・部活動やサークル(設問Ⅱ-1)

全体の78%の学生が「全くしていない」と回答しており、前年度の74%からやや増加した。「週に1～3回」は17%であった。学年が上がるにつれ参加率は低下する傾向があり、6年次では96%が「全くしていない」と回答していた。他学科に比べて、部活動やサークルへの参加は少ない傾向にある。

### ・アルバイト(設問Ⅱ-2)

他学科に比べ、アルバイトを行っていない学生の比率が高い傾向にあり、全体で53%の学生が「全くしていない」と回答している。前年度(56%)と概ね同水準であった。ただし、5年次においては、「全くしていない」の比率が前年度(77%)に比べて大きく減少(35%)している。

「週に1～3回」が33%で最も多いアルバイト頻度であった。

### ・睡眠時間(設問Ⅱ-3,4)

授業のある日の睡眠時間は「5～7時間」が73%を占めており、前年度の69%からやや増加した。「3～5時間」が17%で前年度(9%)より増加しており、やや短時間睡眠の傾向がみられた。

授業のない日の睡眠時間は「7～9時間」が46%で最も多く、次いで「5～7時間」が36%であった。授業のある日よりも睡眠時間が長い傾向にあるが、前年度と比較すると「7～9時間」の比率がやや低下(前年度60%)し、「5～7時間」が増加していた。

### ・自由時間(設問Ⅱ-5,6)

授業のある日は、「1～3時間」が58%と最も多く、次いで「3～5時間」が30%であった。「ない」と回答した学生は4%であり、前年度(11%)より改善した。他学科に比べ、授業のある日の自由時間は少ない傾向にある。

授業のない日は、「5時間以上」が55%で最も多く、他学科と大きな差異はなかった。

### ・ストレス解消(設問Ⅱ-7)

「時々ある」が50%、「毎日ある」が43%であり、合わせて93%の学生がストレス解消の時間を確保していた。「ない」は8%であり、前年度(5%)よりやや増加した。学年別では、1年次で「ない」が10%と他学年よりやや高く、入学初期のストレスマネジメントに留意する必要がある。

### ・ボランティア活動(設問Ⅱ-8)

全体では「参加していない」が84%であり、前年度の87%からわずかに低下した。他学科に比べ、ボランティア活動への関与は引き続き少ない傾向にある。「年に1～2回」が11%で、前年度(8%)よりやや増加した。

### ・学生生活で不安や悩み(設問Ⅱ-9)

「感じていない」が37%、「あまり感じていない」が42%であり、合わせて79%の学生が不安や悩みをあまり感じていないと回答した。「感じている」と「大いに感じている」を合わせて21%であり、前年度の34%から大幅に改善した。

学年別にみると、3年次(26%)と6年次(27%)で不安や悩みを感じている学生の比率がやや高く、一方で5年次は9%と最も低かった。特に、5年次は、前年度(62%)に比べてその比率が大きく減少している。

### ・相談相手(設問Ⅱ-10)

「学内の友人」が36%と最も高く、次いで「保護者や家族」が33%、「学外の友人等」が18%であった。前年度と概ね相違ない傾向であった。「チューター教員」は9%で、前年度(6%)よりやや上昇した。「相談する相手がない」と回答した学生が3%(10名)存在しており、これらの学生に対する配慮が必要である。

## ・学生生活 学科学生考察

前述の通り、薬学科のアンケート回答率は62%に留まっているため、本アンケート結果の解釈には十分な注意が必要であると考えます。

部活やサークル、アルバイト、ボランティア活動への参加が他学科に比べて少ない傾向は前年度と同様である。これは、薬学科の講義・実習数やそれに伴う予習・復習時間が他学科よりも多いためであると考えられる。

睡眠時間については、授業のある日の「3～5時間」の比率が前年度より増加しており、短時間睡眠の傾向がやや強まっている点に注意が必要である。授業のない日の「寝だめ」傾向も引き続きみられる。睡眠は健康にとって最も重要な要素の一つであるため、学科から定期的に睡眠時間の重要性をアナウンスする必要があると考えます。

学生生活における不安や悩みについては、前年度の34%から21%へと大幅に低下しており、肯定的な変化が見られるが、これは、5年次の大きな改善が全体の数値を押し下げている側面も否定できない。一方で、3年次と6年次においては約4分の1の学生がいまだ不安や悩みを抱えている。3年次は専門科目の高度化、6年次は国家試験への不安が主な背景にあると推察され、学年に応じた継続的な支援が求められる。

相談相手としては、前年度と同様に学内外の友人と保護者・家族が中心であるが、「チューター教員」の比率が前年度の6%から9%に上昇した点は注目に値する。学生-教員間の関係性に改善の兆しがみられるが、依然として低い水準であるため、引き続き、学生から気軽に相談できる環境づくりに努める必要がある。また、「相談する相手がいない」と回答した10名の学生については、特に重点的なフォローが求められる。

## 2025 年度 学修行動・学生生活に関するアンケート

在学生全員に向けてアンケートを実施します。学生の皆さんの学業への取り組み状況、学生生活の状況について問う内容となっています。大学生活がより良いものとなるよう皆さんの声を聞かせてください。

**今年度の授業期間中の平均的な 1 週間について、回答してください。**

### I. 学修行動について回答してください。

授業のある日とない日について、1日の学修時間を教えてください。

1. 授業のある日は、授業以外でどれくらい学修していますか？

- ① 0分
- ② 30分未満
- ③ 30-60分未満
- ④ 60-120分未満
- ⑤ 120分以上

2. 授業のない日は、どれくらい学修していますか？

- ① 0分
- ② 30分未満
- ③ 30-60分未満
- ④ 60-120分未満
- ⑤ 120分以上

授業のある日とない日について、学修内容を教えてください。

3. 授業のある日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答可）

- ① 授業の予習・復習（専門科目）
- ② 授業の予習・復習（教養科目）
- ③ 国家試験や資格取得の勉強
- ④ 卒業研究
- ⑤ 就職試験
- ⑥ ほとんど勉強しない
- ⑦ その他（以下に記入）

（ ）

4. 授業のない日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答可）

- ① 授業の予習・復習（専門科目）
- ② 授業の予習・復習（教養科目）
- ③ 国家試験や資格取得の勉強
- ④ 卒業研究
- ⑤ 就職試験
- ⑥ ほとんど勉強しない
- ⑦ その他（以下に記入）

（ ）

## 5. 授業以外の時間は、どこで学修していますか？（複数回答可）

- ① 大学図書館
- ② ラーニングcommons（図書館2階）
- ③ ラーニングサポートセンター（英語村）
- ④ 食堂・カメラア
- ⑤ 教室（演習室、実習室を含む）
- ⑥ 自宅・下宿
- ⑦ 公立図書館（延岡市立図書館など）
- ⑧ その他（以下に記入）

（ ）

## 6. デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使って学修していますか？

- ① ほとんど使用していない
- ② あまり使用していない
- ③ ときどき使用している
- ④ 大いに使用している

使用しているデジタルツールがあれば具体的にお書きください。

（ ）

## 7. 授業以外の時間に学修しているとき、分からない内容があったらどのように解決していますか？

（複数回答可）

- ① 教員に聞く
- ② 同級生（友人）に聞く
- ③ 先輩に聞く
- ④ その他の人に聞く
- ⑤ 自分で調べる
- ⑥ そのままにしておく（調べない）
- ⑦ その他（以下に記入）

（ ）

## 8. 授業以外で他の学生と勉強することはありますか？

- ① ほとんど他の学生と一緒に勉強している
- ② ときどき他の学生と勉強している
- ③ ほとんど一人で勉強している
- ④ いつも一人で勉強している

## 9. 学科・コースの学びは、自分の興味・関心に合っていますか？

- ① 合っていない
- ② あまり合っていない
- ③ 比較的合っている
- ④ 非常に合っている

選択した項目について、具体的な理由をお書きください。

（ ）

10. あなたは積極的に学修に取り組んでいると思いますか？

- ① 取り組んでいない
- ② あまり取り組んでいない
- ③ 取り組んでいる
- ④ 大いに取り組んでいる

選択した項目について、具体的な理由をお書きください。

( )

II. 学生生活について回答してください。

1. 部活動やサークルにどのくらいの頻度で参加していますか？

- ① 全くしていない
- ② 週に1~3回
- ③ 週に4~6回
- ④ 毎日
- ⑤ その他（以下に記入）

( )

2. アルバイトをどのくらいの頻度でしていますか？

- ① 全くしていない
- ② 週に1~3回
- ③ 週に4~6回
- ④ 毎日
- ⑤ その他（以下に記入）

( )

授業のある日とない日について、1日の睡眠時間を教えてください。

3. 授業のある日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

- ① 3時間未満
- ② 3-5時間未満
- ③ 5-7時間未満
- ④ 7-9時間未満
- ⑤ 9時間以上

4. 授業のない日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

- ① 3時間未満
- ② 3-5時間未満
- ③ 5-7時間未満
- ④ 7-9時間未満
- ⑤ 9時間以上

授業のある日とない日について、1日の自由な時間（食事や睡眠などの日常生活活動、家庭内の役割、学業、アルバイトや部活動などを除いた時間）を教えてください。

5. 授業のある日について、自由な時間はどれくらいありますか？

- ① ない
- ② 1-3時間未満
- ③ 3-5時間未満
- ④ 5時間以上

6. 授業のない日について、自由な時間はどれくらいありますか？

- ① ない
- ② 1-3 時間未満
- ③ 3-5 時間未満
- ④ 5 時間以上

7. ストレス解消やリラックスのために費やす時間がありますか？

- ① ない
- ② 時々ある
- ③ 毎日ある

8. ボランティア活動に参加していますか？

- ① 参加していない
- ② 年に1～2回、参加している
- ③ 2～3か月に1回程度、参加している
- ④ 月に1～2回程度、参加している
- ⑤ ほぼ毎週、参加している

9. 現在の学生生活で不安や悩みを感じていますか？

- ① 感じていない
- ② あまり感じていない
- ③ 感じている
- ④ 大いに感じている
- ⑤ 不安や悩みがあれば、具体的な内容をお書きください。  
( )

10. 悩みや不安を感じた際に誰に相談していますか？（複数回答可）

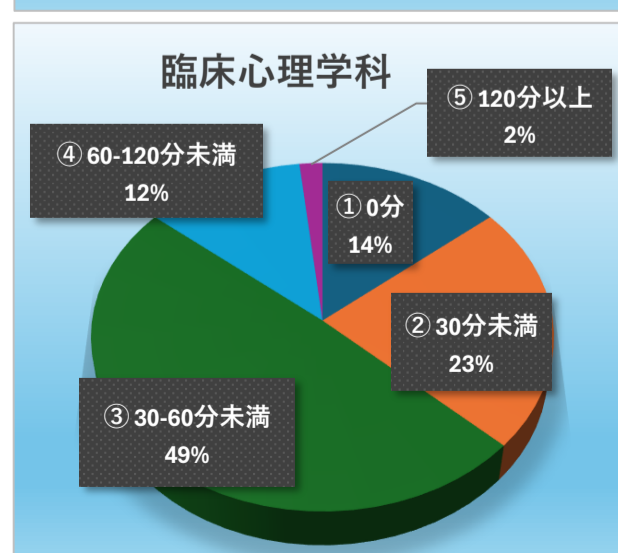
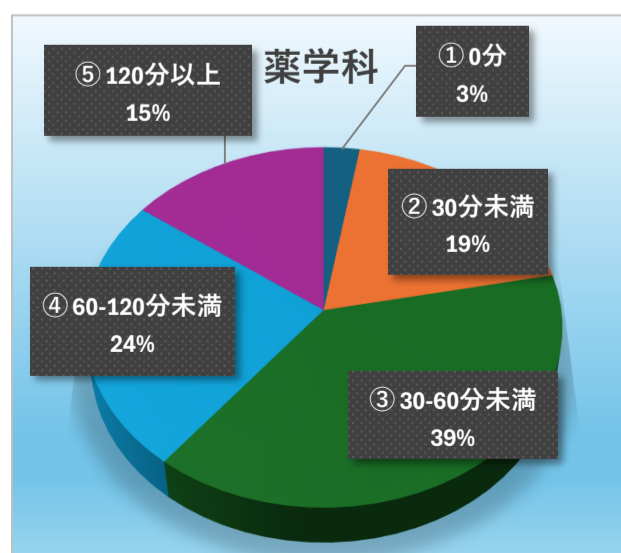
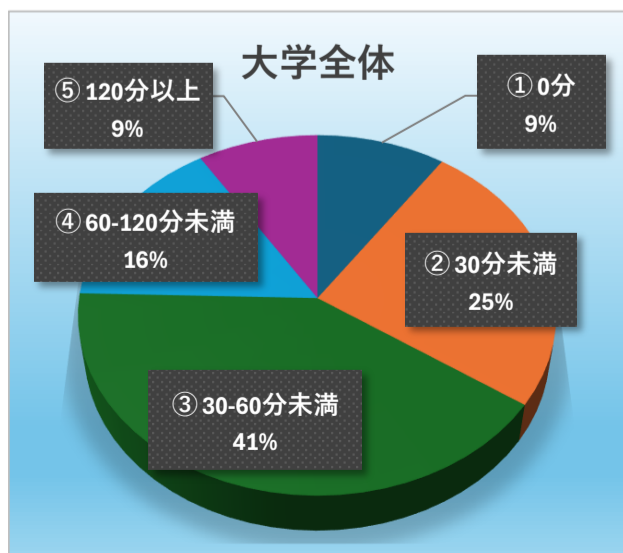
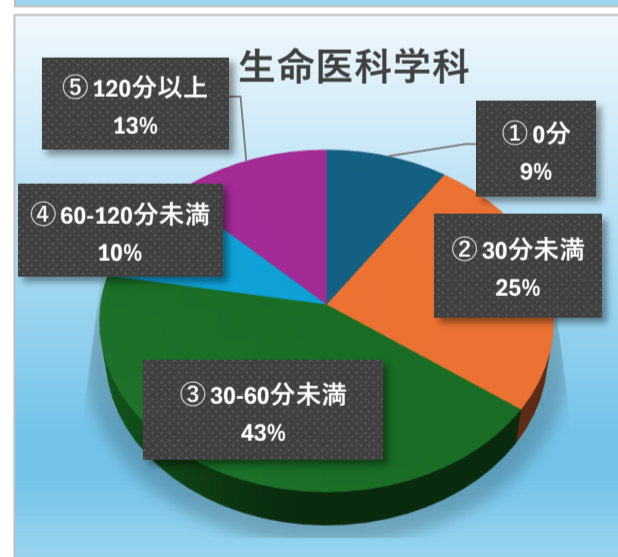
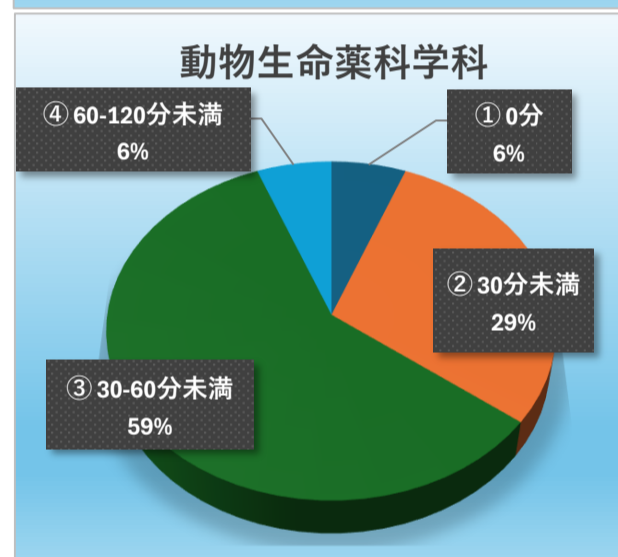
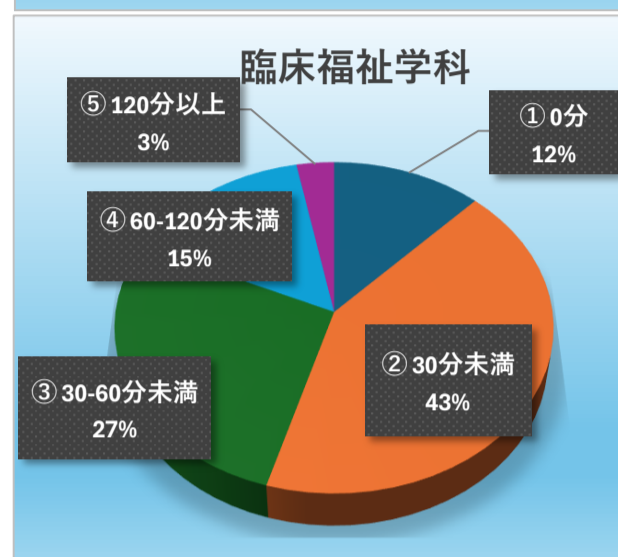
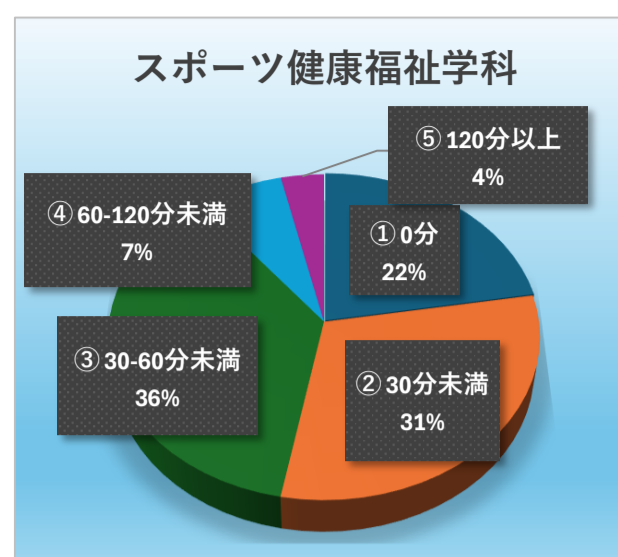
- ① 保護者や兄弟姉妹等の家族
- ② 学内の友人
- ③ ゼミ・チューターの教員
- ④ 健康管理センター
- ⑤ 事務の窓口
- ⑥ 学外の友人や知り合い
- ⑦ 相談する相手がいない
- ⑧ その他（以下に記入）  
( )

Ⅲ. 大学に対して要望や改善すべき点などがあれば、ご自由にお書きください。

( )

設問 1-1. 授業のある日は、授業以外でどれくらい学修していますか？

行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
スポーツ健康福祉学科	19	26	31	6	3
1年	8	9	12	4	1
2年	5	8	10	1	0
3年	5	6	6	0	0
4年	1	3	3	1	2
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
臨床福祉学科	4	14	9	5	1
2年	0	1	0	0	0
3年	2	5	5	0	0
4年	2	8	4	5	1
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
動物生命薬科学科	2	10	20	2	0
1年	1	3	13	1	0
2年	0	5	2	0	0
3年	0	0	4	1	0
4年	1	2	1	0	0
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
生命医科学科	6	16	27	6	8
1年	0	3	10	4	0
2年	3	6	4	0	1
3年	3	7	10	2	0
4年	0	0	3	0	7
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
臨床心理学科	8	13	28	7	1
1年	6	9	12	3	0
2年	1	1	6	3	0
3年	1	2	1	0	1
4年	0	1	9	1	0
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
薬学科	5	36	73	46	28
1年	1	13	16	14	4
2年	0	4	17	3	2
3年	2	5	13	11	2
4年	0	4	14	6	6
5年	2	8	8	5	1
6年	0	2	5	7	13
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
大学全体	44	115	188	72	41
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上
薬学科以外	39	79	115	26	13
1年	15	24	47	12	1
2年	9	21	22	4	1
3年	11	20	26	3	1
4年	4	14	20	7	10

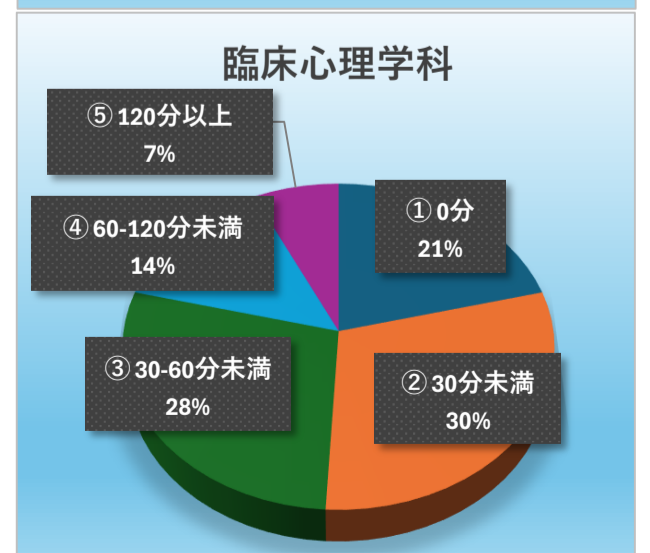
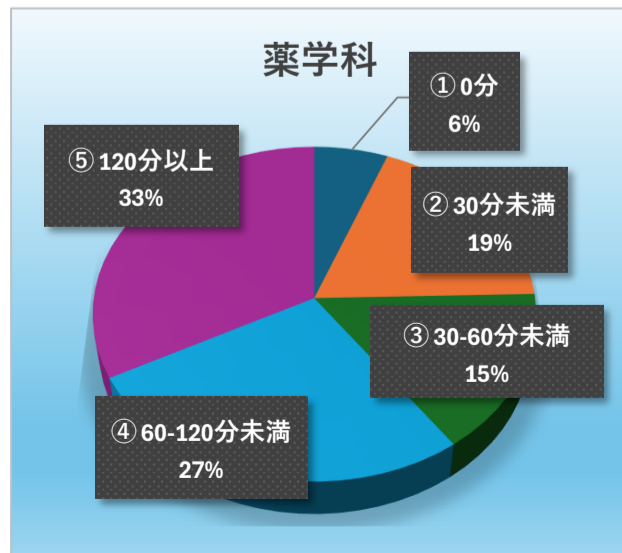
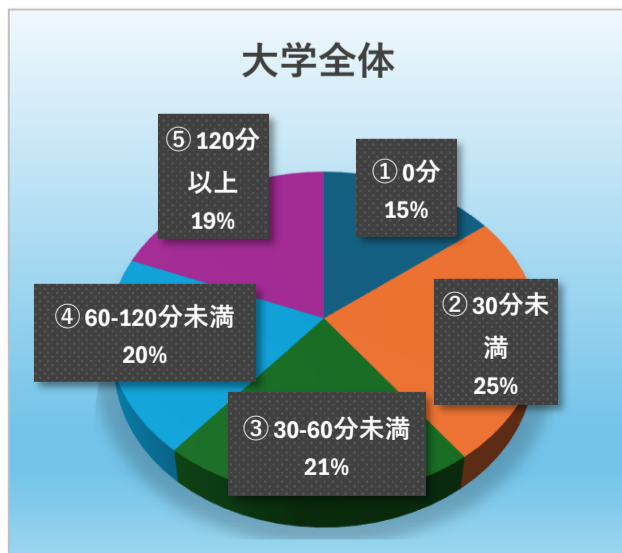
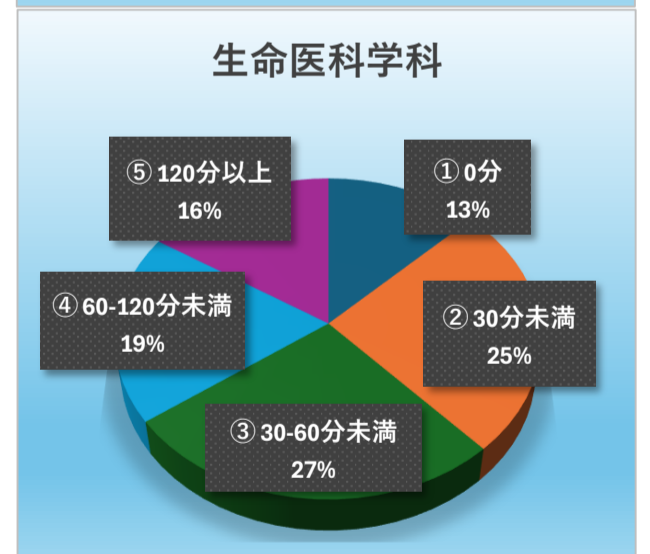
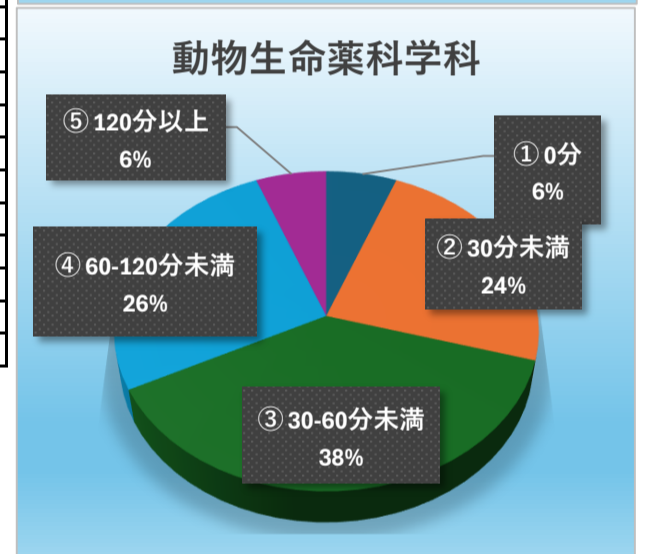
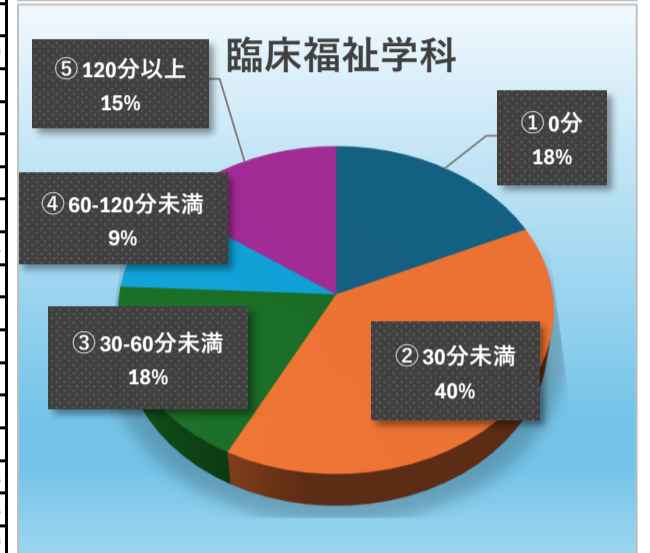
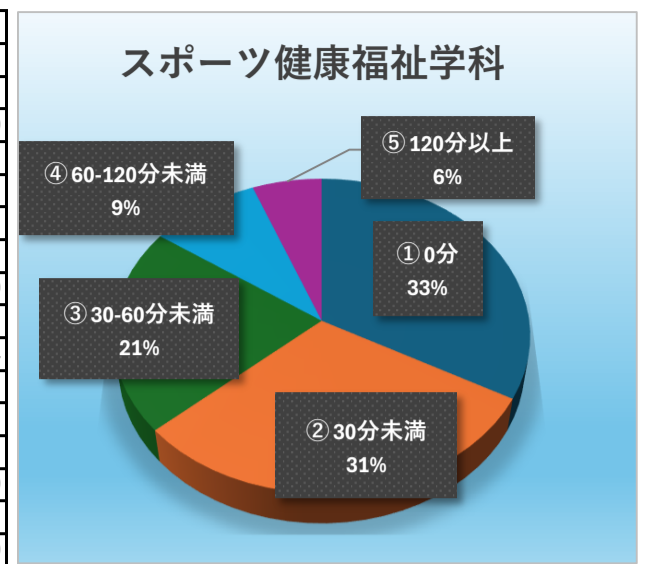


設問1-1. 授業のある日は、授業以外でどれくらい学修していますか？



設問1-2. 授業のない日は、どれくらい学修していますか？

行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上	
スポーツ健康福祉学科		28	26	18	8	5
1年		12	9	8	3	2
2年		5	11	8	0	0
3年		9	4	1	2	1
4年		2	2	1	3	2
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上	
臨床福祉学科		6	13	6	3	5
2年		0	1	0	0	0
3年		3	6	2	0	1
4年		3	6	4	3	4
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上	
動物生命薬科学科		2	8	13	9	2
1年		1	2	8	6	1
2年		1	4	2	0	0
3年		0	1	2	1	1
4年		0	1	1	2	0
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上	
生命医科学科		8	16	17	12	10
1年		0	6	6	3	2
2年		5	4	4	0	1
3年		3	5	5	7	2
4年		0	1	2	2	5
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上	
臨床心理学科		12	17	16	8	4
1年		10	10	6	3	1
2年		0	5	3	2	1
3年		1	1	2	0	1
4年		1	1	5	3	1
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上	
薬学科		11	35	29	51	61
1年		1	11	12	16	8
2年		2	8	5	7	4
3年		3	5	4	10	10
4年		0	4	1	12	13
5年		4	4	7	4	5
6年		1	3	0	2	21
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上	
大学全体		67	115	99	91	87
行ラベル	① 0分	② 30分未満	③ 30-60分未満	④ 60-120分未満	⑤ 120分以上	
薬学科以外		56	80	70	40	26
1年		23	27	28	15	6
2年		11	25	17	2	2
3年		16	17	12	10	6
4年		6	11	13	13	12



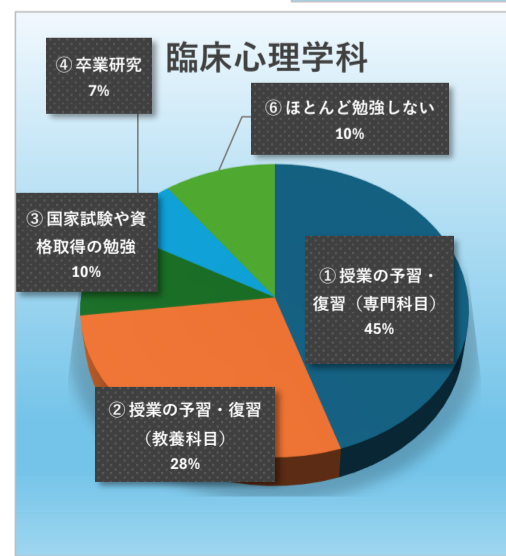
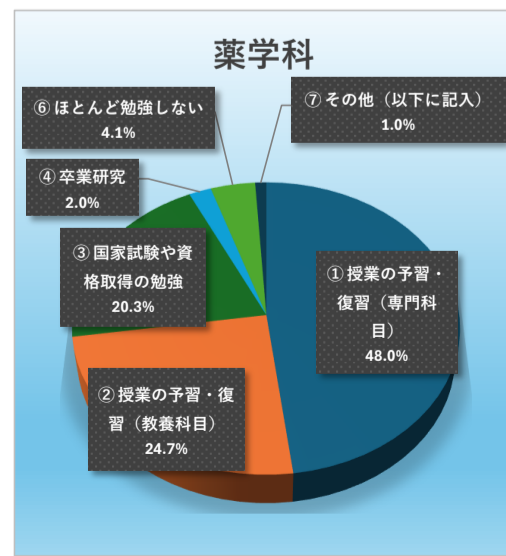
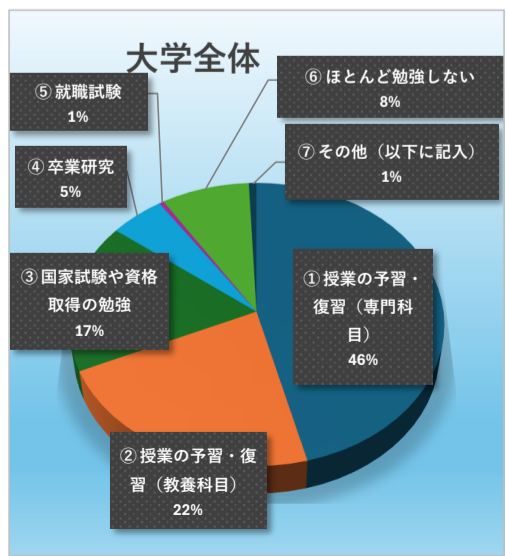
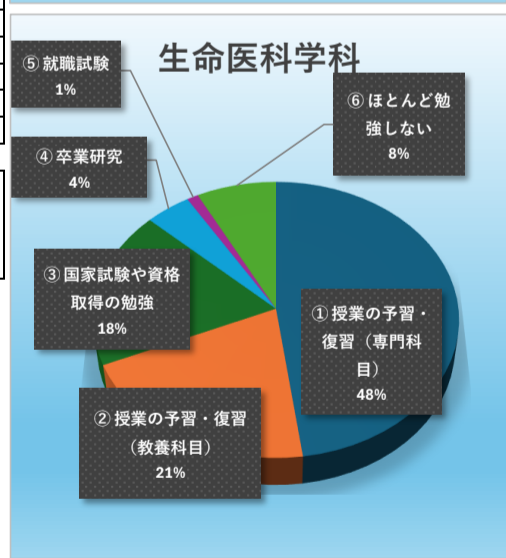
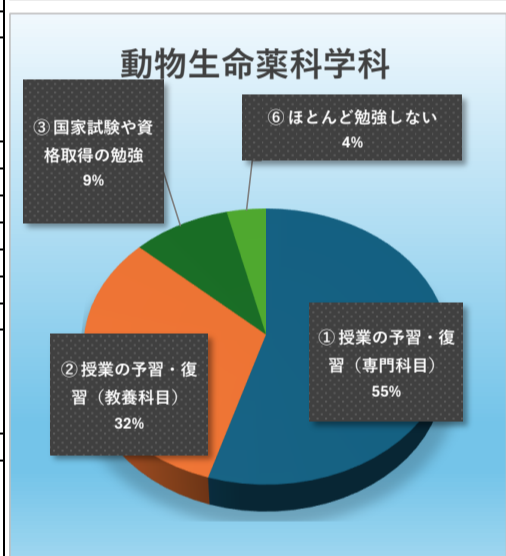
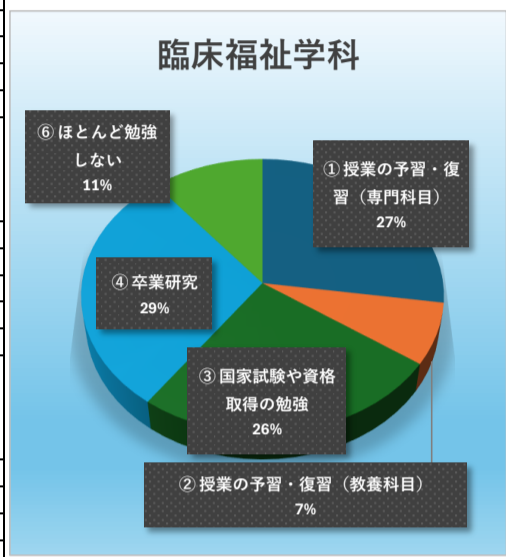
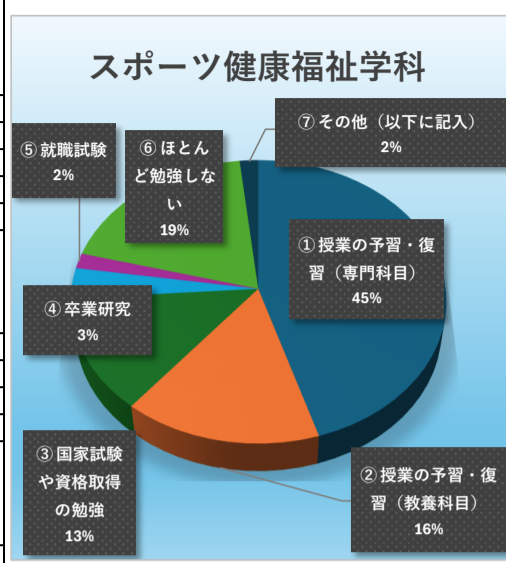
設問1-2. 授業のない日は、どれくらい学修していますか？



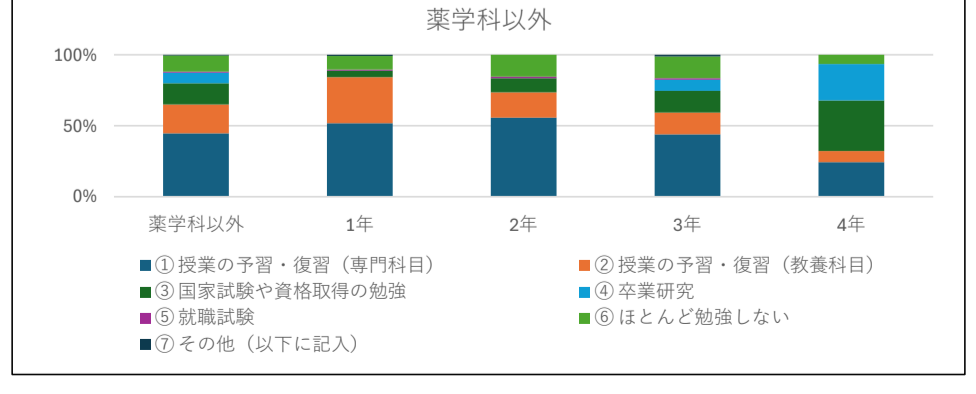
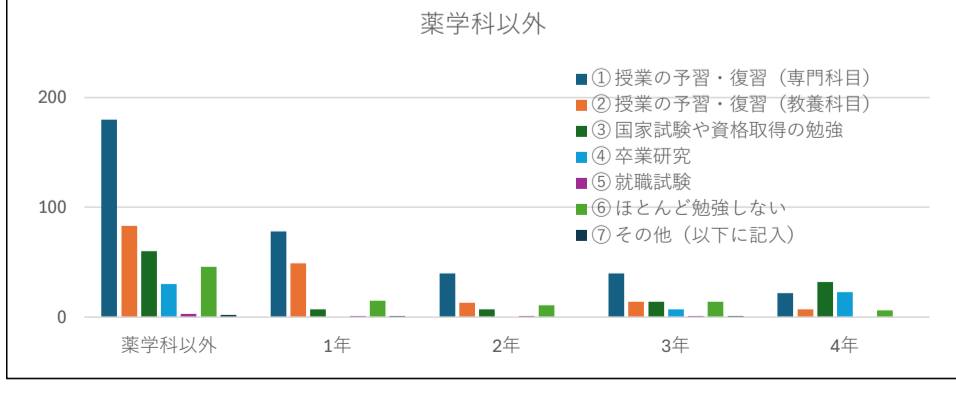
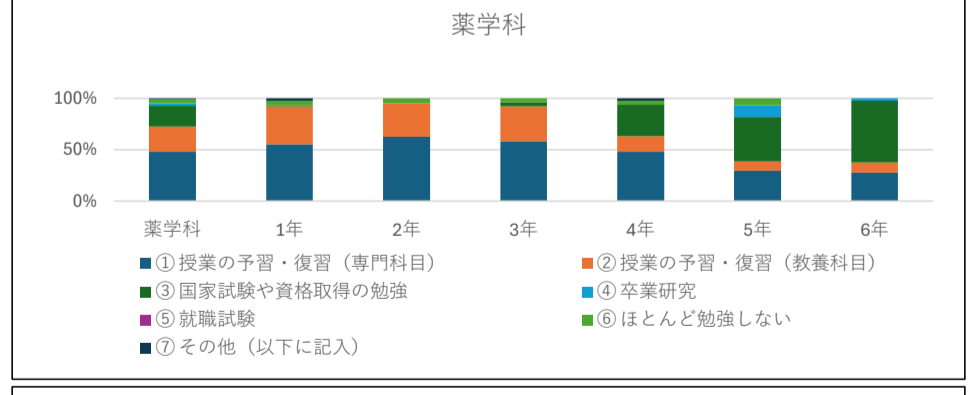
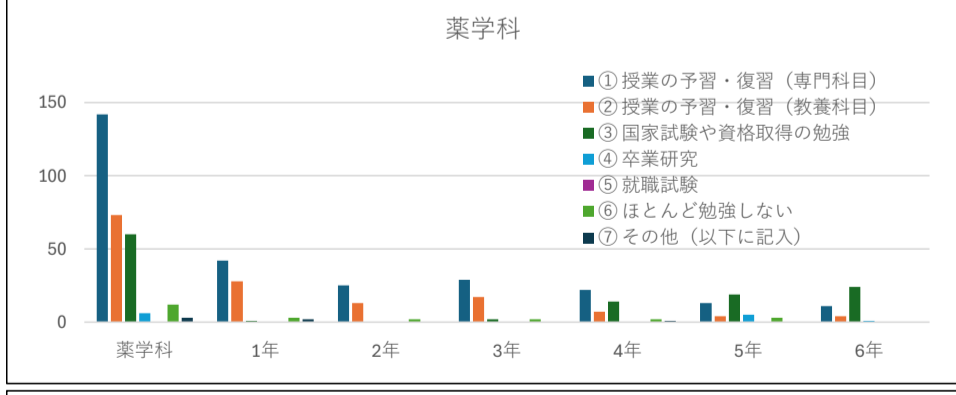
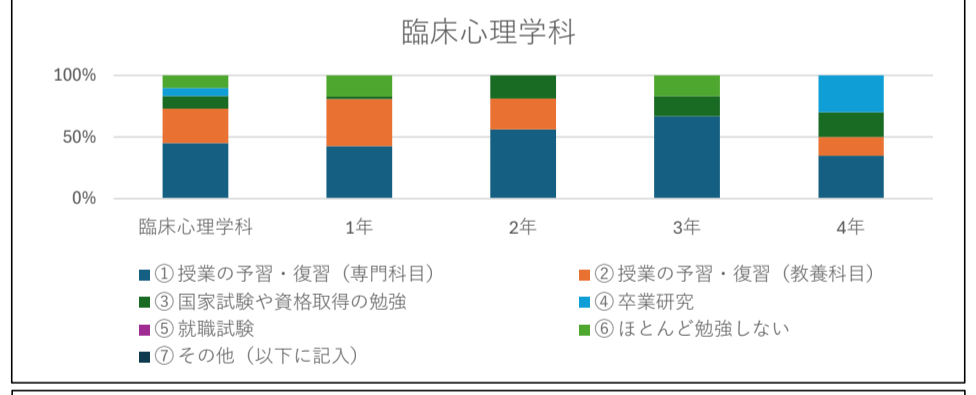
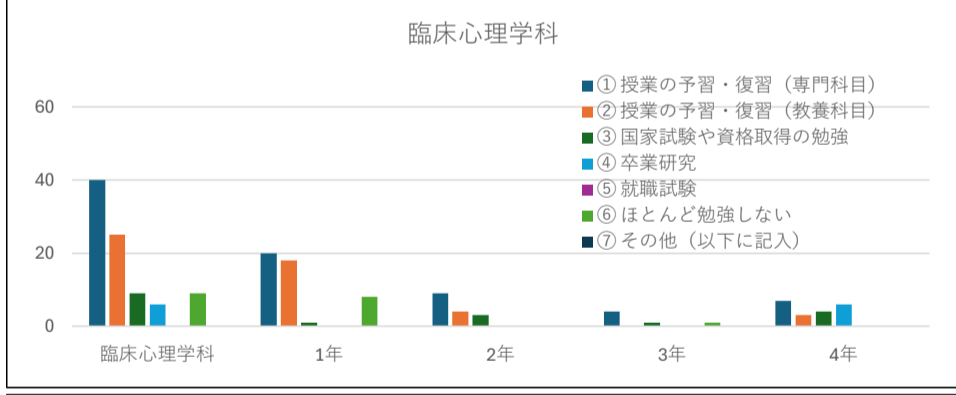
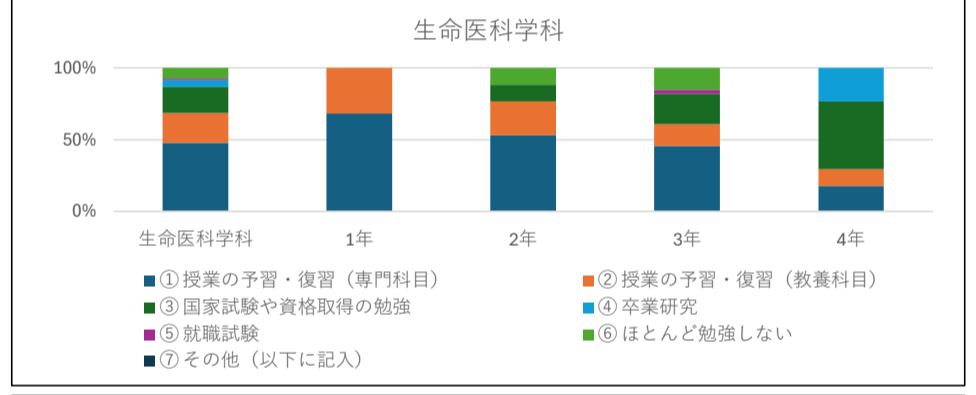
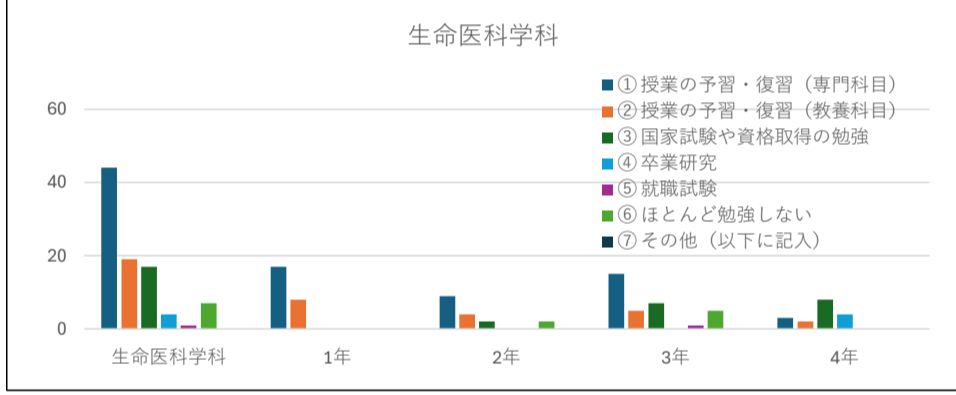
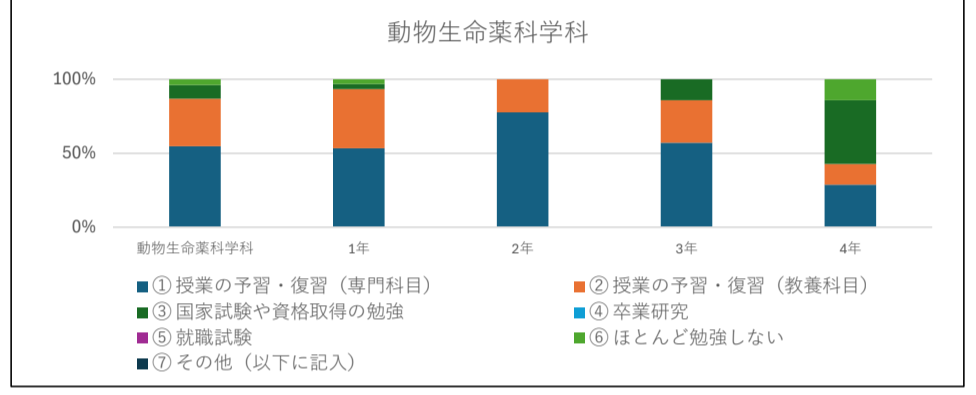
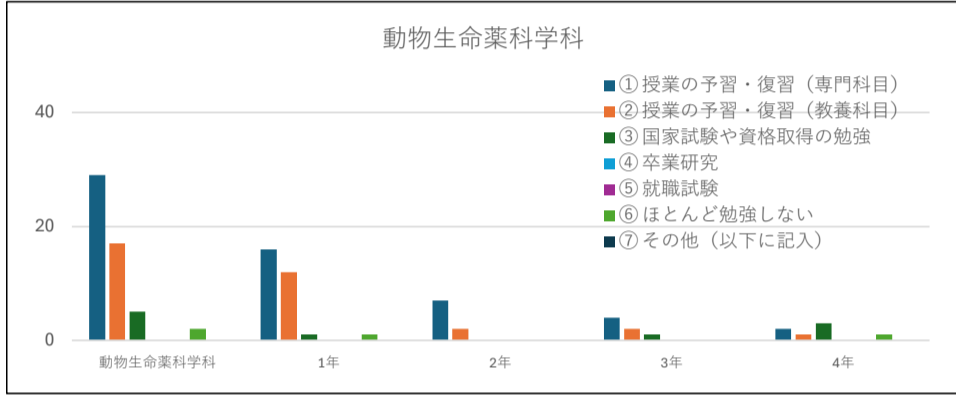
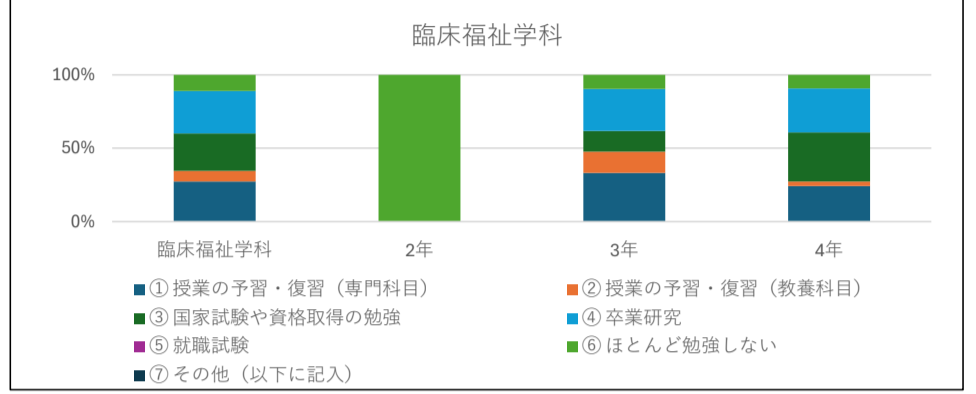
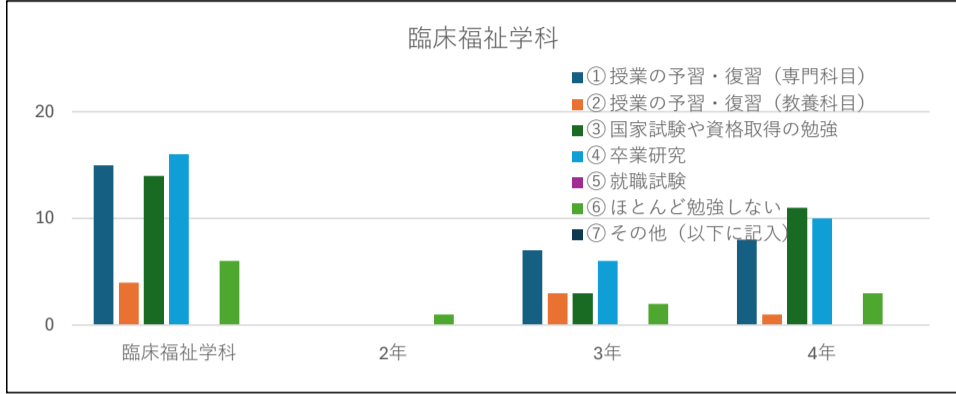
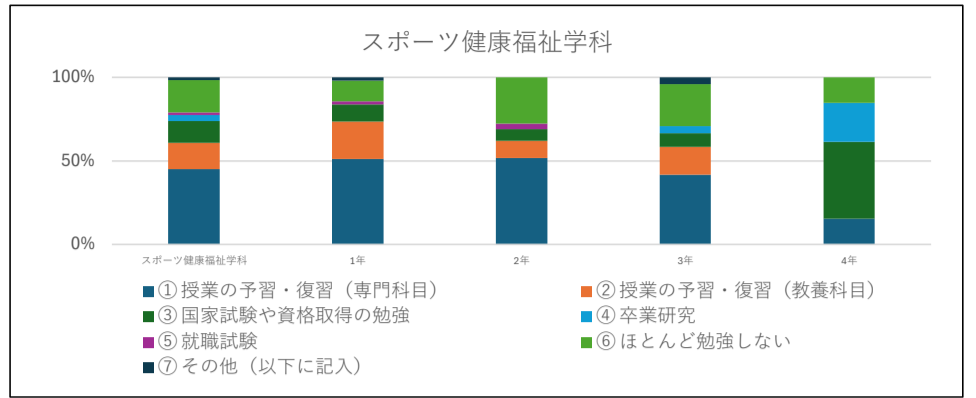
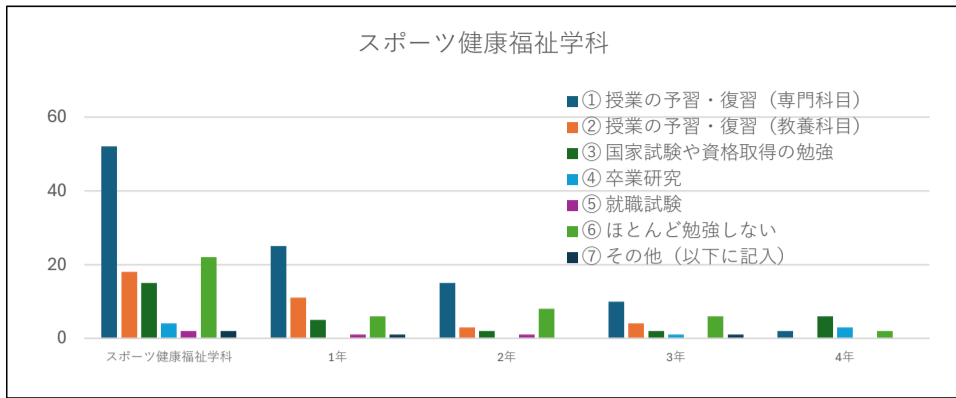
設問1-3. 授業のある日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	52	18	15	4	2	22	2
1年	25	11	5	0	1	6	1
2年	15	3	2	0	1	8	0
3年	10	4	2	1	0	6	1
4年	2	0	6	3	0	2	0
臨床福祉学科	15	4	14	16	0	6	0
2年	0	0	0	0	0	1	0
3年	7	3	3	6	0	2	0
4年	8	1	11	10	0	3	0
動物生命薬科学科	29	17	5	0	0	2	0
1年	16	12	1	0	0	1	0
2年	7	2	0	0	0	0	0
3年	4	2	1	0	0	0	0
4年	2	1	3	0	0	1	0
生命医科学科	44	19	17	4	1	7	0
1年	17	8	0	0	0	0	0
2年	9	4	2	0	0	2	0
3年	15	5	7	0	1	5	0
4年	3	2	8	4	0	0	0
臨床心理学科	40	25	9	6	0	9	0
1年	20	18	1	0	0	8	0
2年	9	4	3	0	0	0	0
3年	4	0	1	0	0	1	0
4年	7	3	4	6	0	0	0
薬学科	142	73	60	6	0	12	3
1年	42	28	1	0	0	3	2
2年	25	13	0	0	0	2	0
3年	29	17	2	0	0	2	0
4年	22	7	14	0	0	2	1
5年	13	4	19	5	0	3	0
6年	11	4	24	1	0	0	0
大学全体	322	156	120	36	3	58	5
薬学科以外	180	83	60	30	3	46	2
1年	78	49	7	0	1	15	1
2年	40	13	7	0	1	11	0
3年	40	14	14	7	1	14	1
4年	22	7	32	23	0	6	0

【授業のある日の学修内容（回答者6名）】  
主に各種資格試験に向けた勉強や試験対策、CBT対策に取り組んでいる。

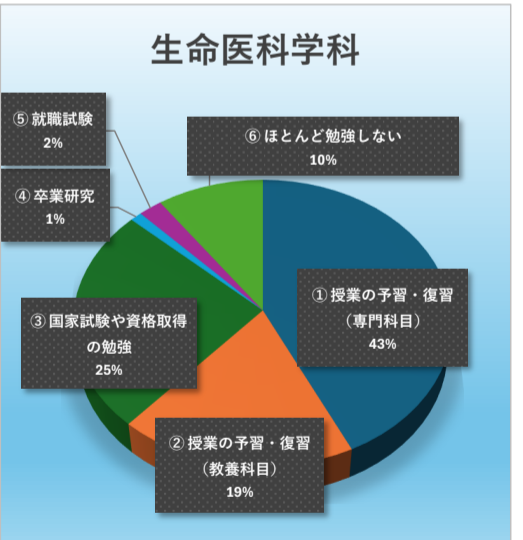
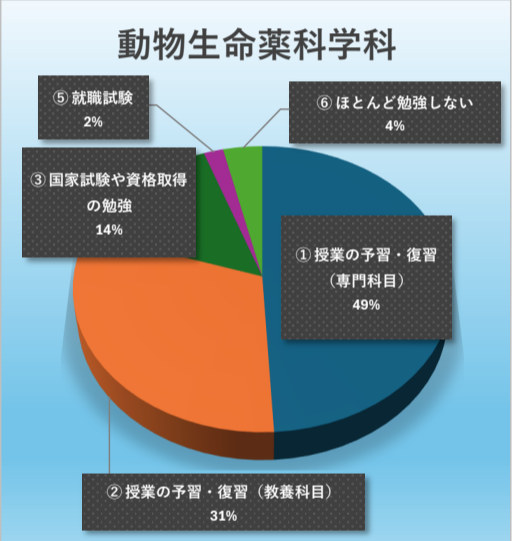
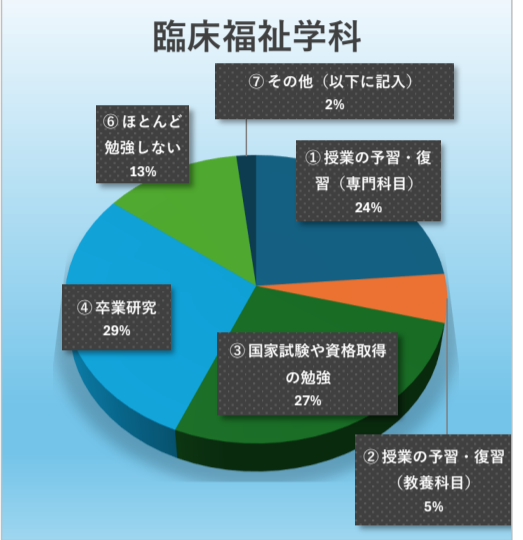
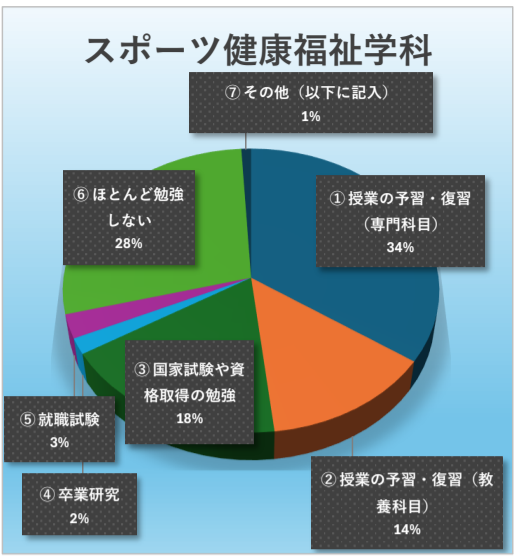


設問1-3. 授業のある日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

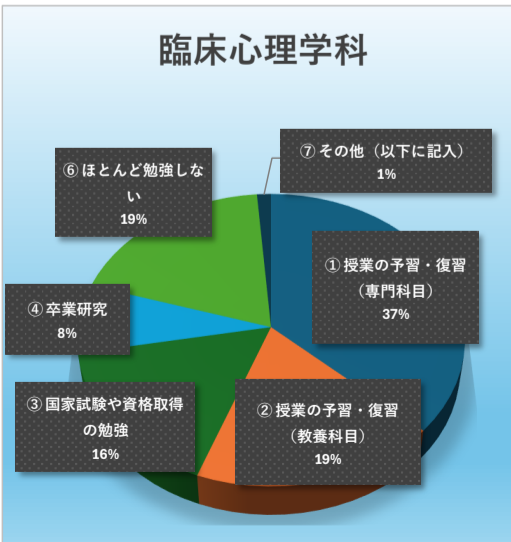
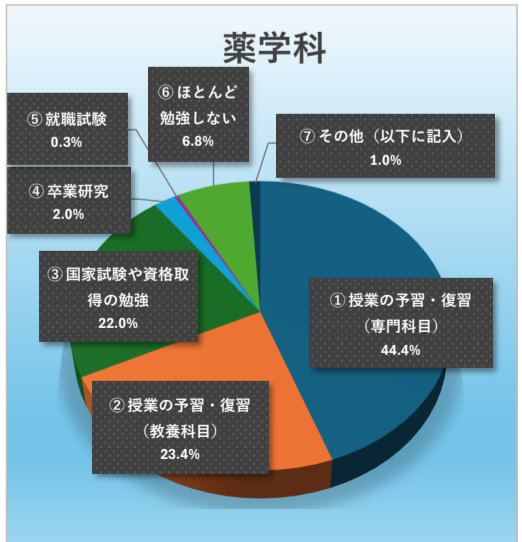
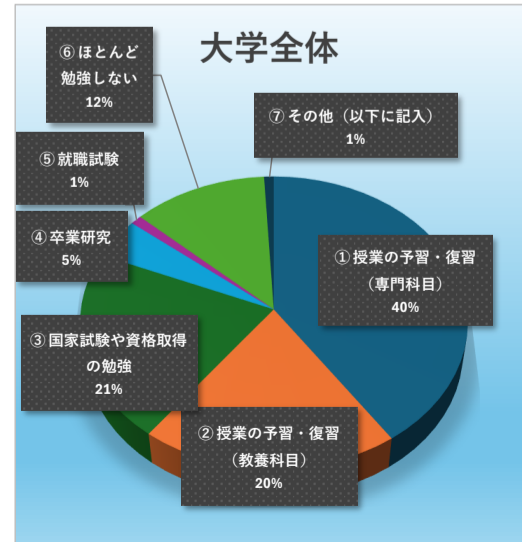


設問1-4. 授業のない日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

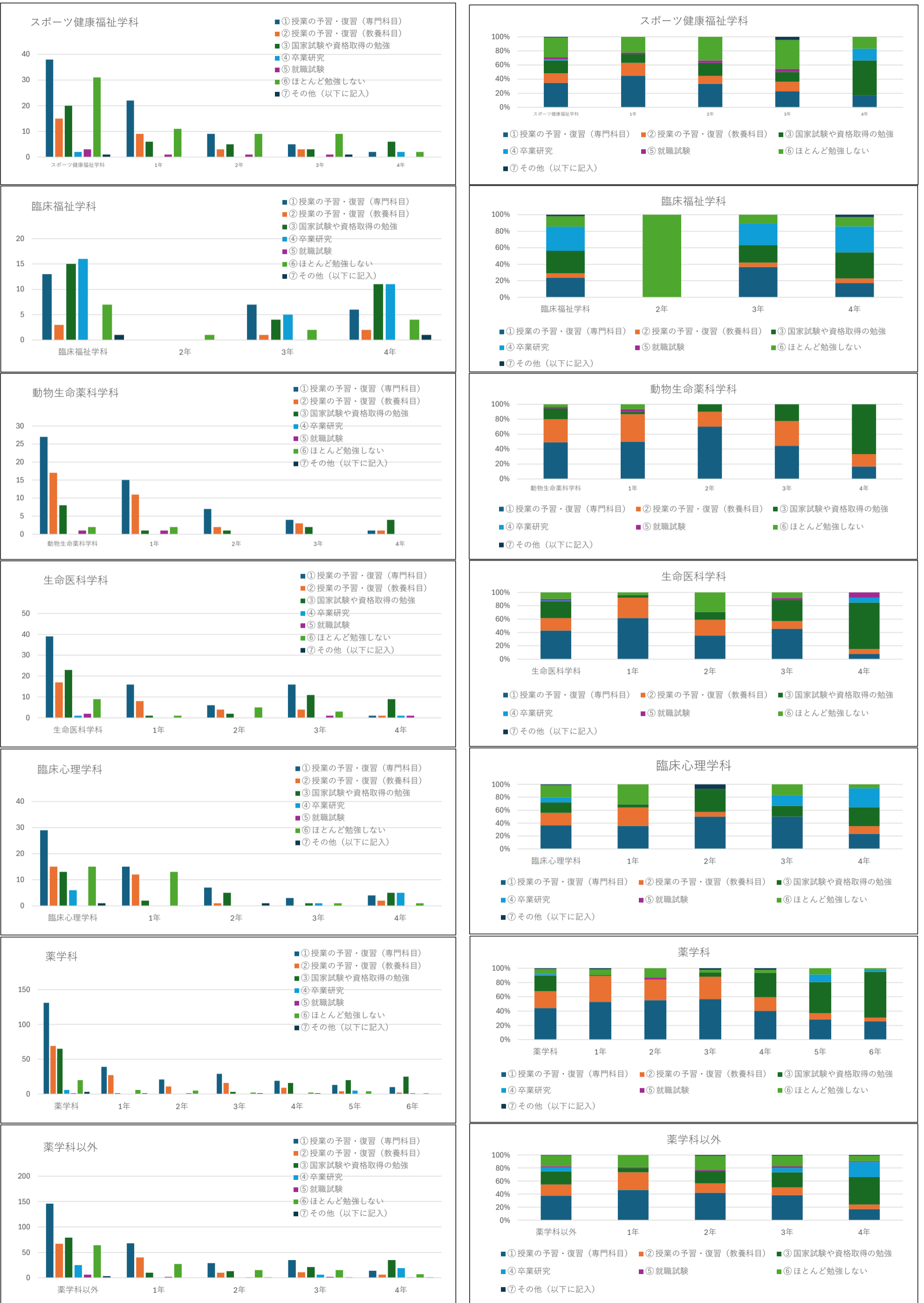
行ラベル	① 授業の予習・復習（専門科目）	② 授業の予習・復習（教養科目）	③ 国家試験や資格取得の勉強	④ 卒業研究	⑤ 就職試験	⑥ ほとんど勉強しない	⑦ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	38	15	20	2	3	31	1
1年	22	9	6	0	1	11	0
2年	9	3	5	0	1	9	0
3年	5	3	3	0	1	9	1
4年	2	0	6	2	0	2	0
臨床福祉学科	13	3	15	16	0	7	1
2年	0	0	0	0	0	1	0
3年	7	1	4	5	0	2	0
4年	6	2	11	11	0	4	1
動物生命薬科学科	27	17	8	0	1	2	0
1年	15	11	1	0	1	2	0
2年	7	2	1	0	0	0	0
3年	4	3	2	0	0	0	0
4年	1	1	4	0	0	0	0
生命医科学科	39	17	23	1	2	9	0
1年	16	8	1	0	0	1	0
2年	6	4	2	0	0	5	0
3年	16	4	11	0	1	3	0
4年	1	1	9	1	1	0	0
臨床心理学科	29	15	13	6	0	15	1
1年	15	12	2	0	0	13	0
2年	7	1	5	0	0	0	1
3年	3	0	1	1	0	1	0
4年	4	2	5	5	0	1	0
薬学科	131	69	65	6	1	20	3
1年	39	27	1	0	0	6	1
2年	21	11	0	0	1	5	0
3年	29	16	3	0	0	2	1
4年	19	9	16	0	0	2	1
5年	13	4	20	5	0	4	0
6年	10	2	25	1	0	1	0
大学全体	277	136	144	31	7	84	6
薬学科以外	146	67	79	25	6	64	3
1年	68	40	10	0	2	27	0
2年	29	10	13	0	1	15	1
3年	35	11	21	6	2	15	1
4年	14	6	35	19	1	7	1



【授業のない日の学修内容（回答者7名）】  
主に各種資格試験に向けた学修や試験対策、また、課題やレポート作成、CBT対策を行っている。



設問1-4. 授業のない日は、どんな内容の学修をしていますか？（複数回答）

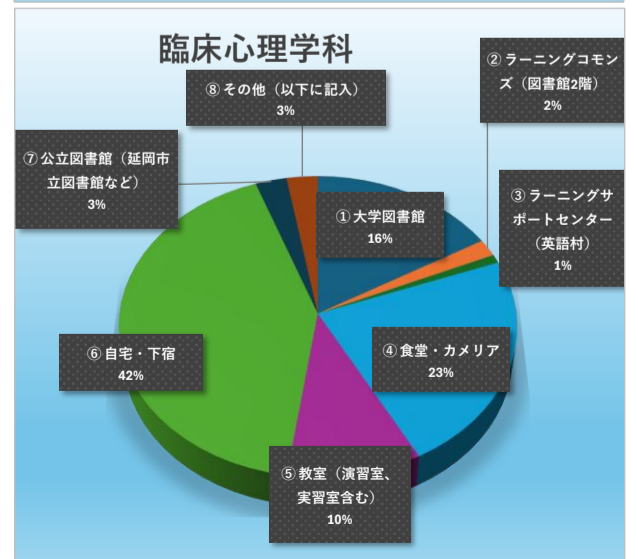
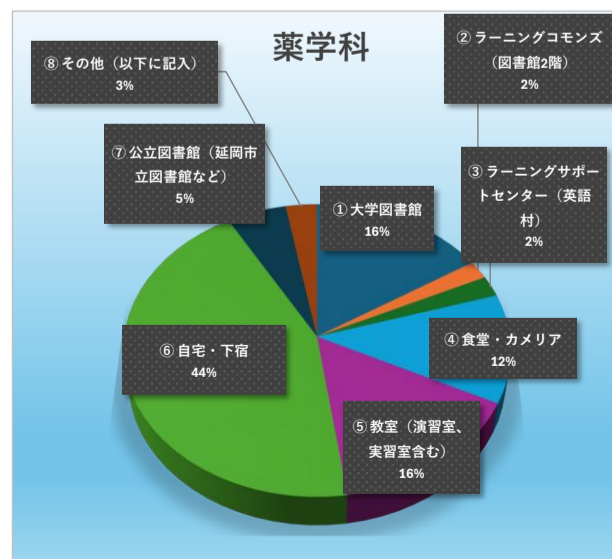
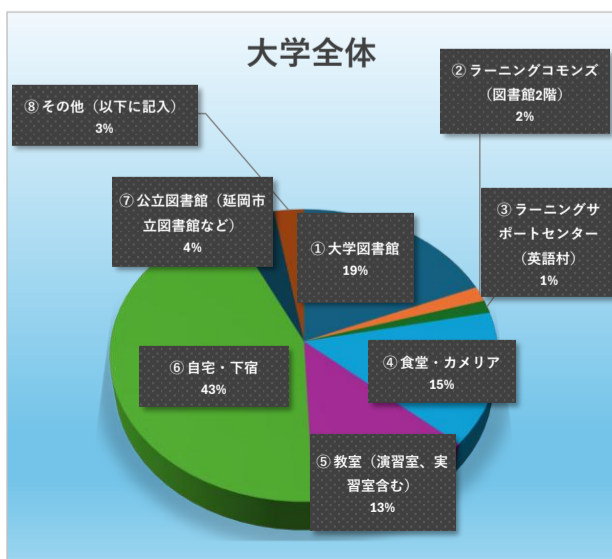
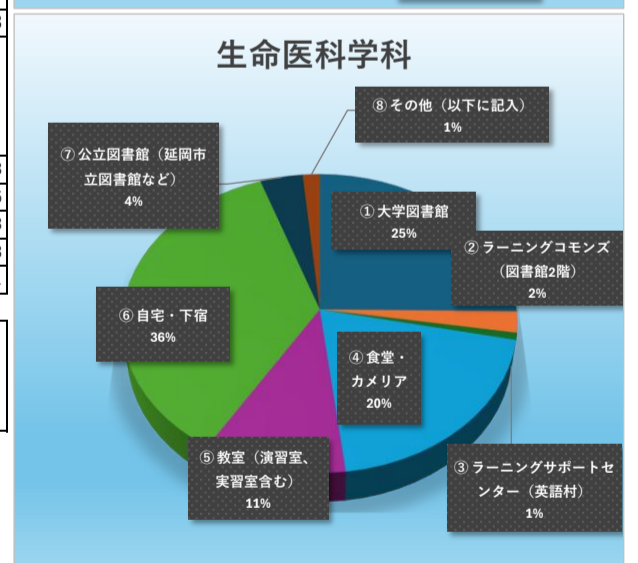
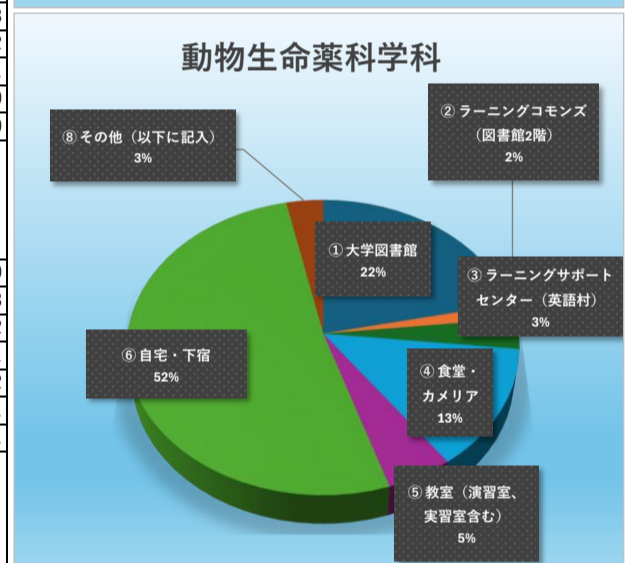
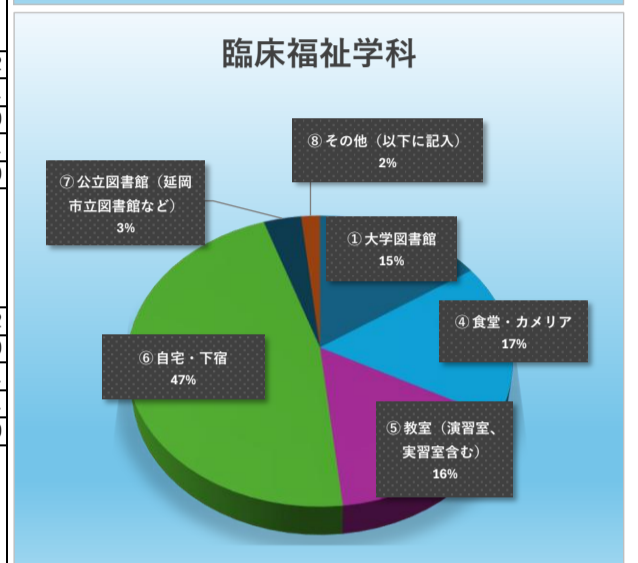
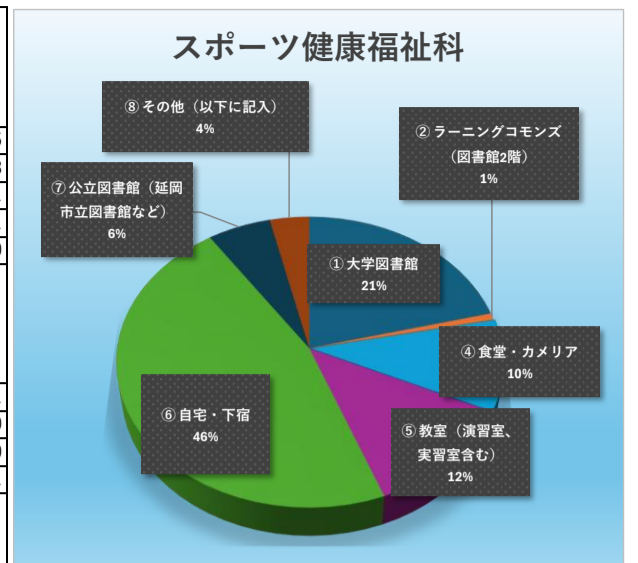


設問1-5. 授業以外の時間は、どこで学修していますか？（複数回答）

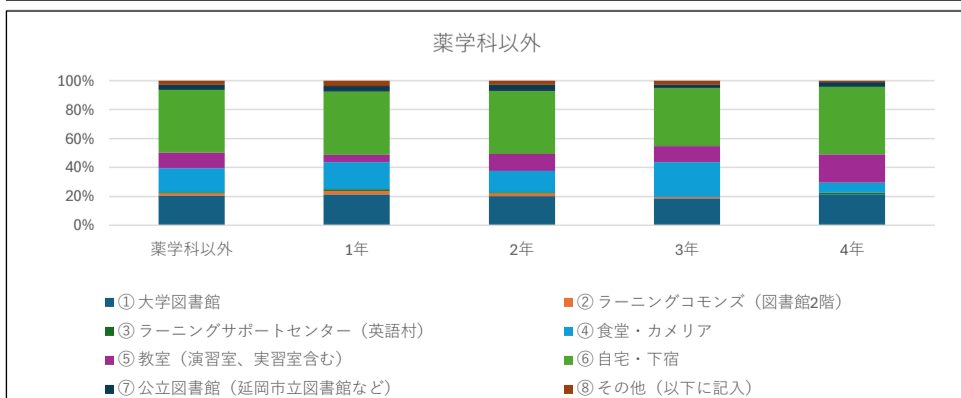
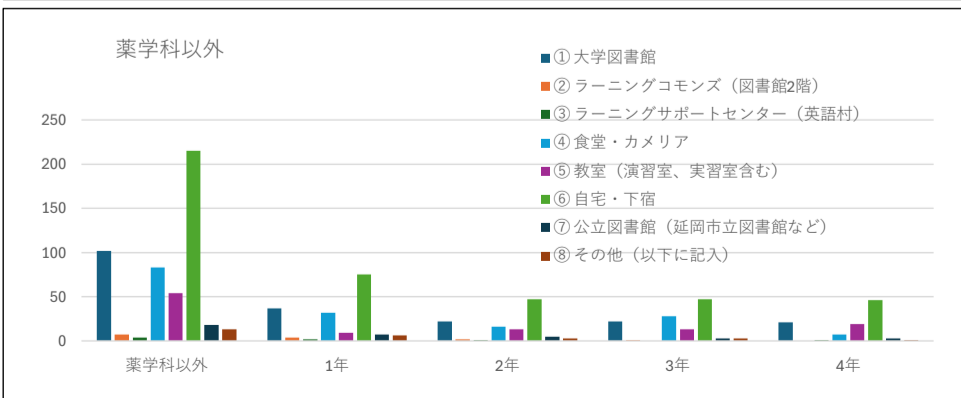
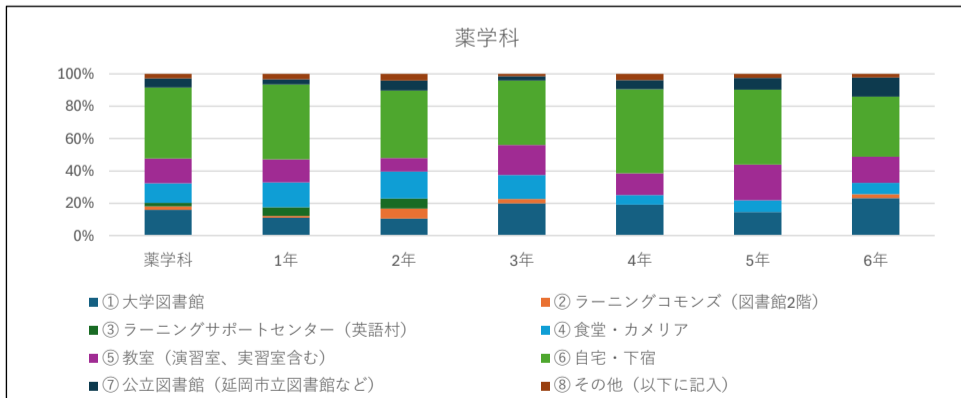
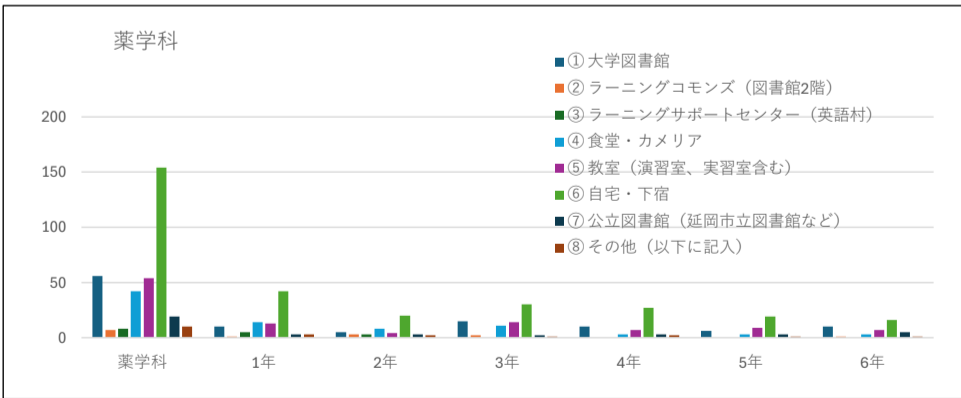
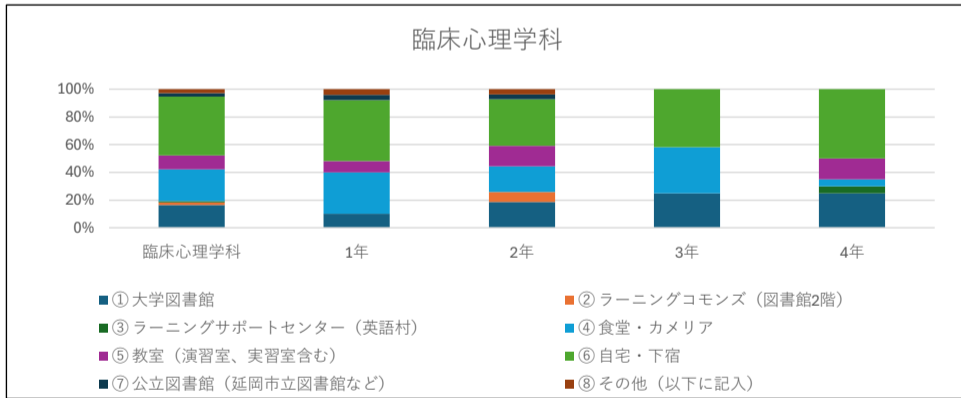
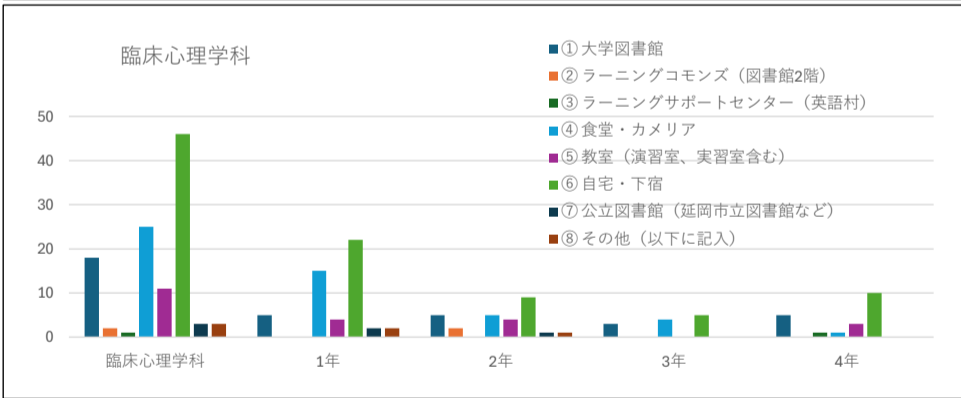
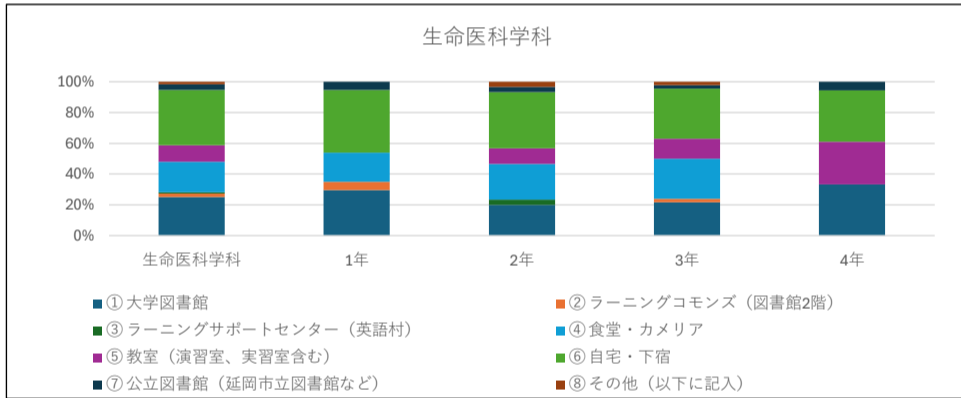
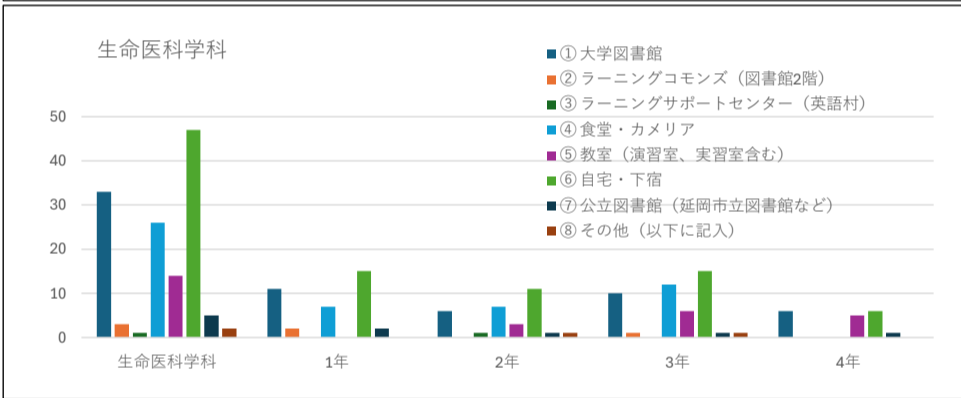
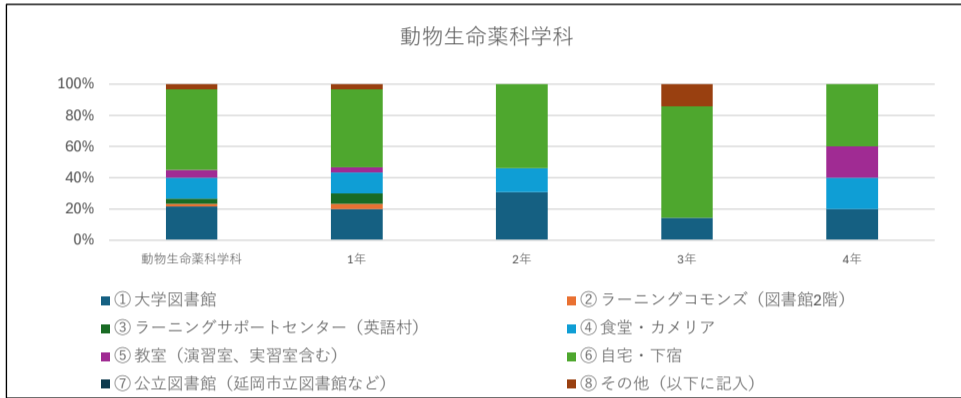
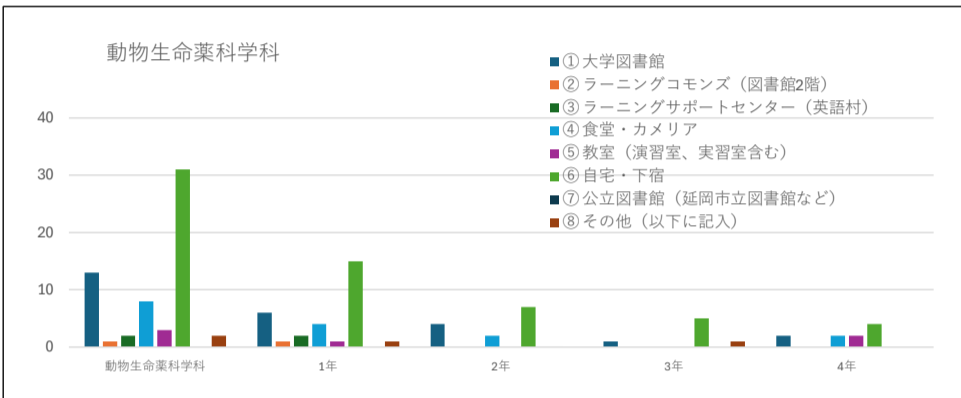
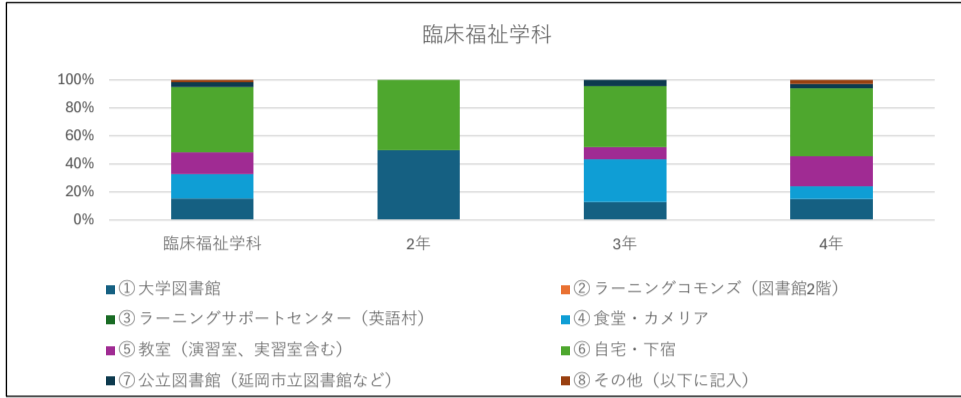
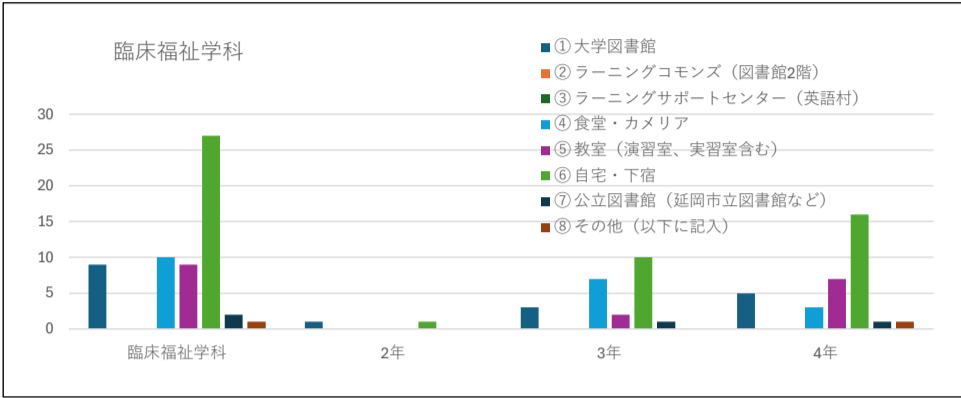
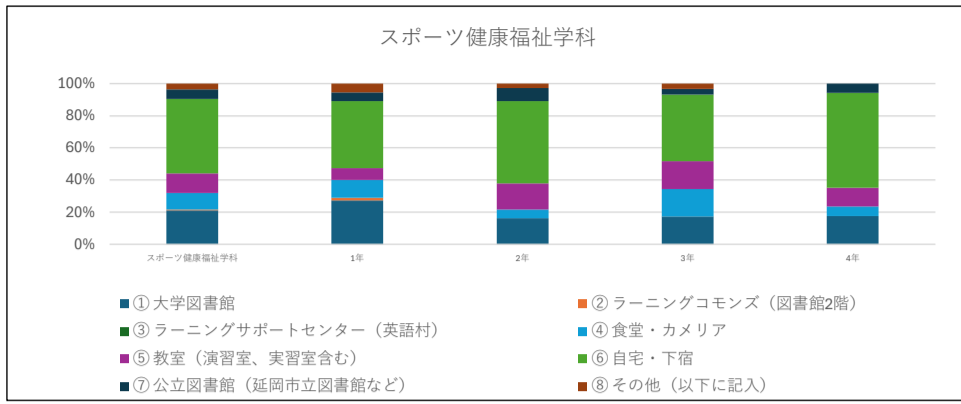
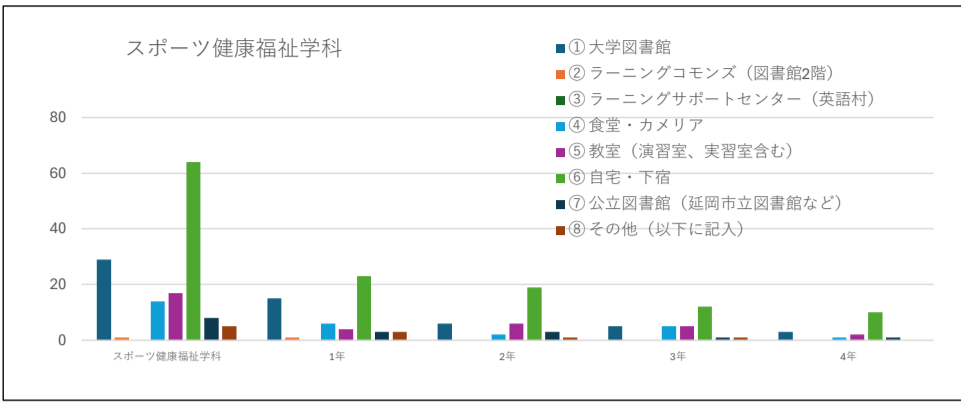
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニングコモンズ (図書館2階)	③ ラーニングサポートセンター (英語村)	④ 食堂・カメラア	⑤ 教室 (演習室、実習室含む)	⑥ 自宅・下宿	⑦ 公立図書館 (延岡市立図書館など)	⑧ その他 (以下に記入)
スポーツ健康福祉学科	29	1	0	14	17	64	8	5
1年	15	1	0	6	4	23	3	3
2年	6	0	0	2	6	19	3	1
3年	5	0	0	5	5	12	1	1
4年	3	0	0	1	2	10	1	0
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニングコモンズ (図書館2階)	③ ラーニングサポートセンター (英語村)	④ 食堂・カメラア	⑤ 教室 (演習室、実習室含む)	⑥ 自宅・下宿	⑦ 公立図書館 (延岡市立図書館など)	⑧ その他 (以下に記入)
臨床福祉学科	9	0	0	10	9	27	2	1
2年	1	0	0	0	0	1	0	0
3年	3	0	0	7	2	10	1	0
4年	5	0	0	3	7	16	1	1
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニングコモンズ (図書館2階)	③ ラーニングサポートセンター (英語村)	④ 食堂・カメラア	⑤ 教室 (演習室、実習室含む)	⑥ 自宅・下宿	⑦ 公立図書館 (延岡市立図書館など)	⑧ その他 (以下に記入)
動物生命薬科学科	13	1	2	8	3	31	0	2
1年	6	1	2	4	1	15	0	1
2年	4	0	0	2	0	7	0	0
3年	1	0	0	0	0	5	0	1
4年	2	0	0	2	2	4	0	0
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニングコモンズ (図書館2階)	③ ラーニングサポートセンター (英語村)	④ 食堂・カメラア	⑤ 教室 (演習室、実習室含む)	⑥ 自宅・下宿	⑦ 公立図書館 (延岡市立図書館など)	⑧ その他 (以下に記入)
生命医科学科	33	3	1	26	14	47	5	2
1年	11	2	0	7	0	15	2	0
2年	6	0	1	7	3	11	1	1
3年	10	1	0	12	6	15	1	1
4年	6	0	0	0	5	6	1	0
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニングコモンズ (図書館2階)	③ ラーニングサポートセンター (英語村)	④ 食堂・カメラア	⑤ 教室 (演習室、実習室含む)	⑥ 自宅・下宿	⑦ 公立図書館 (延岡市立図書館など)	⑧ その他 (以下に記入)
臨床心理学科	18	2	1	25	11	46	3	3
1年	5	0	0	15	4	22	2	2
2年	5	2	0	5	4	9	1	1
3年	3	0	0	4	0	5	0	0
4年	5	0	1	1	3	10	0	0
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニングコモンズ (図書館2階)	③ ラーニングサポートセンター (英語村)	④ 食堂・カメラア	⑤ 教室 (演習室、実習室含む)	⑥ 自宅・下宿	⑦ 公立図書館 (延岡市立図書館など)	⑧ その他 (以下に記入)
薬学科	56	7	8	42	54	154	19	10
1年	10	1	5	14	13	42	3	3
2年	5	3	3	8	4	20	3	2
3年	15	2	0	11	14	30	2	1
4年	10	0	0	3	7	27	3	2
5年	6	0	0	3	9	19	3	1
6年	10	1	0	3	7	16	5	1
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニングコモンズ (図書館2階)	③ ラーニングサポートセンター (英語村)	④ 食堂・カメラア	⑤ 教室 (演習室、実習室含む)	⑥ 自宅・下宿	⑦ 公立図書館 (延岡市立図書館など)	⑧ その他 (以下に記入)
大学全体	158	14	12	125	108	369	37	23
行ラベル	① 大学図書館	② ラーニングコモンズ (図書館2階)	③ ラーニングサポートセンター (英語村)	④ 食堂・カメラア	⑤ 教室 (演習室、実習室含む)	⑥ 自宅・下宿	⑦ 公立図書館 (延岡市立図書館など)	⑧ その他 (以下に記入)
薬学科以外	102	7	4	83	54	215	18	13
1年	37	4	2	32	9	75	7	6
2年	22	2	1	16	13	47	5	3
3年	22	1	0	28	13	47	3	3
4年	21	0	1	7	19	46	3	1

【授業以外の学習場所】回答者22名

主に大学内（研究室・ラウンジエリア）やカフェ・飲食店などのほか、電車・バスなどの通学中や駅の学習スペースや友人宅などで学修に取り組んでいる。



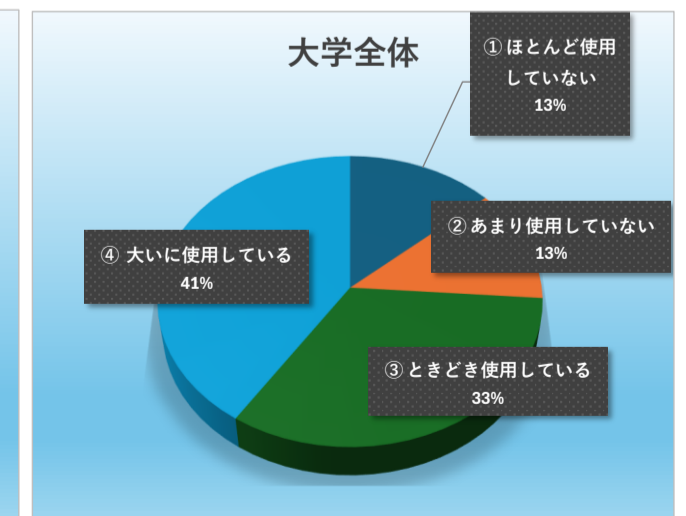
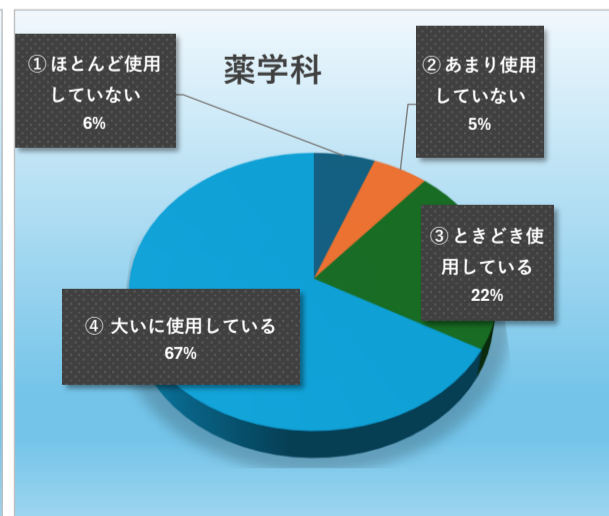
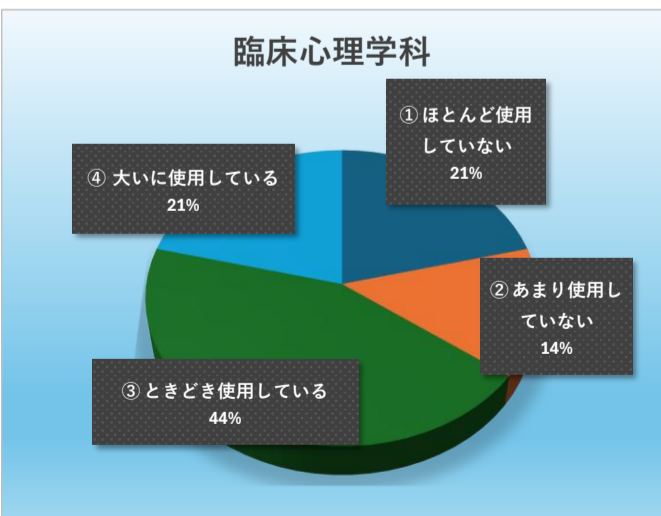
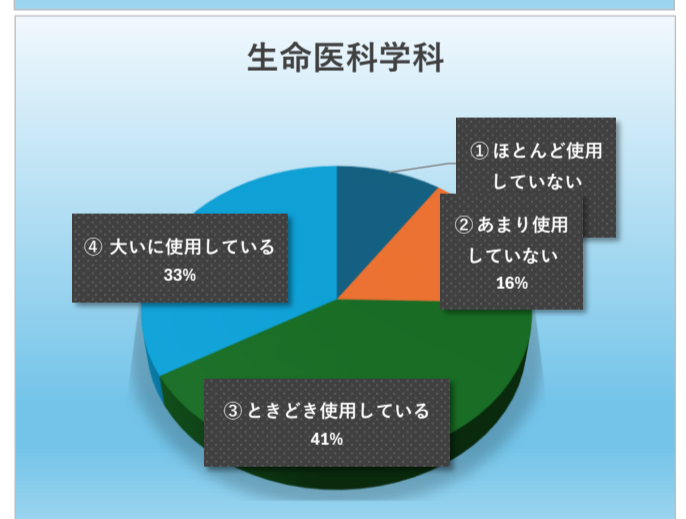
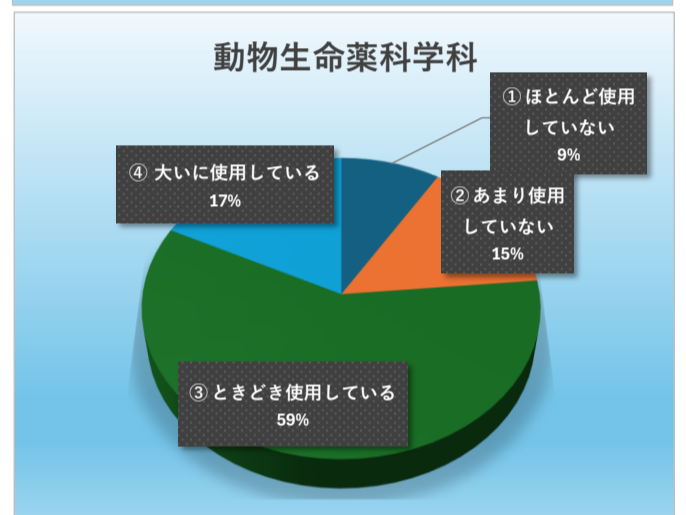
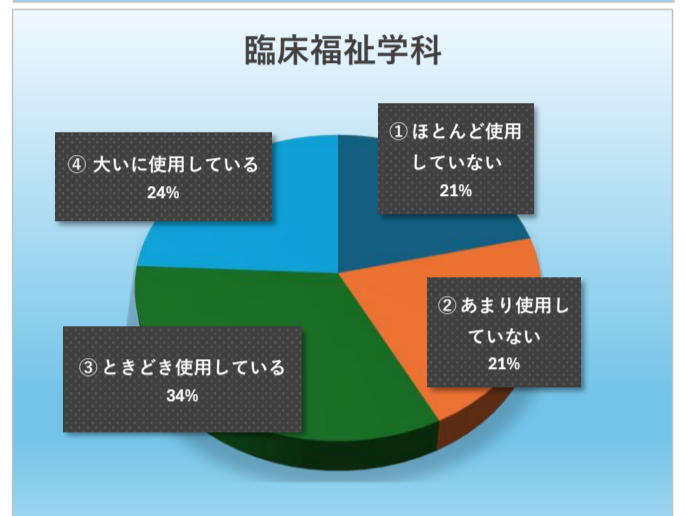
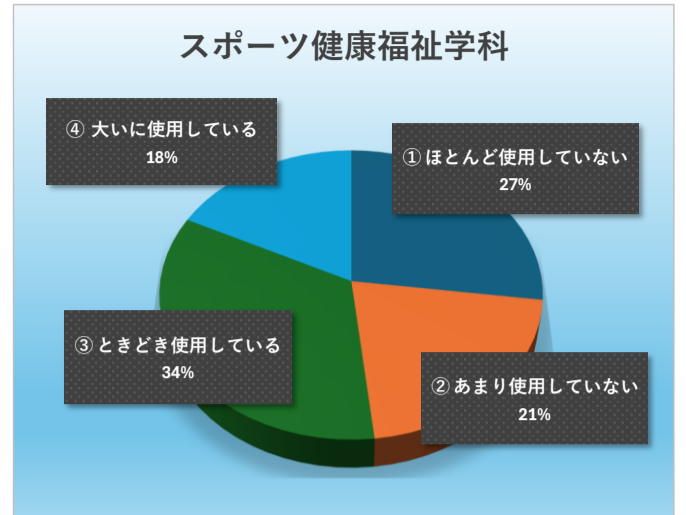
設問1-5. 授業以外の時間は、どこで学修していますか？（複数回答）



設問1-6. デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使って学修していますか？

行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
スポーツ健康福祉学科	23	18	29	15
1年	11	6	10	7
2年	7	7	6	4
3年	4	3	8	2
4年	1	2	5	2
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
臨床福祉学科	7	7	11	8
2年	0	0	1	0
3年	3	2	3	4
4年	4	5	7	4
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
動物生命薬科学科	3	5	20	6
1年	0	3	11	4
2年	1	2	4	0
3年	1	0	2	2
4年	1	0	3	0
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
生命医科学科	6	10	26	21
1年	2	2	10	3
2年	1	4	5	4
3年	2	4	4	12
4年	1	0	7	2
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
臨床心理学科	12	8	25	12
1年	8	4	14	4
2年	3	2	4	2
3年	1	2	1	1
4年	0	0	6	5
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
薬学科	11	10	41	125
1年	3	6	18	21
2年	1	1	3	21
3年	2	1	5	25
4年	2	0	4	24
5年	1	2	3	17
6年	2	0	8	17
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
大学全体	62	58	152	187
行ラベル	① ほとんど使用していない	② あまり使用していない	③ ときどき使用している	④ 大いに使用している
薬学科以外	51	48	111	62
1年	21	15	45	18
2年	12	15	20	10
3年	11	11	18	21
4年	7	7	28	13

【デジタルツールを使った学修】 回答者16名  
 主に学修にはスマートフォン・パソコン・iPad・タブレットなど複数のデバイスが活用されており、特にスマートフォンとパソコンの利用が多い。  
 また、YouTubeによる解説動画の視聴やChatGPTの活用など、デジタルツールを併用した学修が行われている。



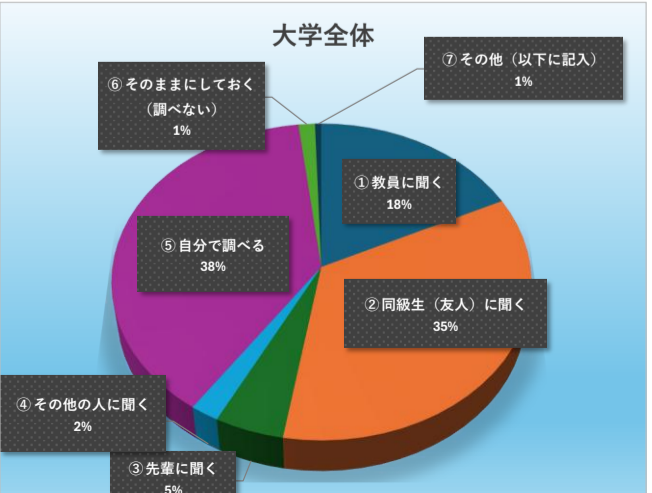
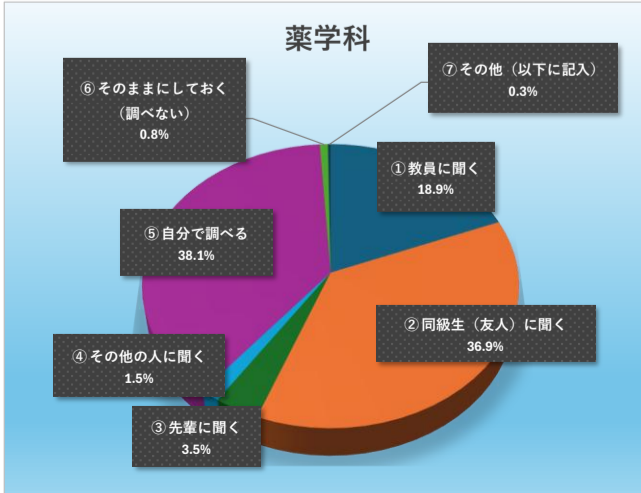
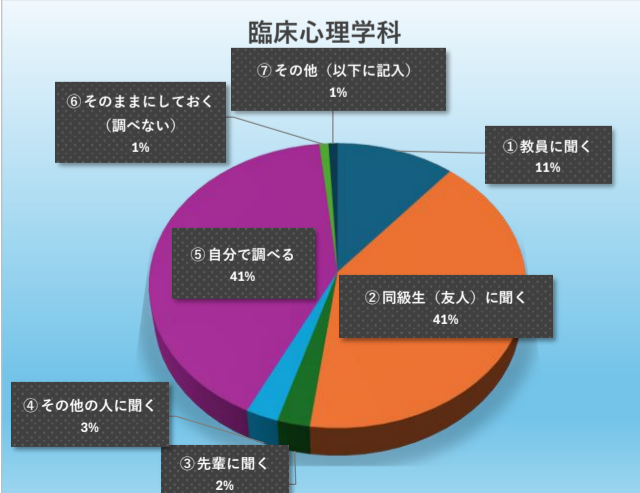
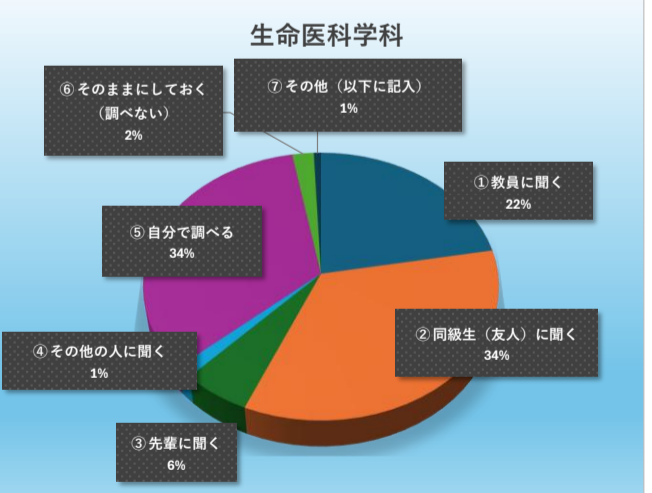
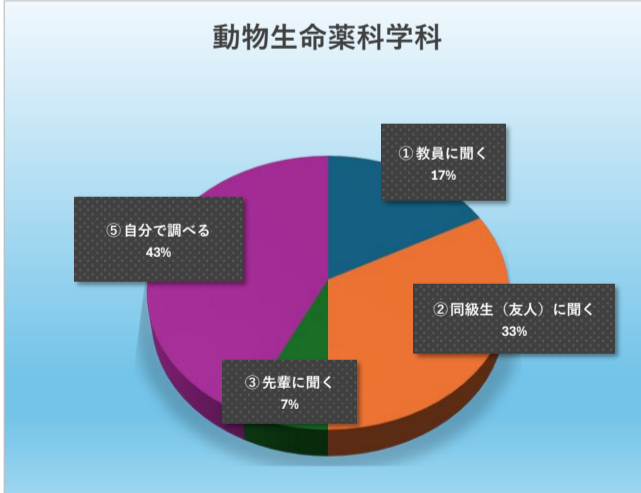
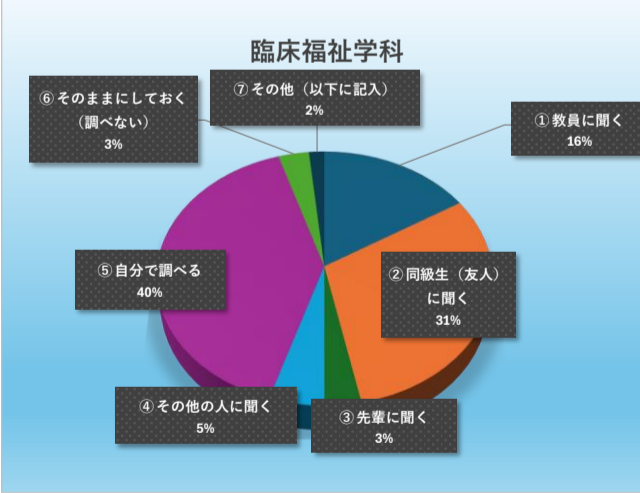
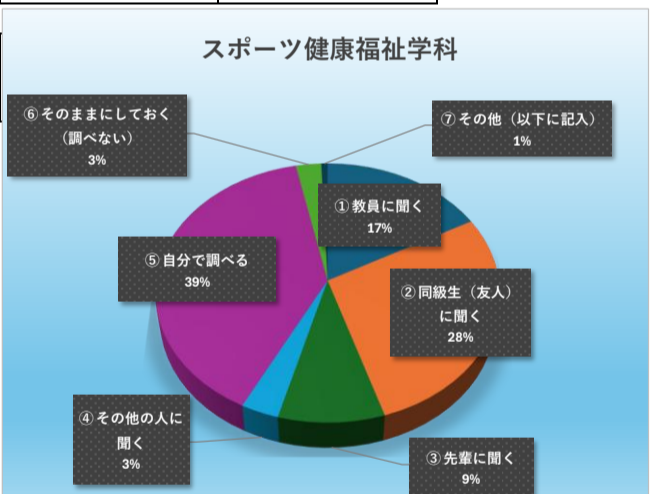
設問1-6. デジタルツール（パソコン・スマホ・タブレット等）を使って学修していますか？



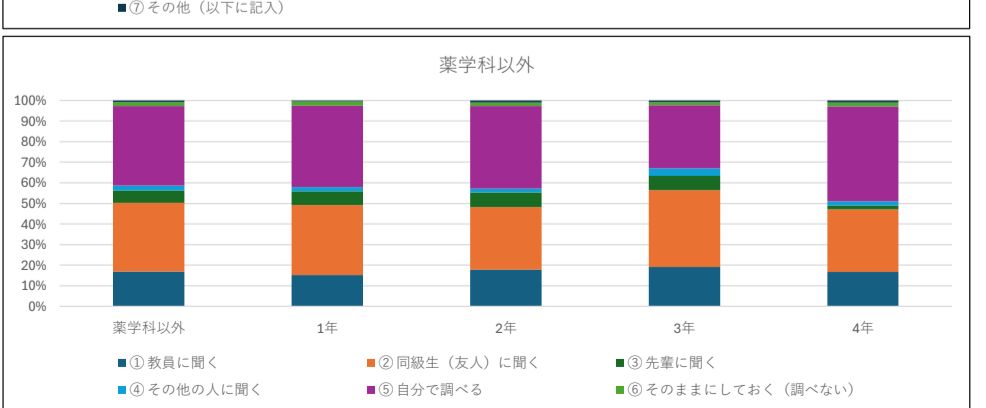
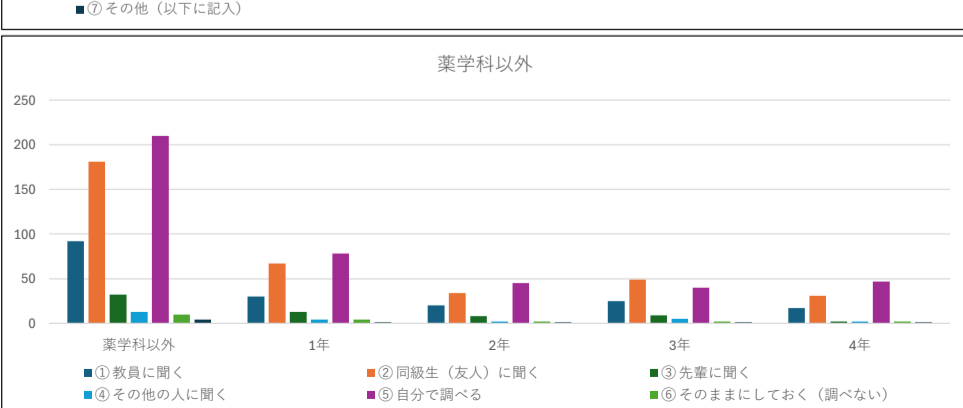
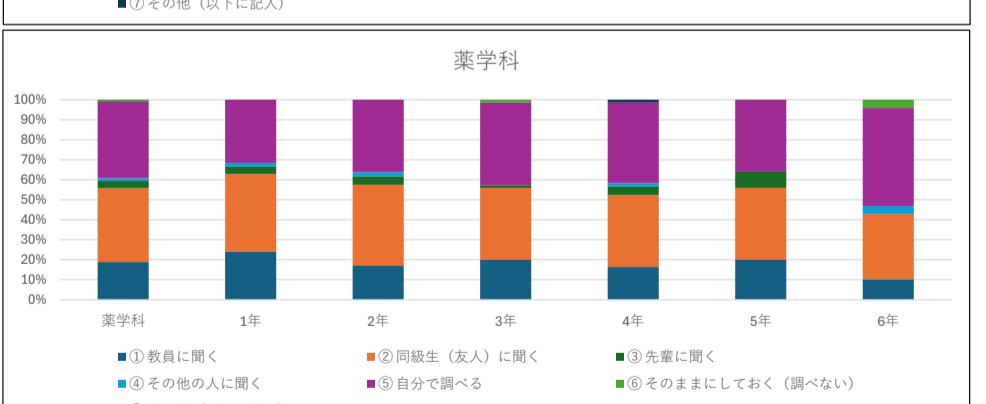
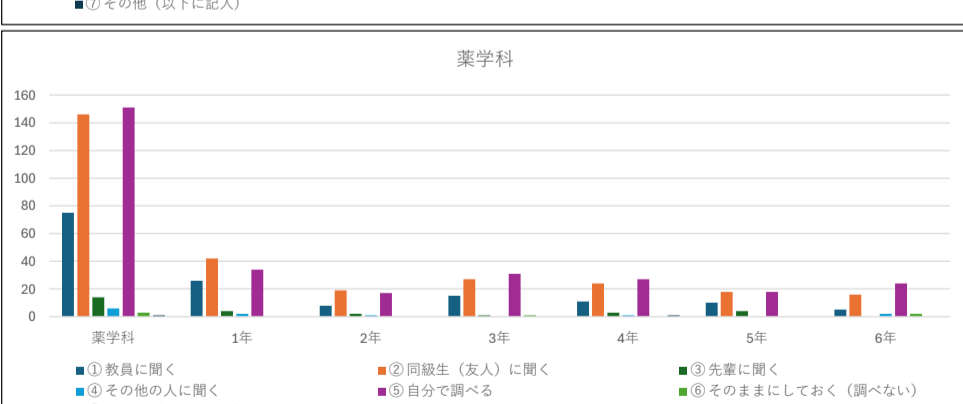
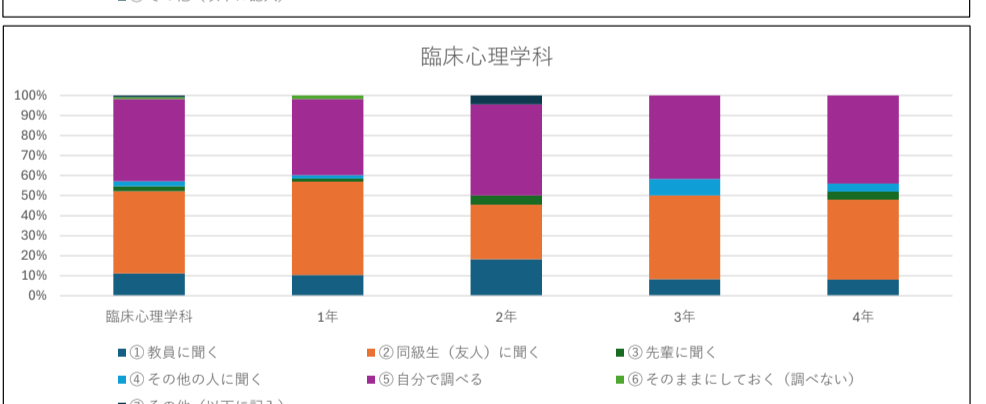
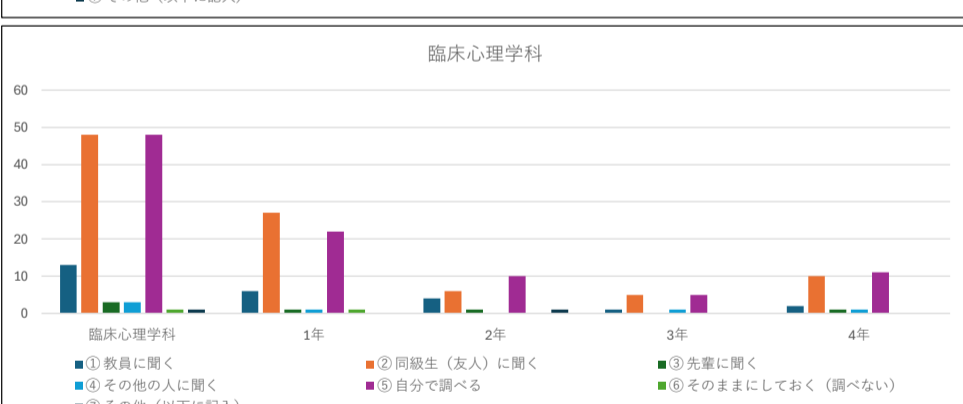
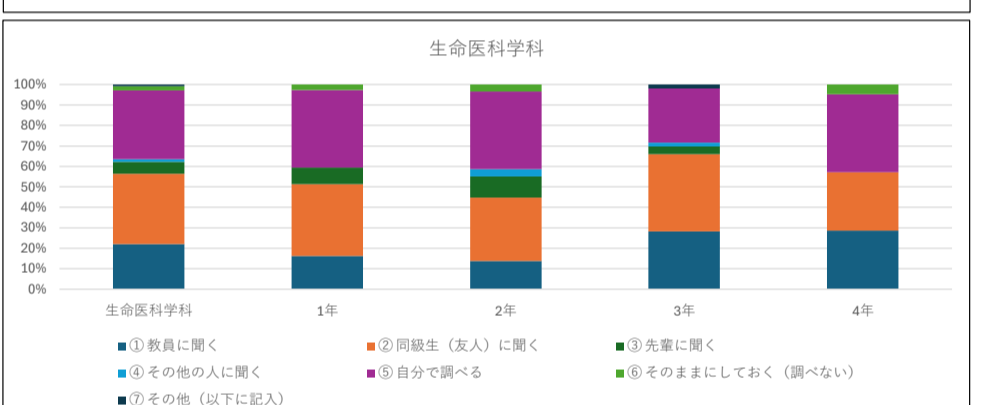
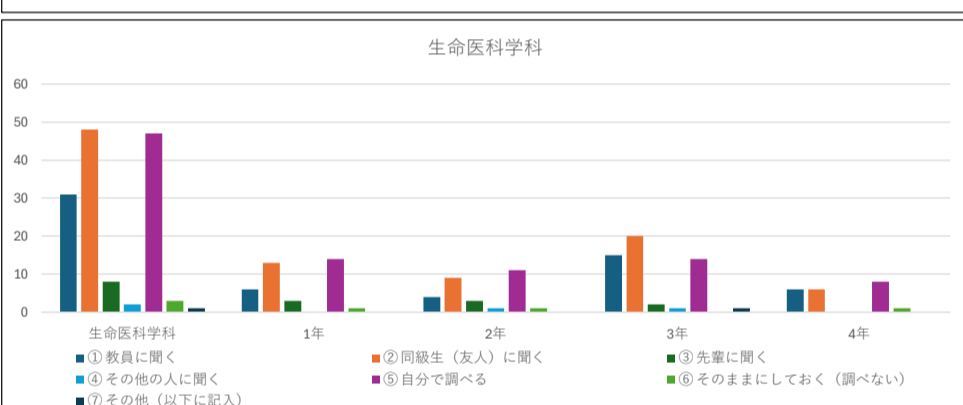
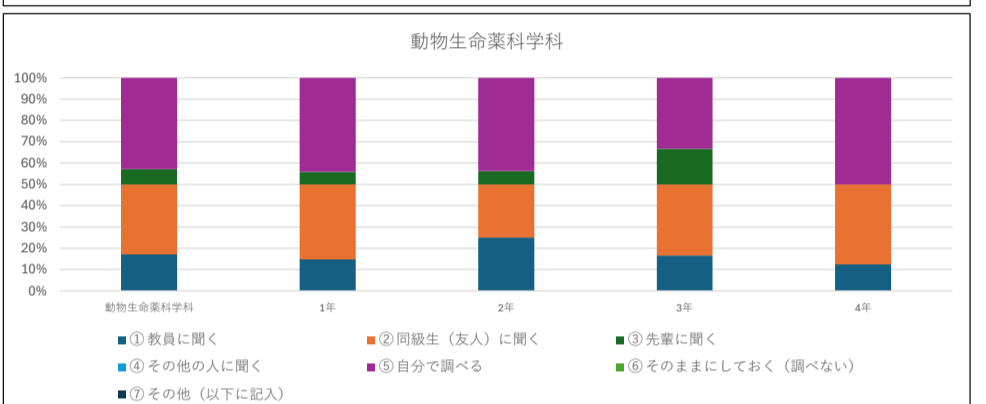
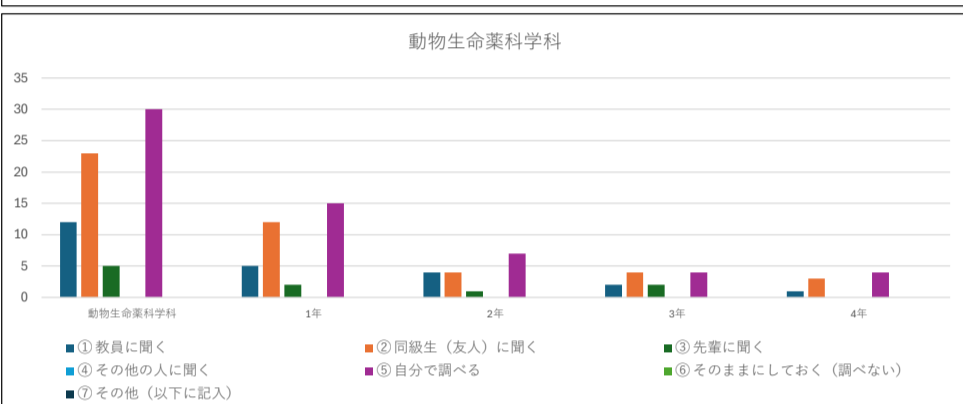
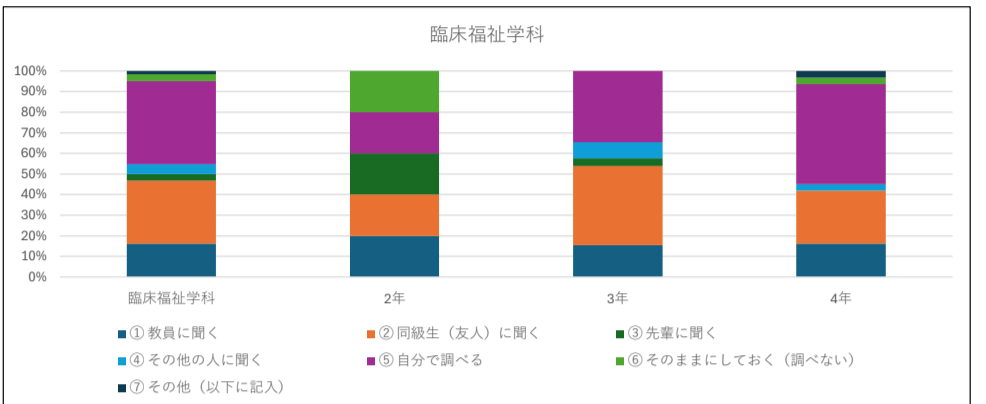
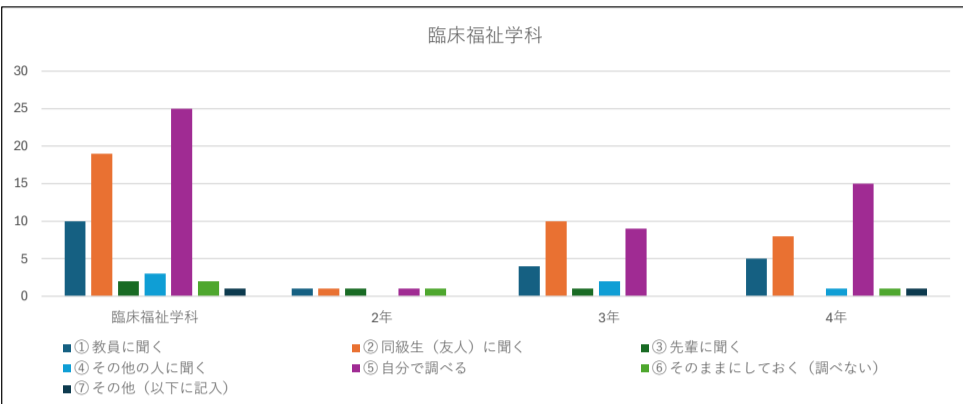
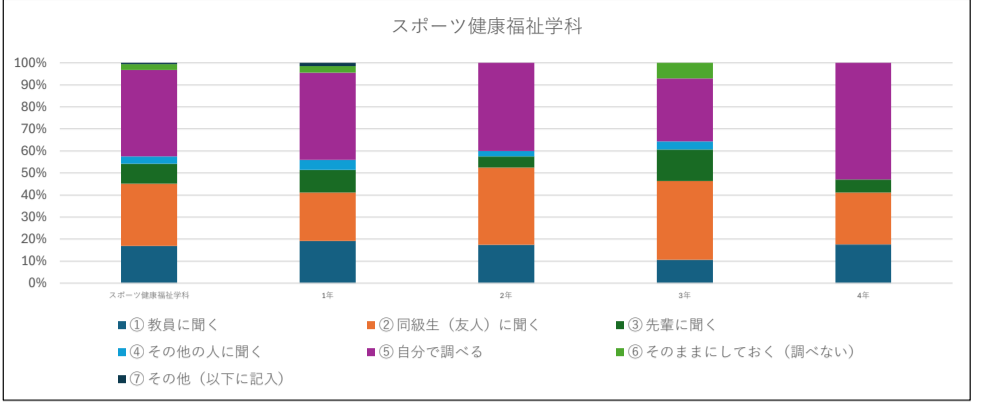
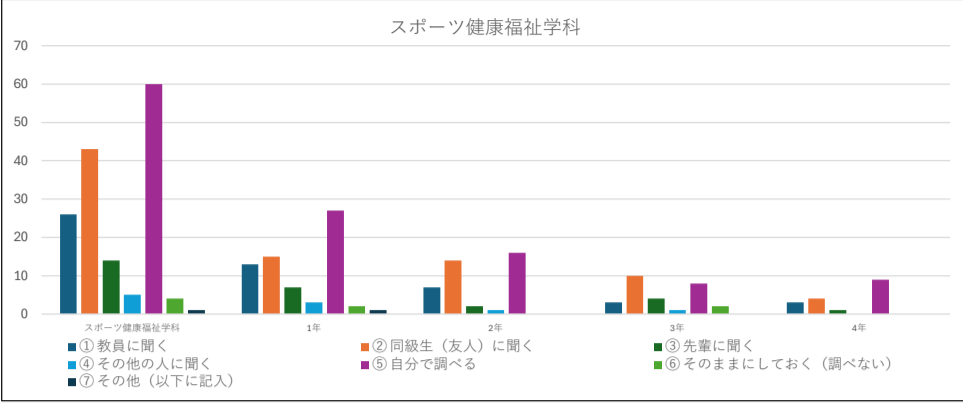
設問1-7. 授業以外の時間に学修しているとき、分からない内容があったらどのように解決していますか？（複数回答）

行ラベル	① 教員に聞く	② 同級生（友人）に聞く	③ 先輩に聞く	④ その他の人に聞く	⑤ 自分で調べる	⑥ そのままにしておく（調べない）	⑦ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	26	43	14	5	60	4	1
1年	13	15	7	3	27	2	1
2年	7	14	2	1	16	0	0
3年	3	10	4	1	8	2	0
4年	3	4	1	0	9	0	0
臨床福祉学科	10	19	2	3	25	2	1
2年	1	1	1	0	1	1	0
3年	4	10	1	2	9	0	0
4年	5	8	0	1	15	1	1
動物生命薬科学科	12	23	5	0	30	0	0
1年	5	12	2	0	15	0	0
2年	4	4	1	0	7	0	0
3年	2	4	2	0	4	0	0
4年	1	3	0	0	4	0	0
生命医科学科	31	48	8	2	47	3	1
1年	6	13	3	0	14	1	0
2年	4	9	3	1	11	1	0
3年	15	20	2	1	14	0	1
4年	6	6	0	0	8	1	0
臨床心理学科	13	48	3	3	48	1	1
1年	6	27	1	1	22	1	0
2年	4	6	1	0	10	0	1
3年	1	5	0	1	5	0	0
4年	2	10	1	1	11	0	0
薬学科	75	146	14	6	151	3	1
1年	26	42	4	2	34	0	0
2年	8	19	2	1	17	0	0
3年	15	27	1	0	31	1	0
4年	11	24	3	1	27	0	1
5年	10	18	4	0	18	0	0
6年	5	16	0	2	24	2	0
大学全体	167	327	46	19	361	13	5
薬学科以外	92	181	32	13	210	10	4
1年	30	67	13	4	78	4	1
2年	20	34	8	2	45	2	1
3年	25	49	9	5	40	2	1
4年	17	31	2	2	47	2	1

【授業以外の学修中に分からない内容の対処法（複数回答）】回答者5名  
 主に教科書や参考書の活用に加え、実際に働いている社会福祉士や家族へ相談、またAIを活用するなどして理解を深めている。

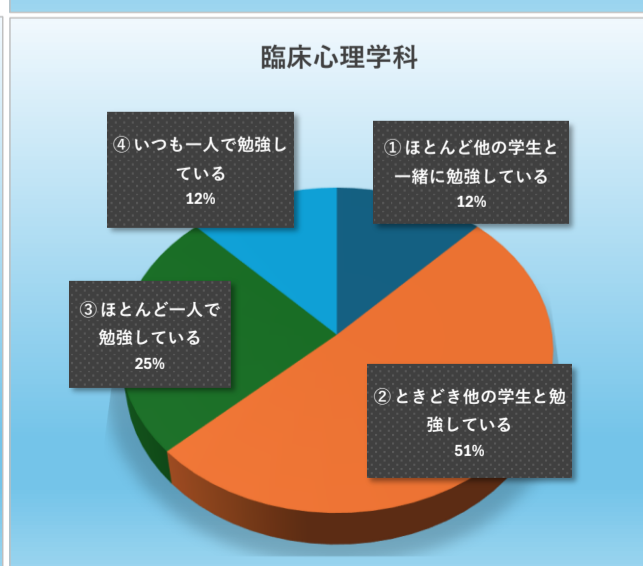
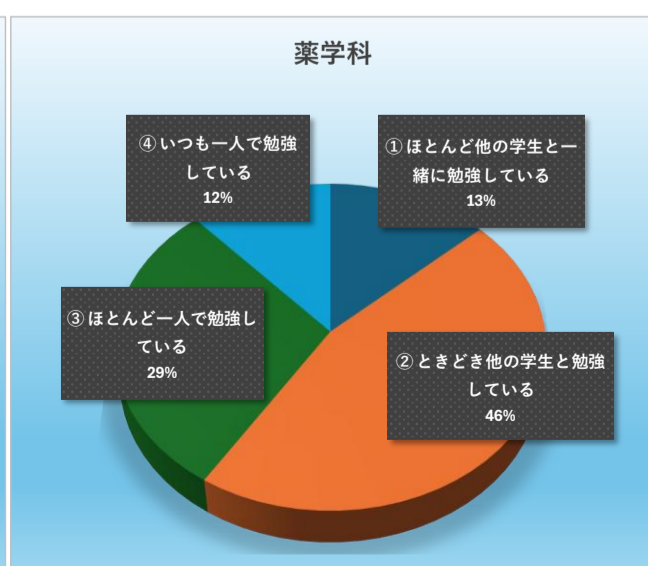
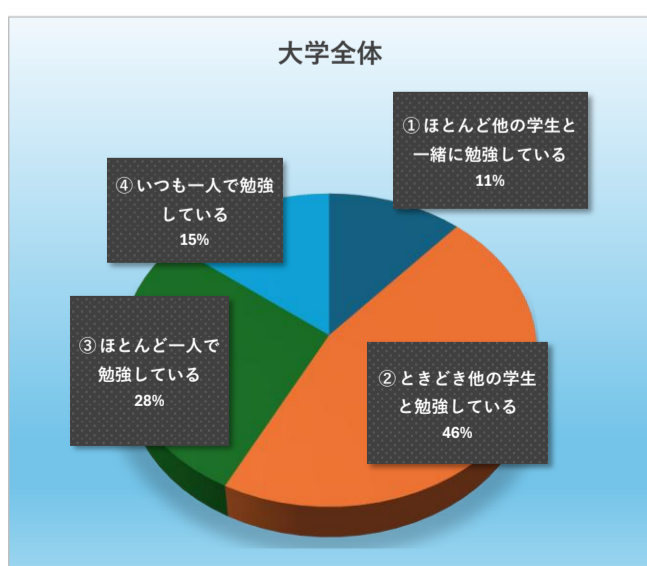
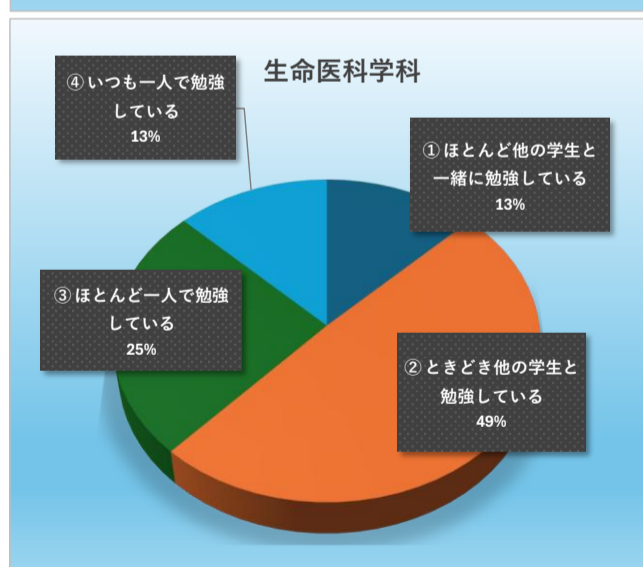
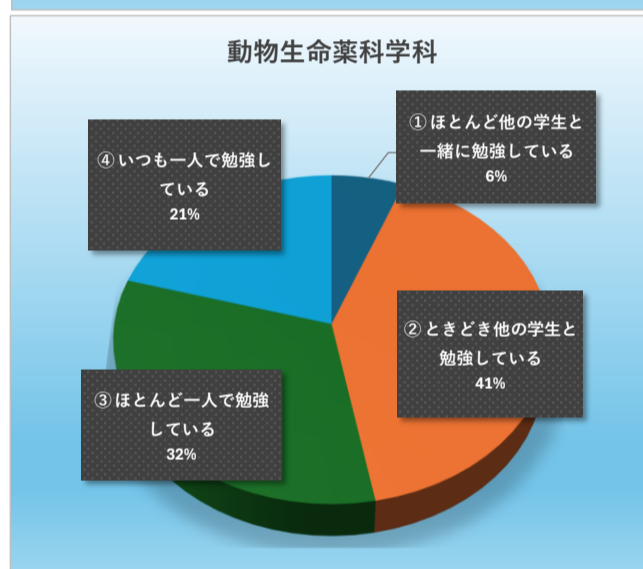
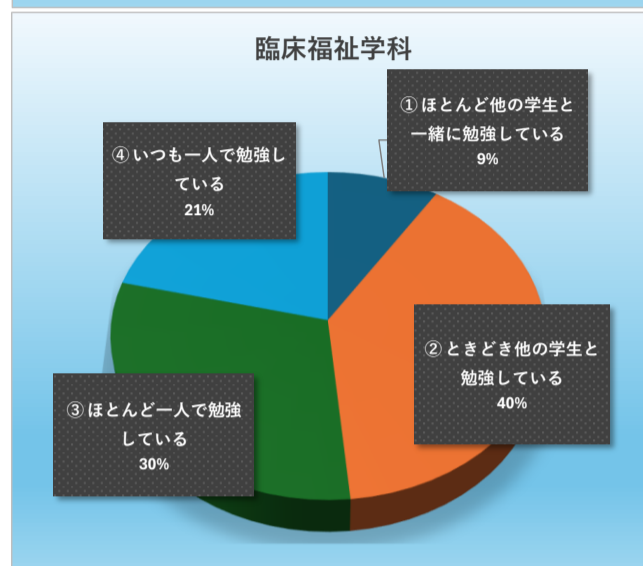
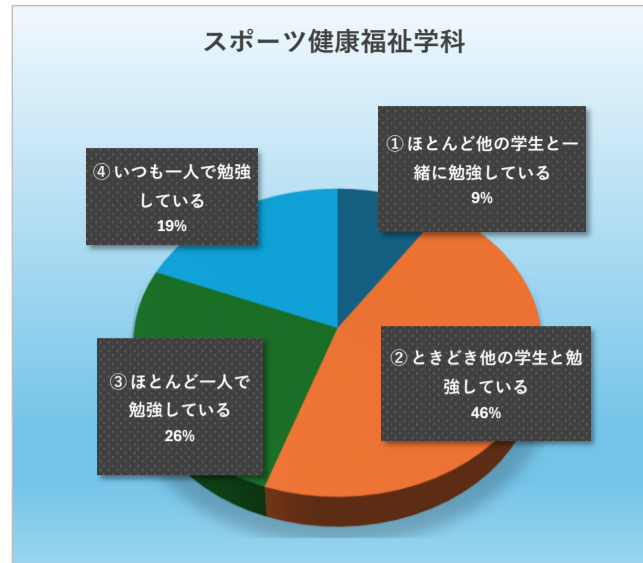


設問1-7. 授業以外の時間に学修しているとき、分からない内容があったらどのように解決していますか？（複数回答）

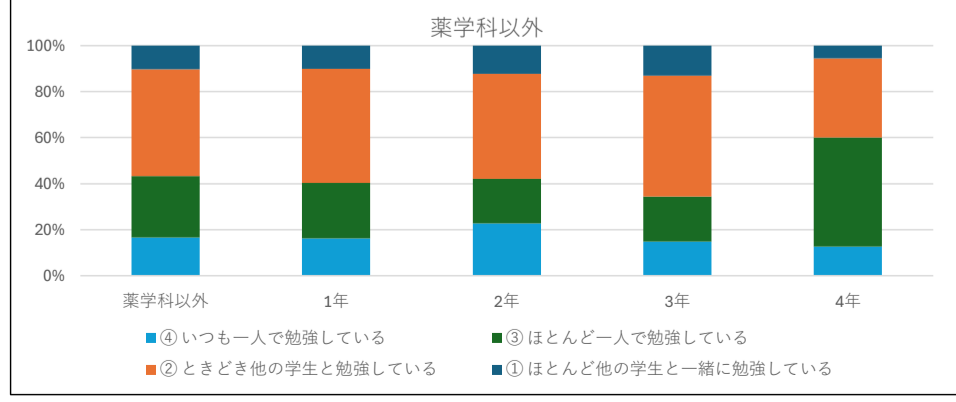
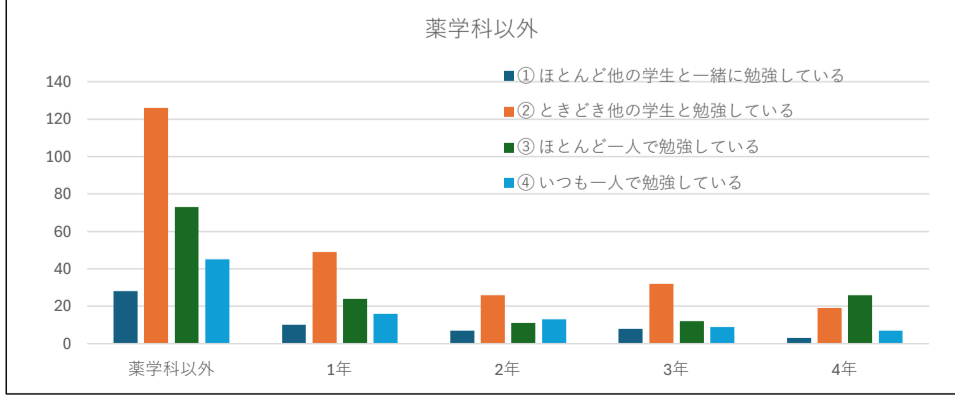
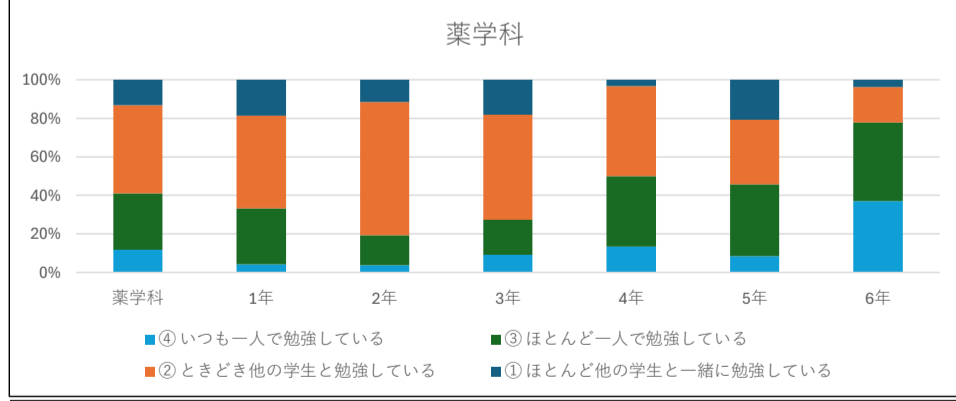
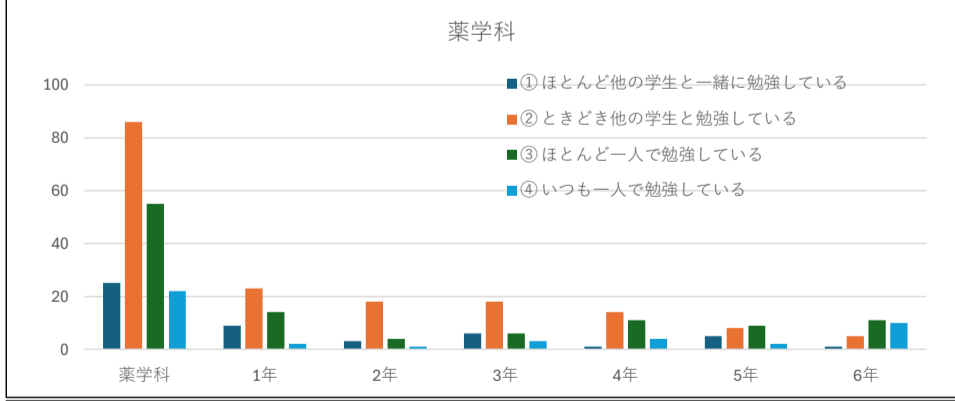
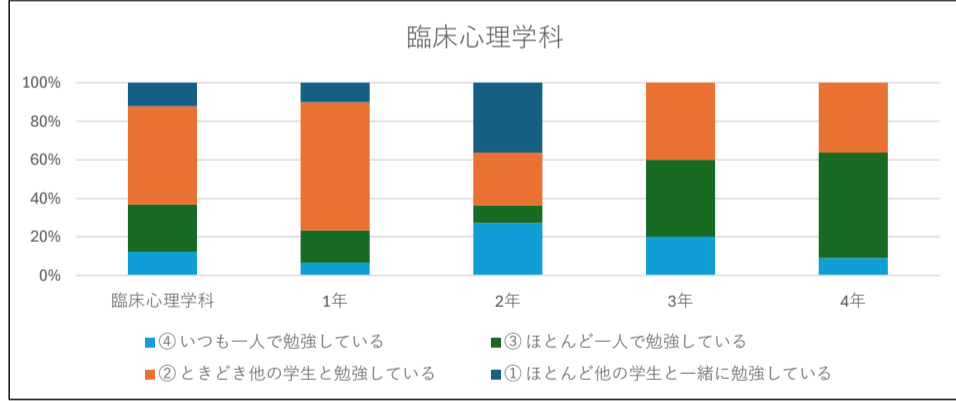
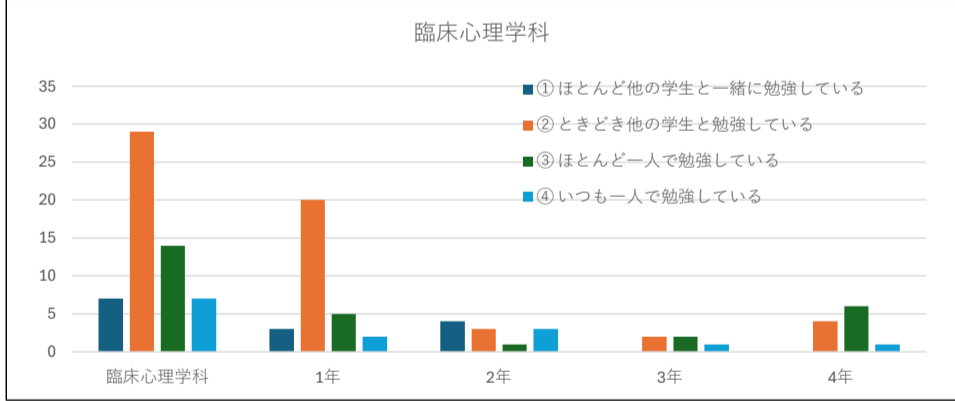
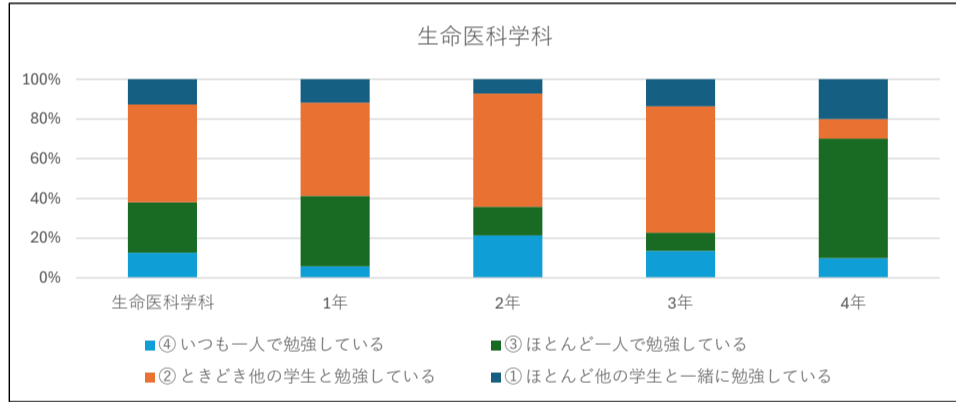
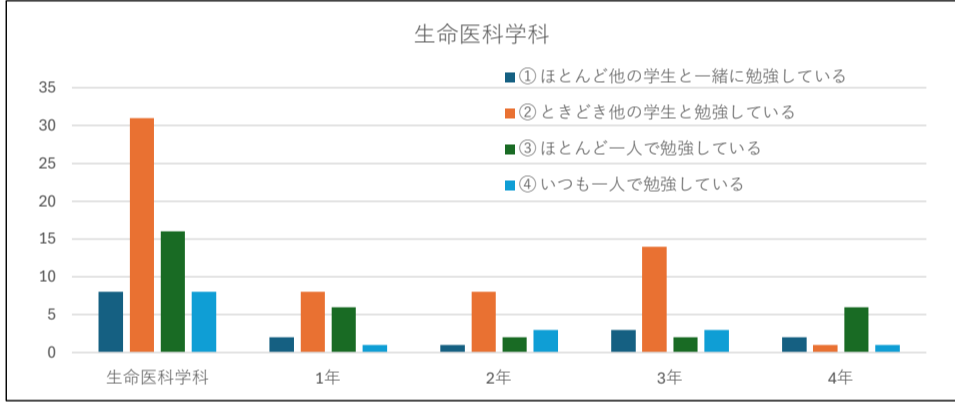
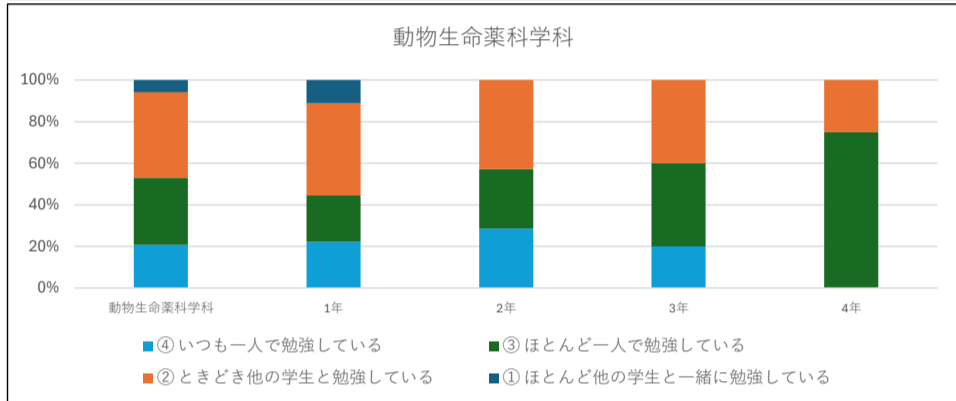
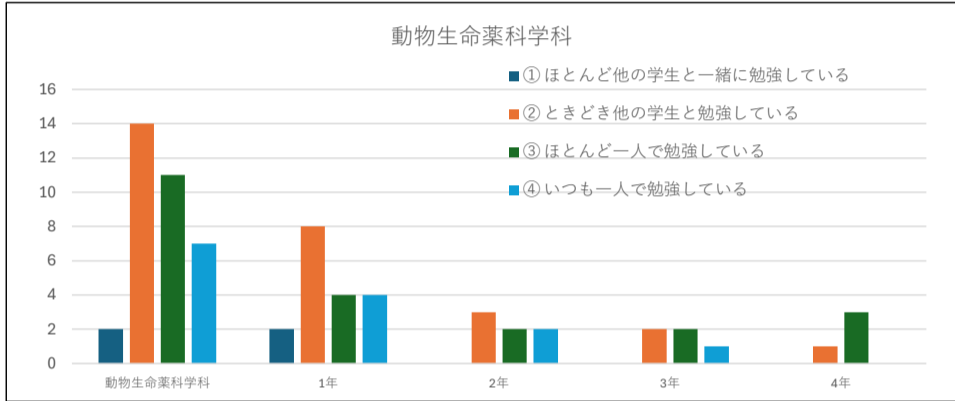
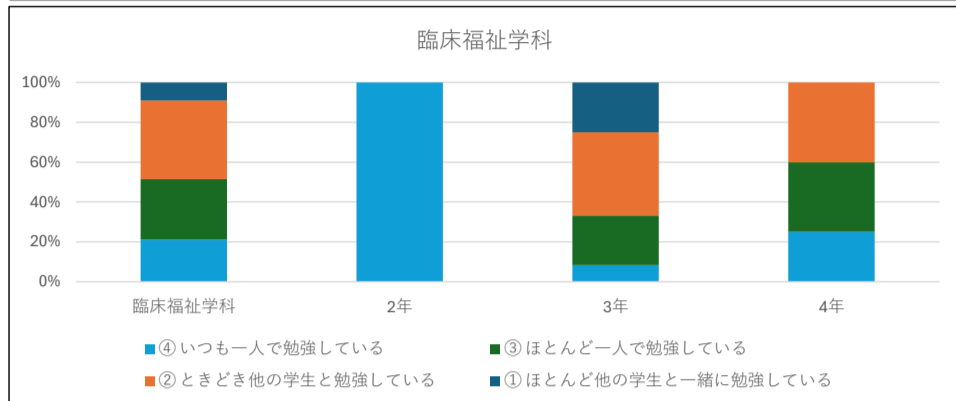
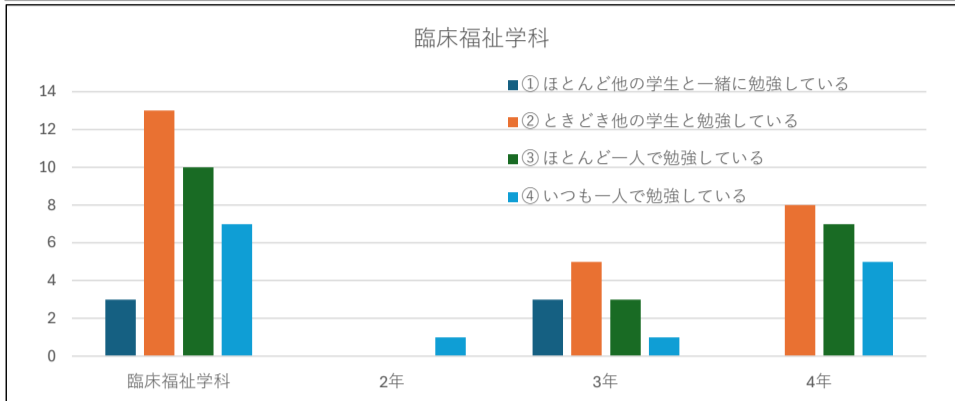
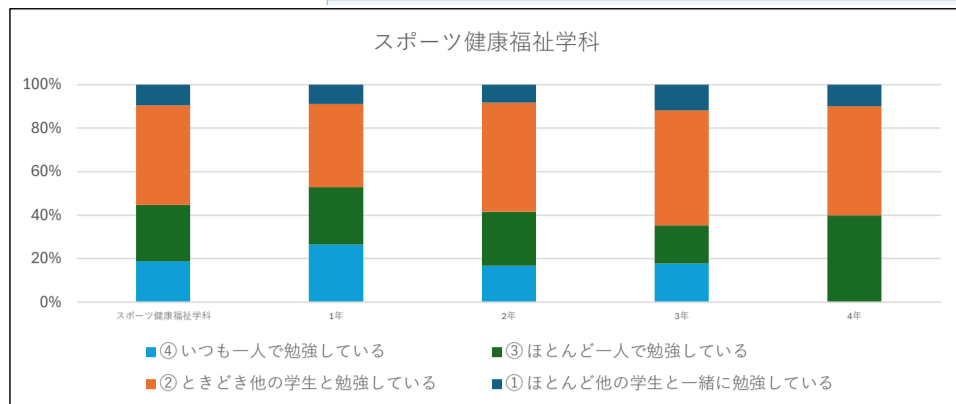
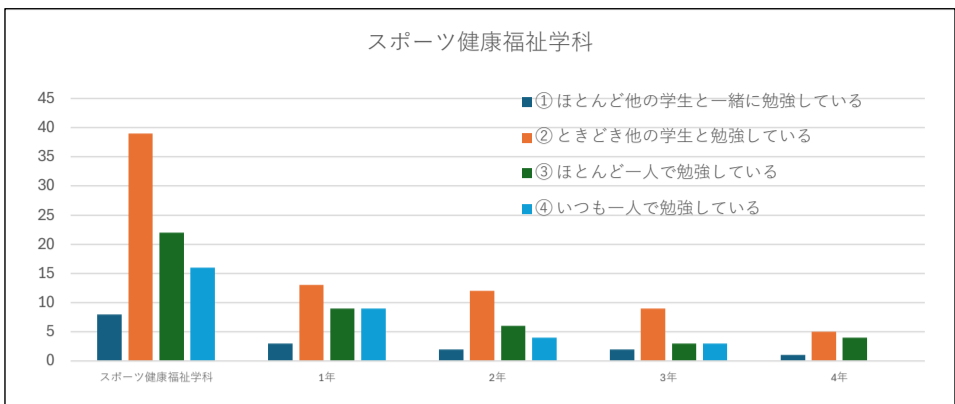


設問1-8. 授業以外で他の学生と勉強することはありますか？

行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
スポーツ健康福祉学科	8	39	22	16
1年	3	13	9	9
2年	2	12	6	4
3年	2	9	3	3
4年	1	5	4	0
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
臨床福祉学科	3	13	10	7
2年	0	0	0	1
3年	3	5	3	1
4年	0	8	7	5
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
動物生命薬科学科	2	14	11	7
1年	2	8	4	4
2年	0	3	2	2
3年	0	2	2	1
4年	0	1	3	0
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
生命医科学科	8	31	16	8
1年	2	8	6	1
2年	1	8	2	3
3年	3	14	2	3
4年	2	1	6	1
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
臨床心理学科	7	29	14	7
1年	3	20	5	2
2年	4	3	1	3
3年	0	2	2	1
4年	0	4	6	1
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
薬学科	25	86	55	22
1年	9	23	14	2
2年	3	18	4	1
3年	6	18	6	3
4年	1	14	11	4
5年	5	8	9	2
6年	1	5	11	10
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
大学全体	53	212	128	67
行ラベル	① ほとんど他の学生と一緒に勉強している	② ときどき他の学生と勉強している	③ ほとんど一人で勉強している	④ いつも一人で勉強している
薬学科以外	28	126	73	45
1年	10	49	24	16
2年	7	26	11	13
3年	8	32	12	9
4年	3	19	26	7

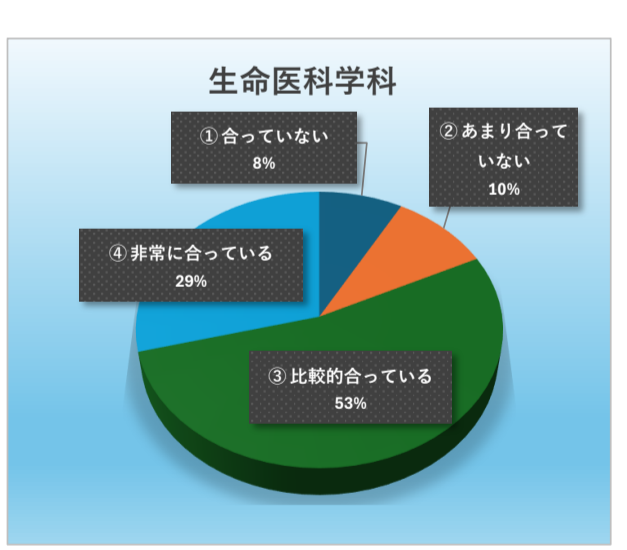
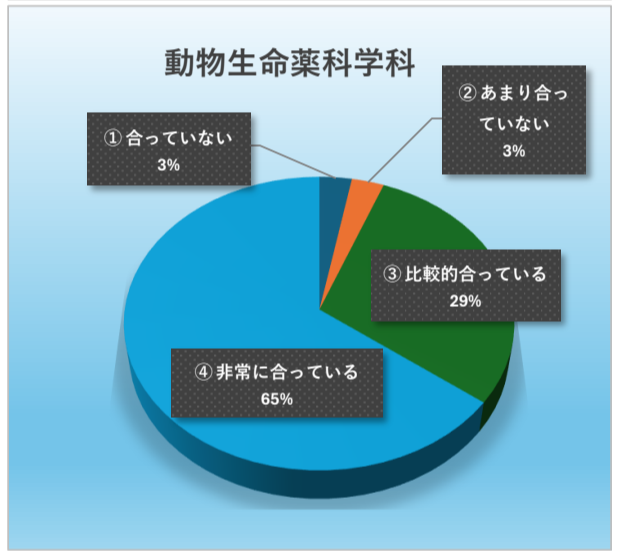
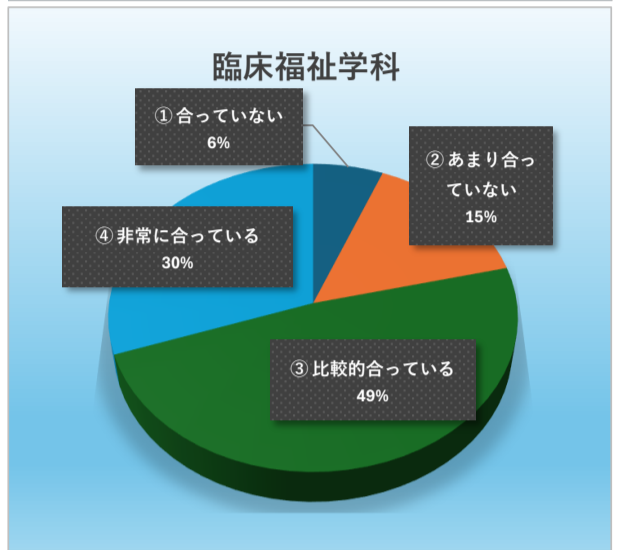
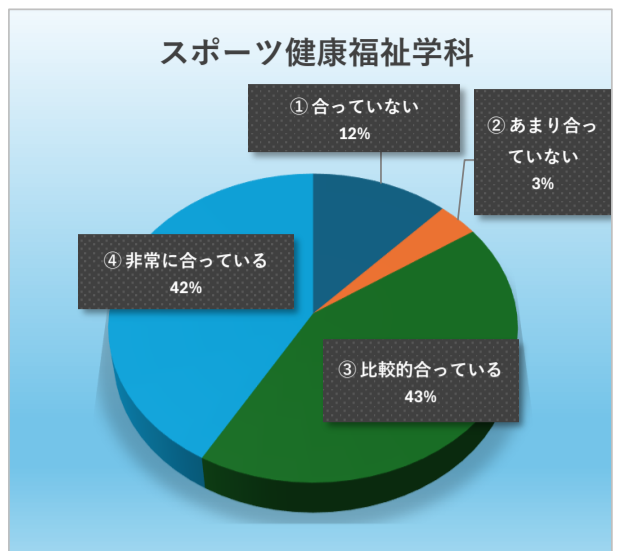


設問1-8. 授業以外で他の学生と勉強することはありますか？

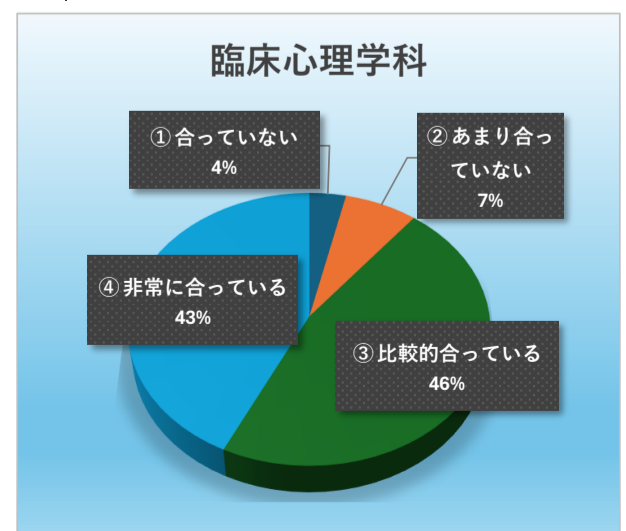
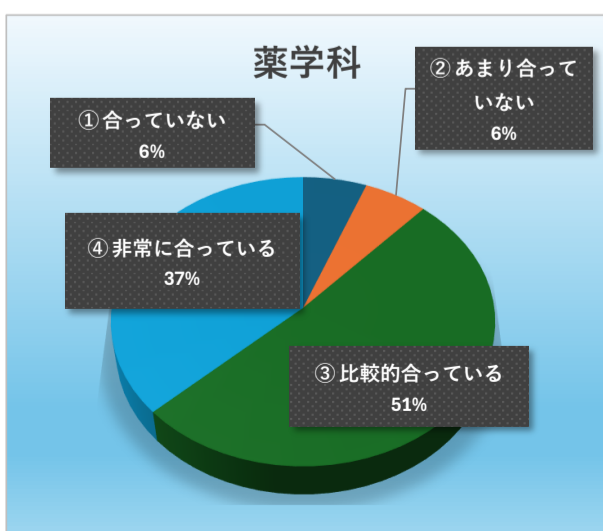
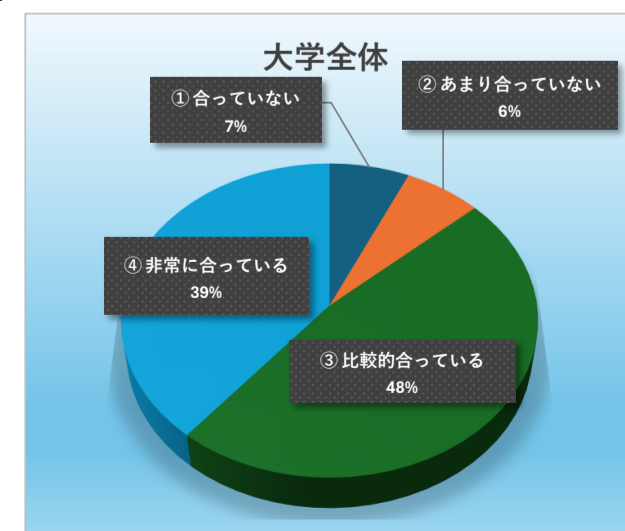


設問 | - 9. 学科・コースの学びは、自分の興味・関心に合っていますか？

行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
スポーツ健康福祉学科	10	3	36	35
1年	5	1	13	15
2年	3	0	13	8
3年	1	2	8	5
4年	1	0	2	7
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
臨床福祉学科	2	5	16	10
2年	0	0	1	0
3年	1	1	7	3
4年	1	4	8	7
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
動物生命薬科学科	1	1	10	22
1年	0	0	5	13
2年	1	0	0	6
3年	0	1	3	1
4年	0	0	2	2
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
生命医科学科	5	6	33	18
1年	0	0	8	9
2年	1	3	9	1
3年	3	3	11	4
4年	1	0	5	4
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
臨床心理学科	2	4	26	24
1年	2	1	10	16
2年	0	0	6	5
3年	0	0	4	1
4年	0	3	6	2
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
薬学科	11	11	96	69
1年	2	2	23	21
2年	2	0	17	7
3年	2	5	12	14
4年	2	2	14	11
5年	3	0	13	8
6年	0	2	17	8
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
大学全体	31	30	217	178
行ラベル	① 合っていない	② あまり合っていない	③ 比較的合っている	④ 非常に合っている
薬学科以外	20	19	121	109
1年	7	2	36	53
2年	5	3	29	20
3年	5	7	33	14
4年	3	7	23	22



【学科・コースの学びが自分の興味・関心に合っているか（回答者47名）】  
 多くの学生は、現在の学びが自分の興味・関心に「合っている」と感じている。  
 ・その主な理由  
 将来の職業や目標に直結している  
 学びたい分野を選んでいるため、授業が楽しい・面白い  
 資格取得や国家試験に必要な内容を学べている  
 ※特に、「将来の夢に役立つ」という実感が、学習意欲の向上につながっている。  
 また、心理学・福祉・医療・動物・薬学など、それぞれの専門分野への興味から、主体的に学んでいるという声も多い。  
 一方で、興味のない科目（特に教養科目）も履修する必要があると思っていた内容と違う、飽きを感じるといった意見も一部見られた。

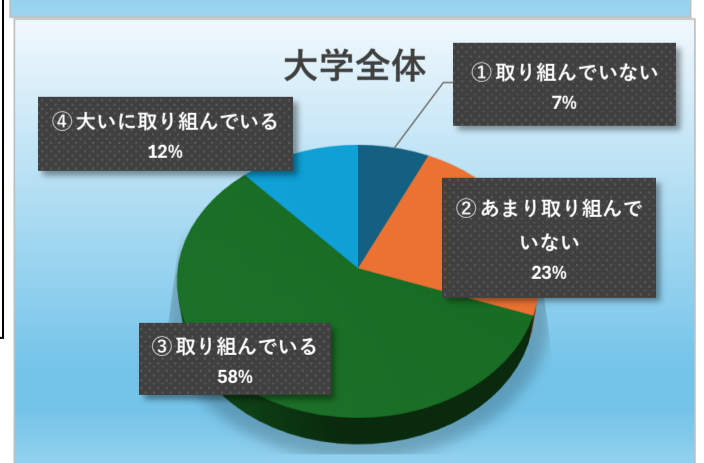
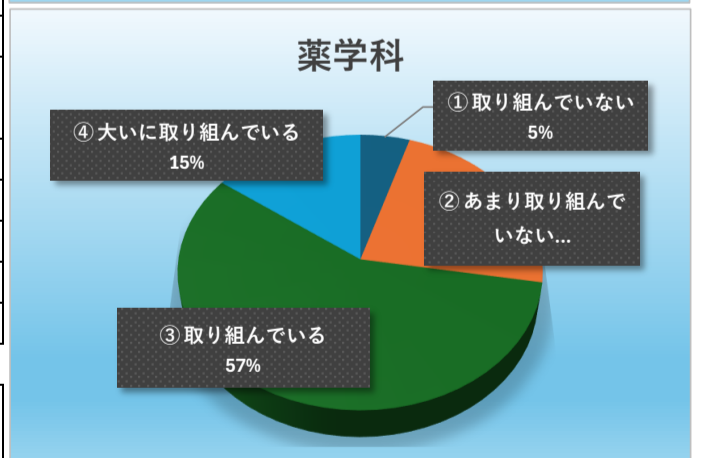
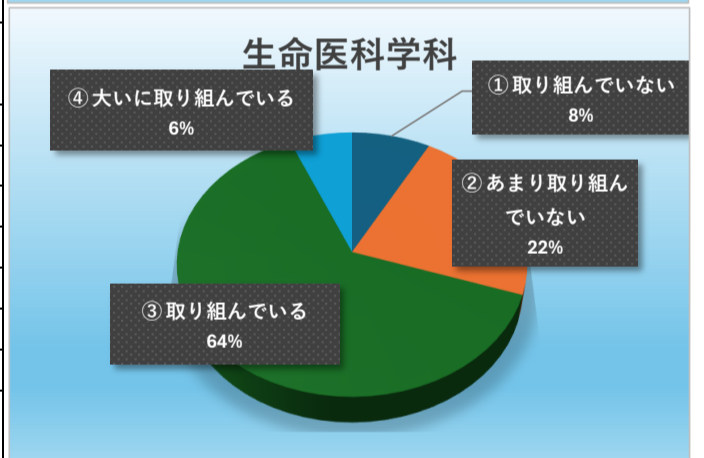
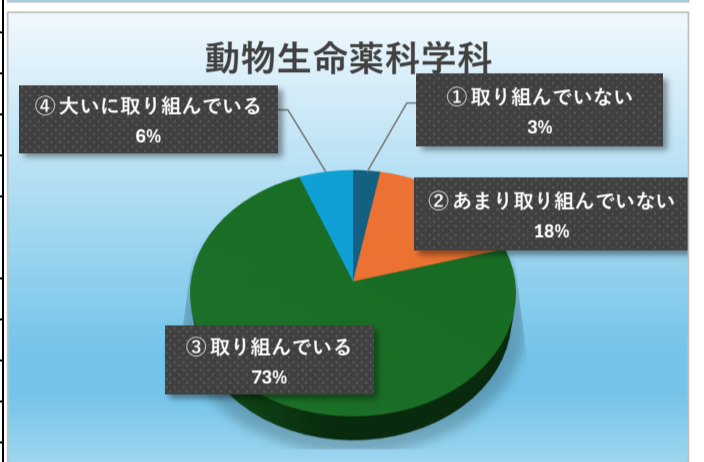
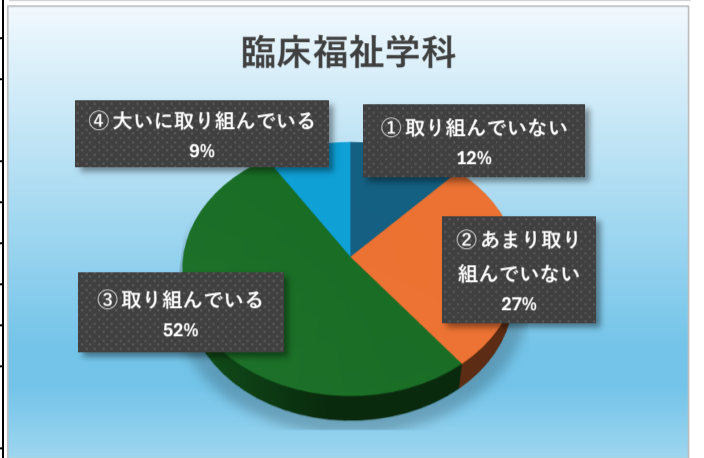
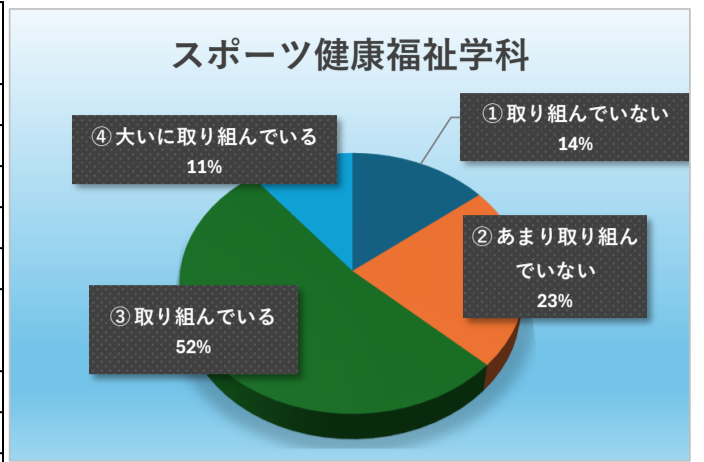


設問1-9. 学科・コースの学びは、自分の興味・関心に合っていますか？



設問 | - 10. あなたは積極的に学修に取り組んでいると思いますか？

行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
スポーツ健康福祉学科	12	19	44	9
1年	6	7	15	5
2年	3	8	12	1
3年	3	3	11	0
4年	0	1	6	3
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
臨床福祉学科	4	9	17	3
2年	1	0	0	0
3年	2	3	6	1
4年	1	6	11	2
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
動物生命薬科学科	1	6	25	2
1年	1	2	14	1
2年	0	2	5	0
3年	0	1	4	0
4年	0	1	2	1
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
生命医科学科	5	14	40	4
1年	0	3	13	1
2年	2	4	8	0
3年	2	7	13	0
4年	1	0	6	3
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
臨床心理学科	1	17	31	8
1年	1	4	20	5
2年	0	4	4	3
3年	0	2	3	0
4年	0	7	4	0
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
薬学科	9	43	108	28
1年	4	12	27	5
2年	0	6	14	6
3年	0	8	22	3
4年	2	5	17	6
5年	2	6	13	3
6年	1	6	15	5
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
大学全体	32	108	265	54
行ラベル	① 取り組んでいない	② あまり取り組んでいない	③ 取り組んでいる	④ 大いに取り組んでいる
薬学科以外	23	65	157	26
1年	8	16	62	12
2年	6	18	29	4
3年	7	16	37	1
4年	2	15	29	9



【学修への積極的取り組みについて（回答者39名）】

回答者の多くは、資格取得や試験対策、興味関心を背景に、予習・復習や授業への出席、空き時間の活用、教員や友人への質問などを通して積極的に学修に取り組んでいる。一方で、アルバイトや部活動との両立、モチベーションの波、自主学習の不足などにより、十分に組み立てていないと感じている学生も見られた。

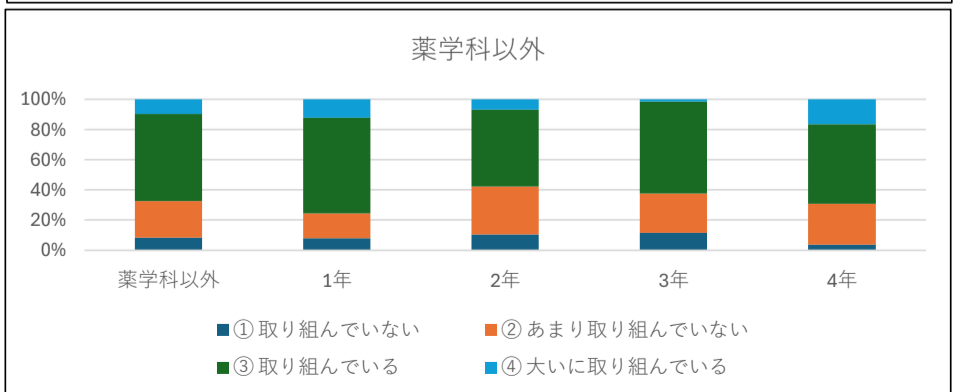
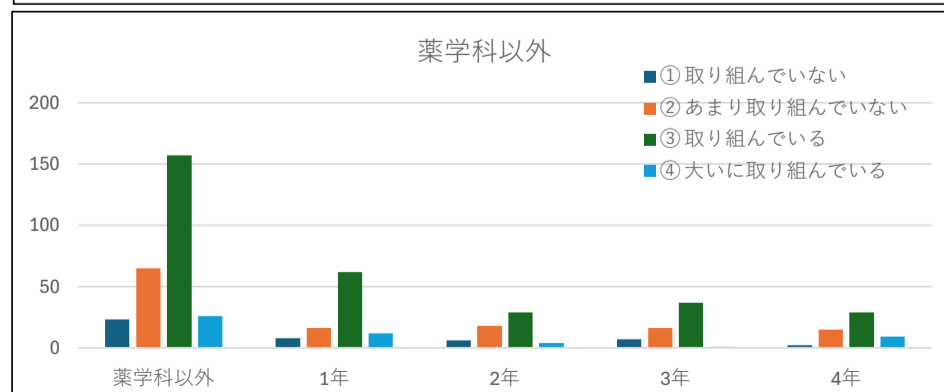
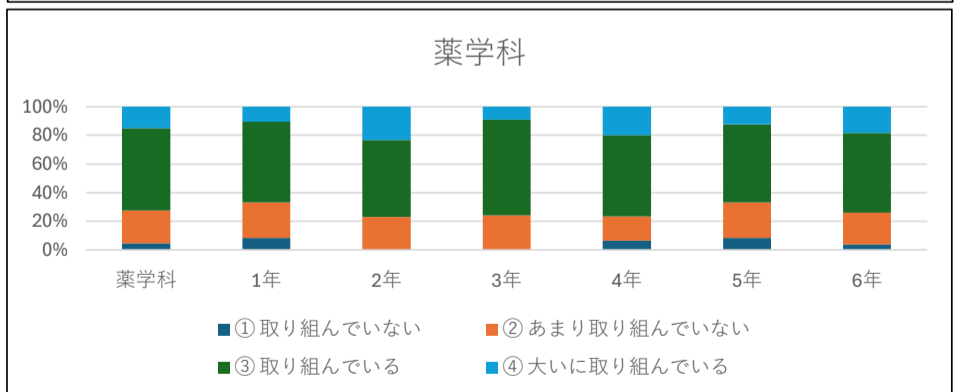
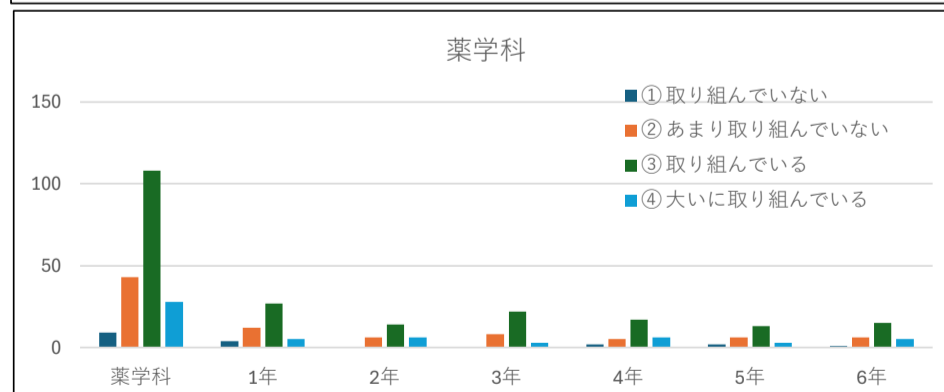
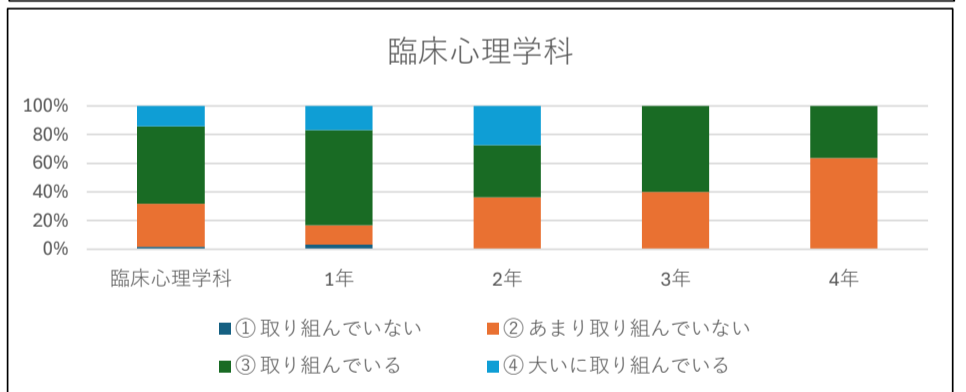
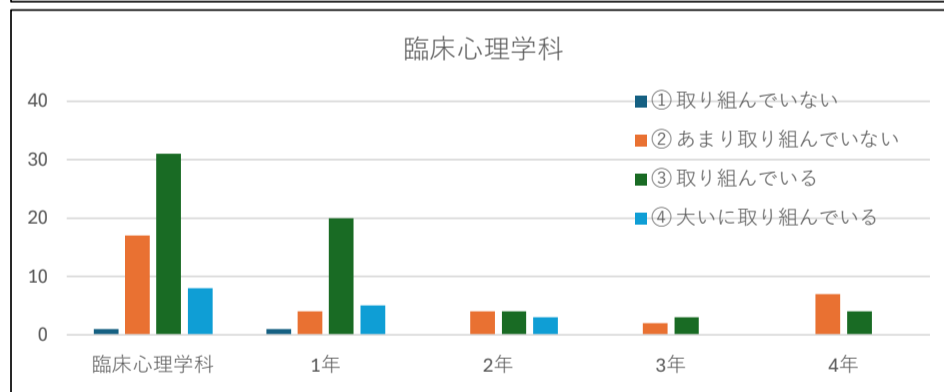
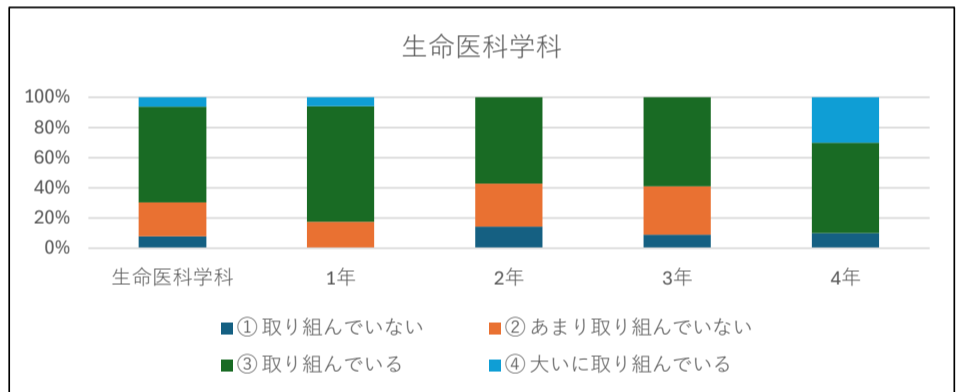
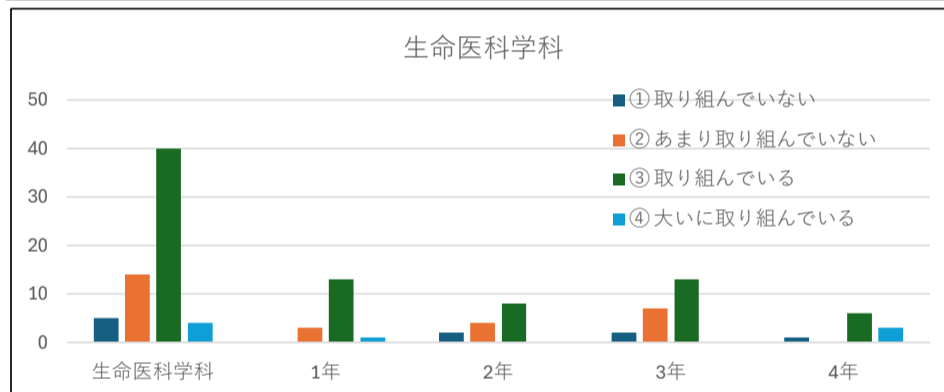
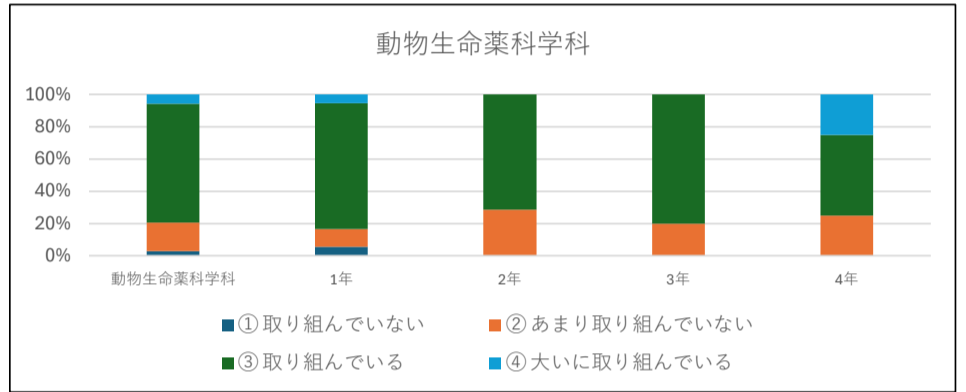
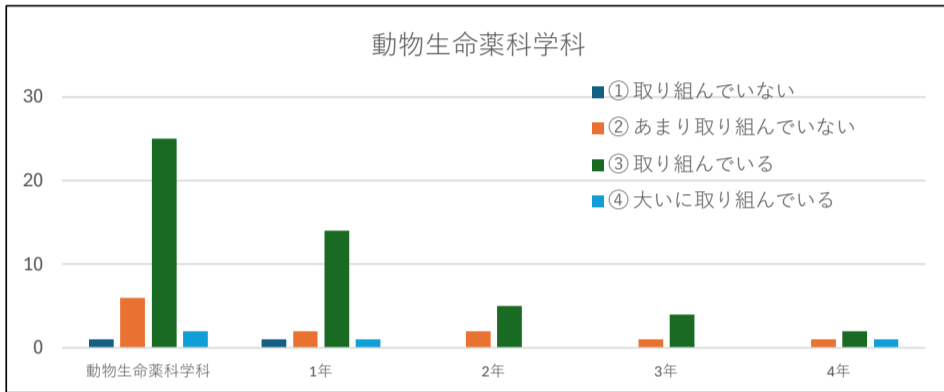
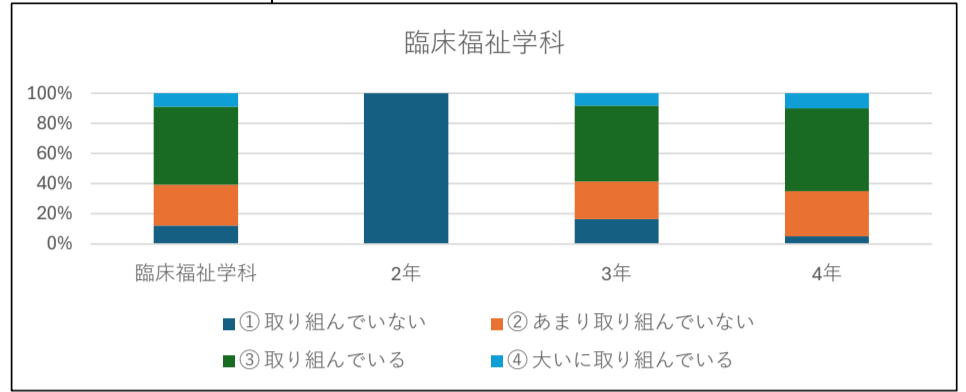
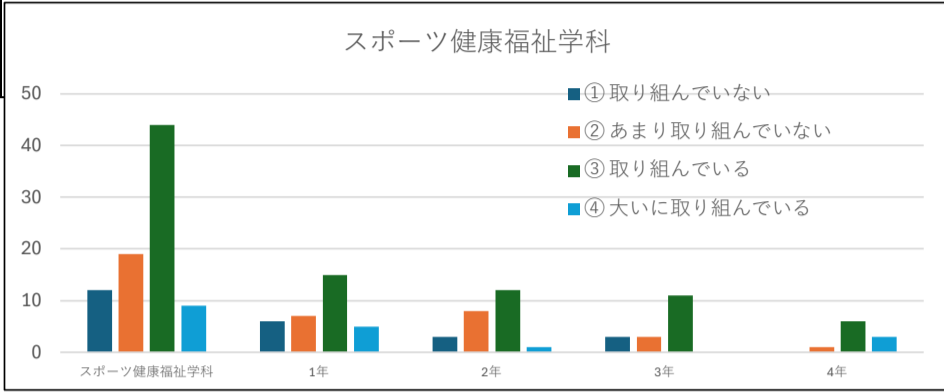
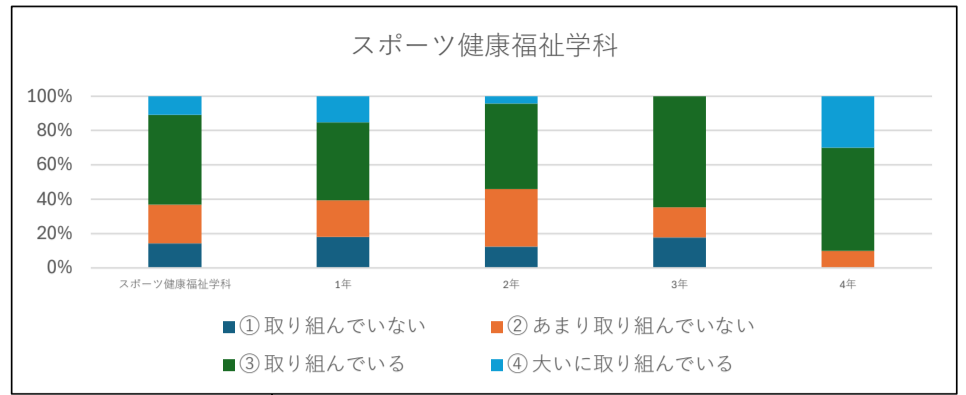
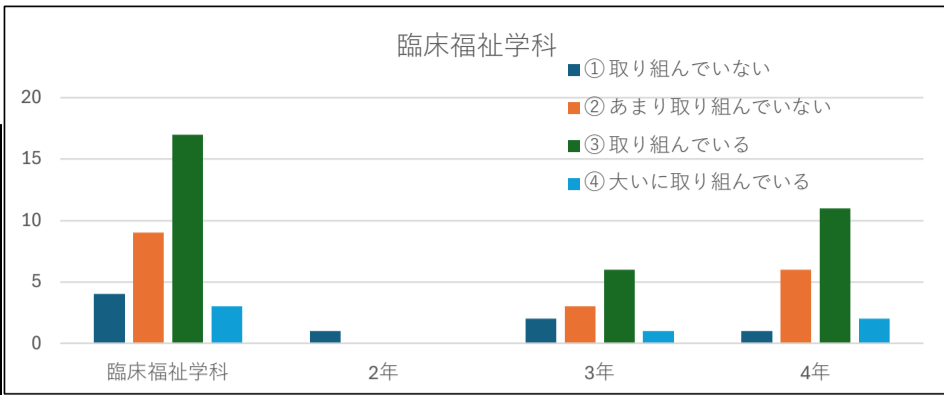
○積極的に取り組んでいる人の回答

- ・資格取得や試験に向けて、予習・復習や先取り学習、授業への出席・ノート整理など計画的に学修している。
- ・空き時間の活用や質問等を通して理解を深めるとともに、興味関心や将来目標を動機に継続的に取り組んでいる。

○積極的に取り組んでいない人の回答

- ・アルバイトや部活動の影響、モチベーションのばらつきにより、学修時間や意欲が十分に確保できていない。
- ・テスト前中心の学修や受動的な取り組みにとどまり、自主的な学修習慣が十分に身につけていない。

### 設問1-10. あなたは積極的に学修に取り組んでいると思いますか？

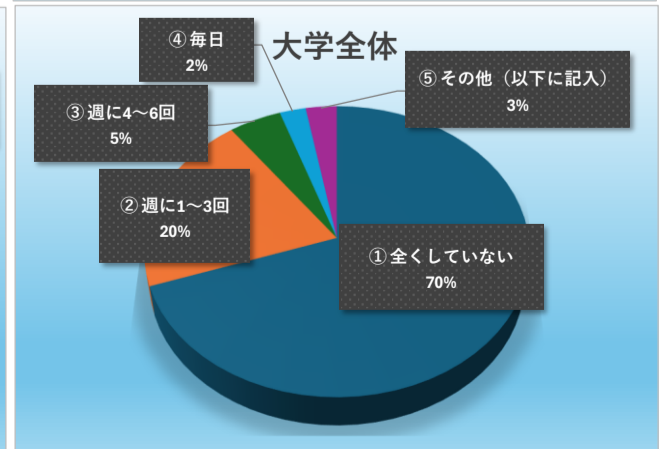
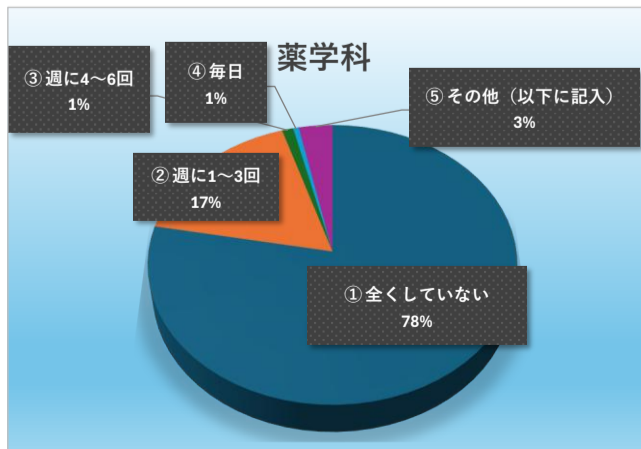
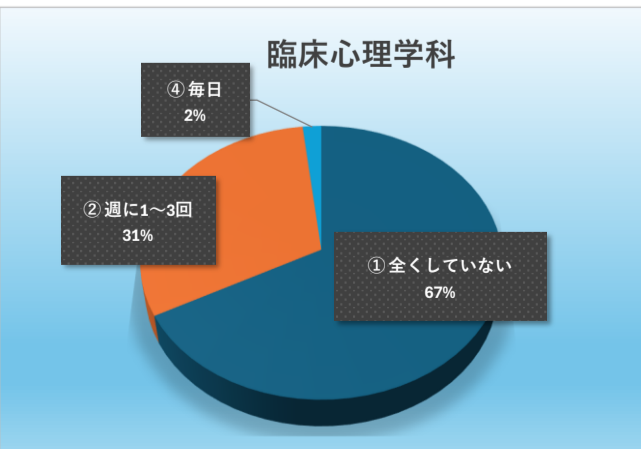
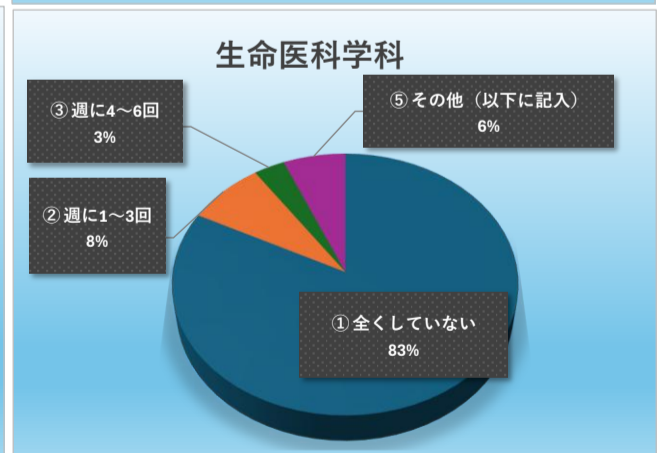
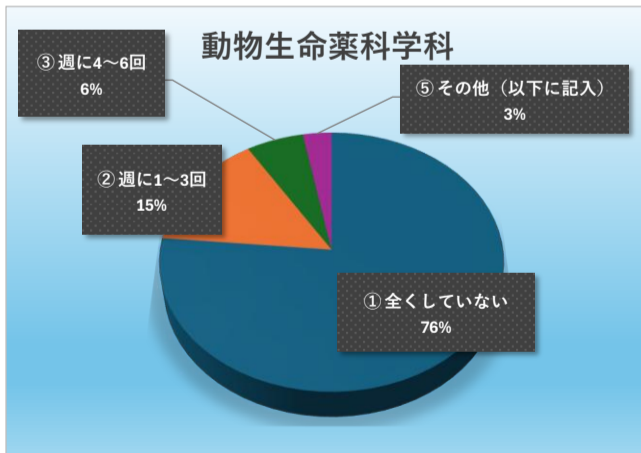
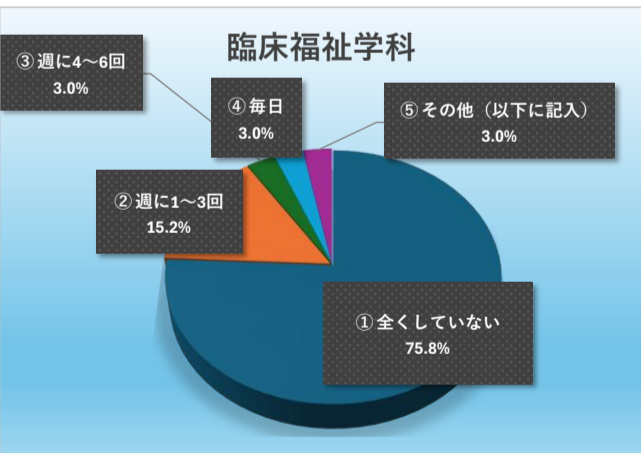
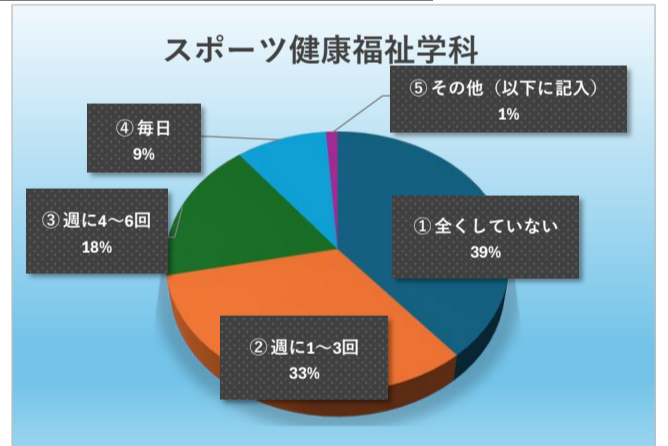


設問 II - 1. 部活動やサークルにどのくらいの頻度で参加していますか？

行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
スポーツ健康福祉学科	33	28	15	8	1
1年	13	13	5	2	1
2年	11	10	2	1	0
3年	4	5	5	3	0
4年	5	0	3	2	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
臨床福祉学科	25	5	1	1	1
2年	1	0	0	0	0
3年	7	3	1	0	1
4年	17	2	0	1	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
動物生命薬科学科	26	5	2	0	1
1年	14	2	1	0	1
2年	4	3	0	0	0
3年	4	0	1	0	0
4年	4	0	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
生命医科学科	52	5	2	0	4
1年	11	3	0	0	3
2年	10	1	2	0	1
3年	21	1	0	0	0
4年	10	0	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
臨床心理学科	37	17	0	1	0
1年	21	8	0	0	0
2年	4	6	0	1	0
3年	2	2	0	0	0
4年	10	1	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
薬学科	145	32	2	1	6
1年	35	9	1	0	3
2年	21	4	0	0	1
3年	22	7	0	1	2
4年	24	5	1	0	0
5年	17	6	0	0	0
6年	26	1	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
大学全体	318	92	22	11	13
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
薬学科以外	173	60	20	10	7
1年	59	26	6	2	5
2年	30	20	4	2	1
3年	38	11	7	3	1
4年	46	3	3	3	0

【部活動・サークル参加頻度】回答者16名

- ・月に1回程度参加 (6名)
- ・月に1~2回程度参加 (4名)
- ・不定期に参加 (3名)
- ・ほとんど参加していない (2名)
- ・所属していない (1名)



設問II-1. 部活動やサークルにどのくらいの頻度で参加していますか？

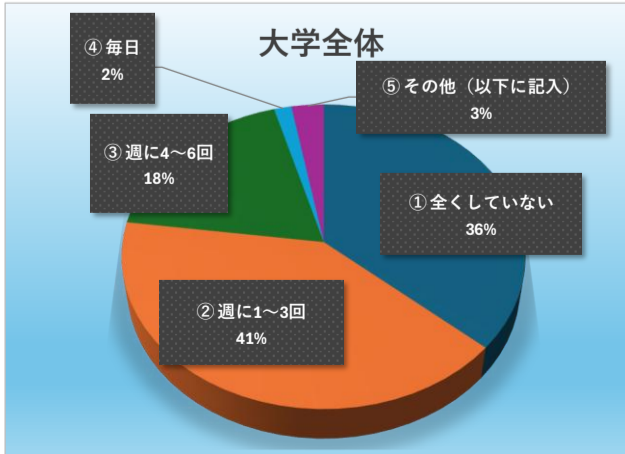
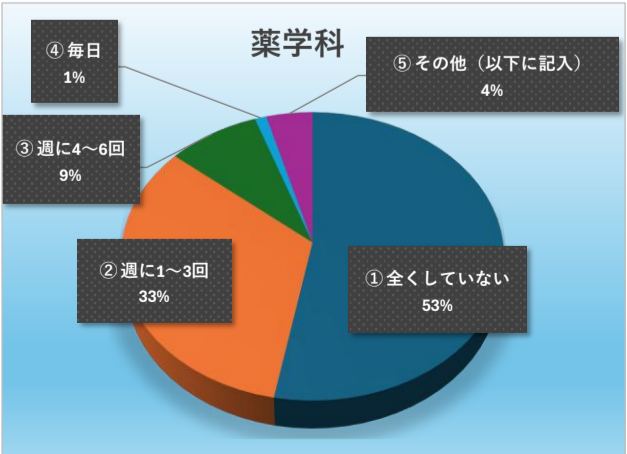
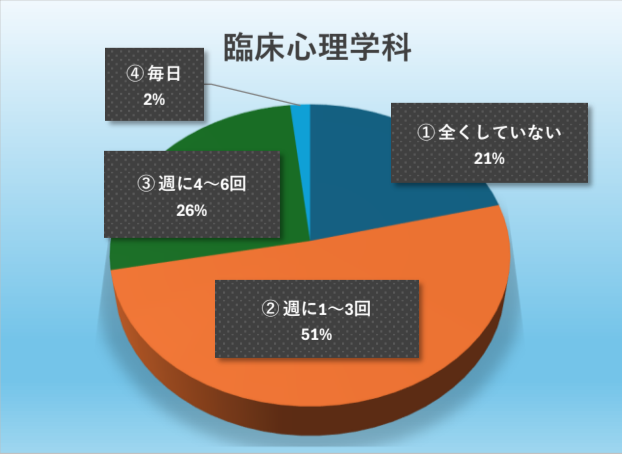
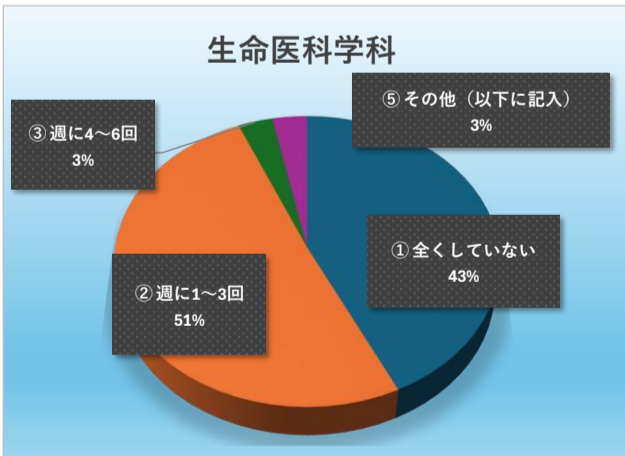
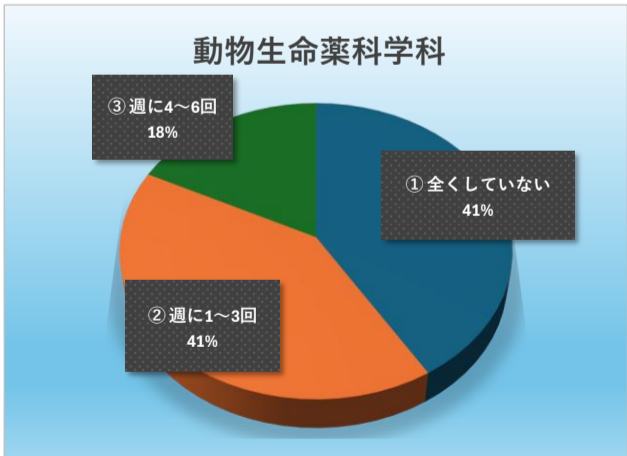
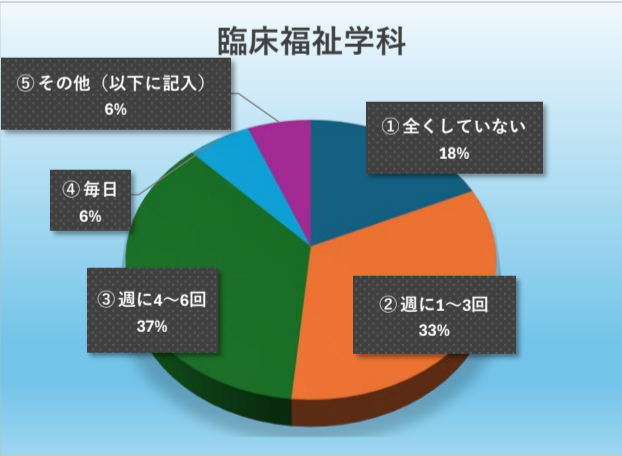
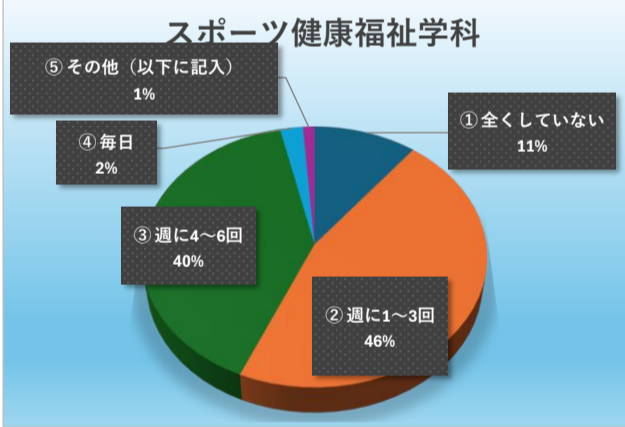


設問 II-2. アルバイトをどのくらいの頻度でしていますか？

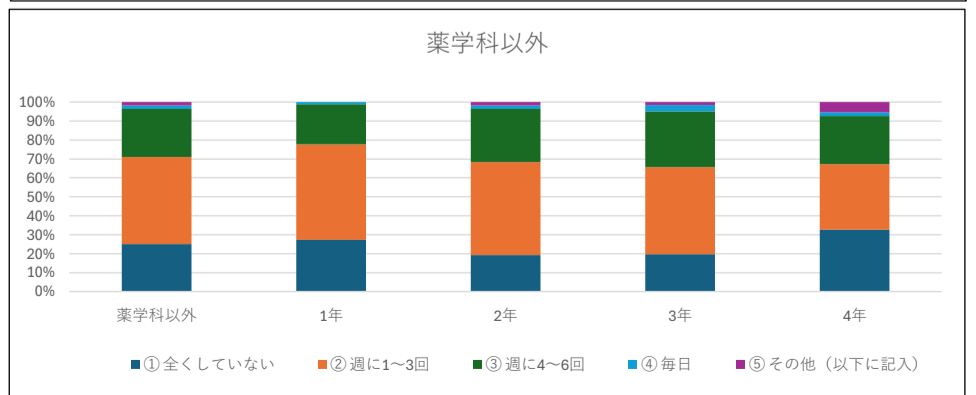
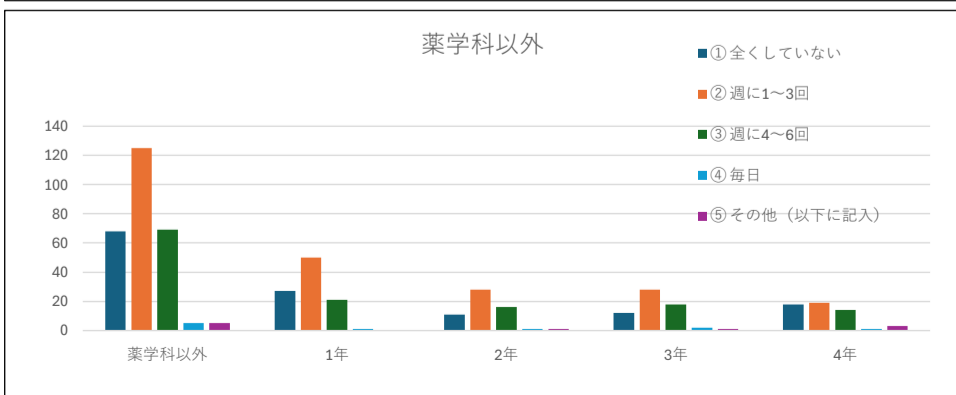
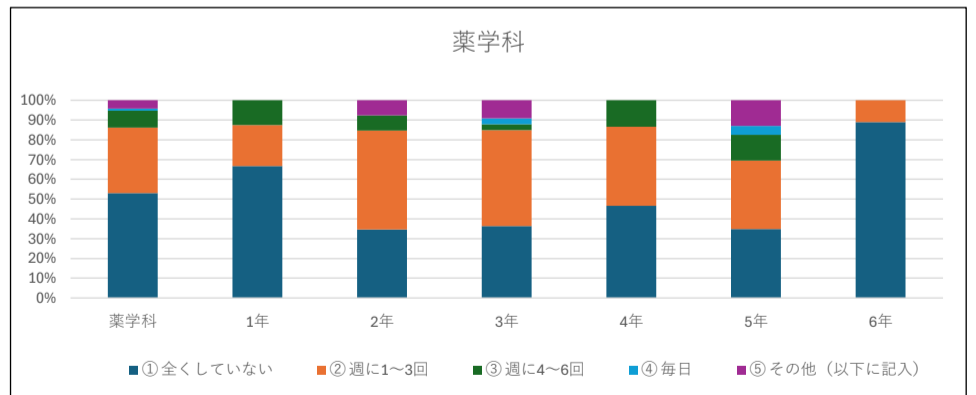
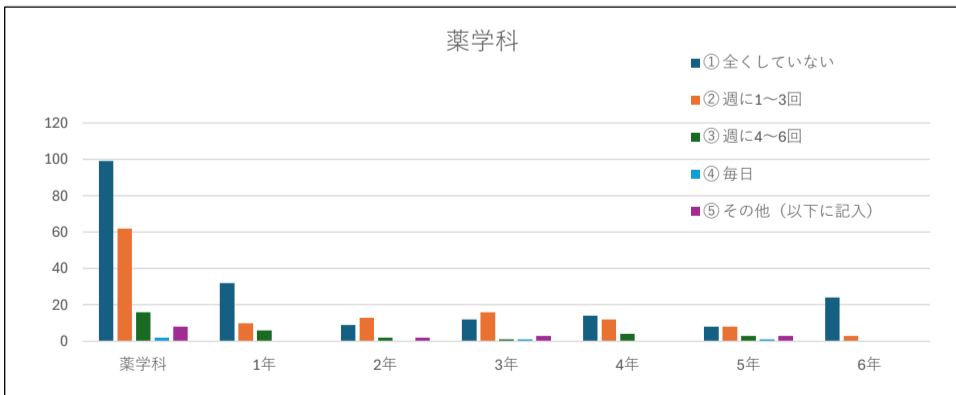
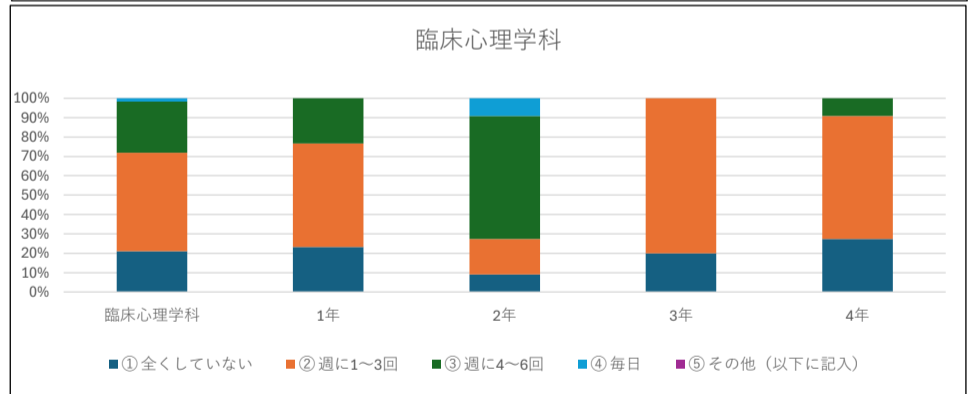
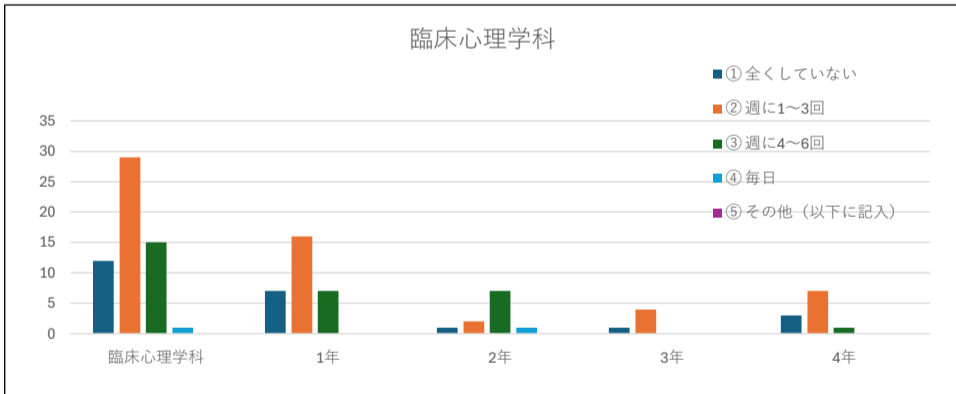
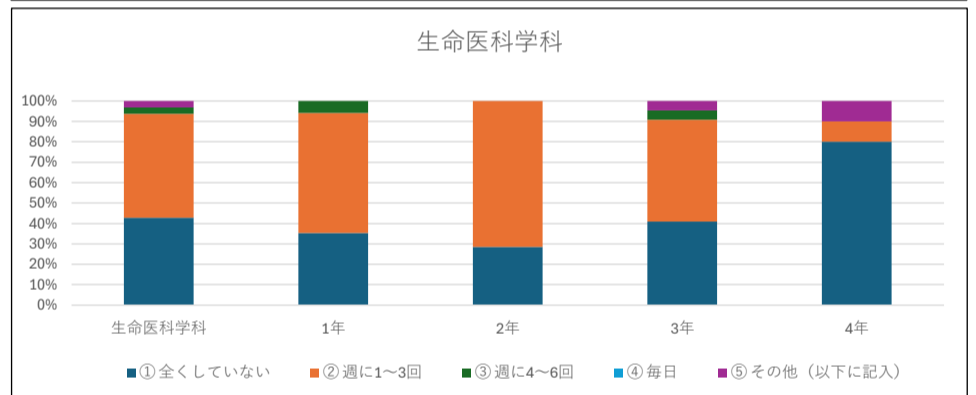
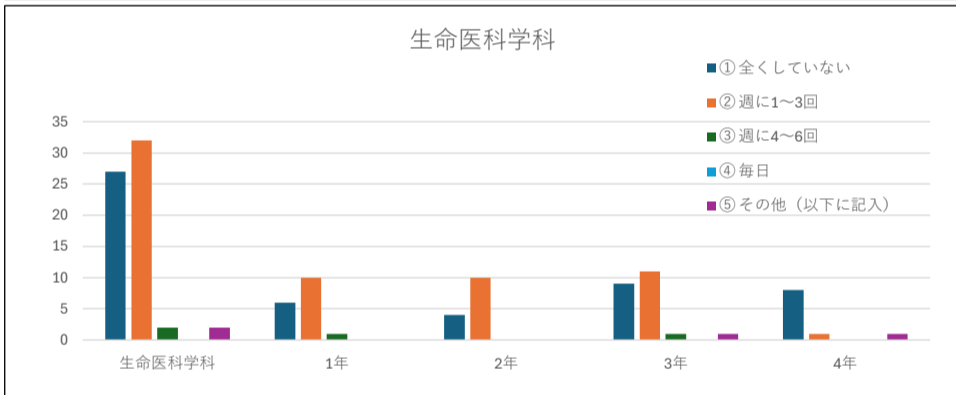
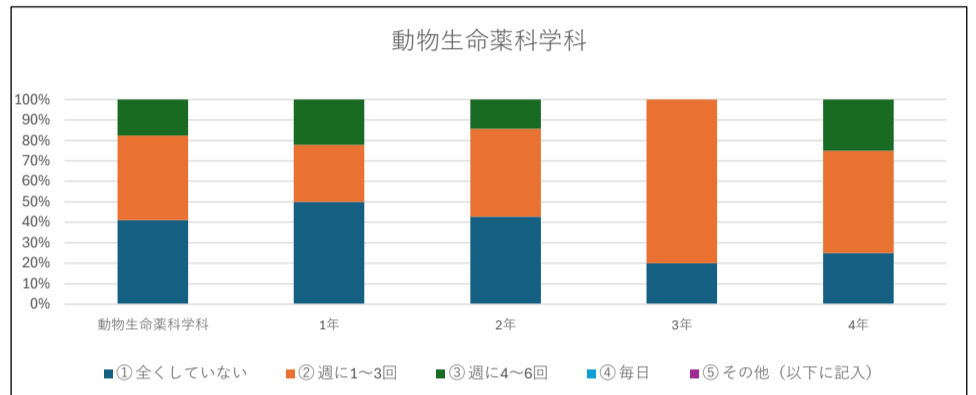
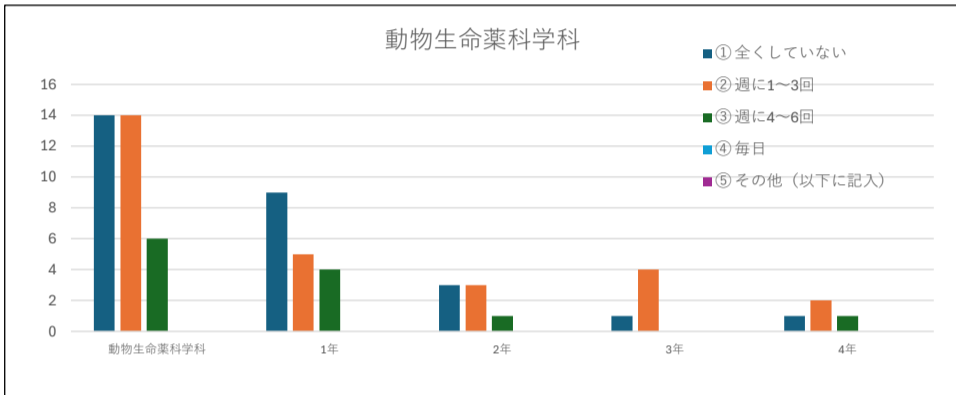
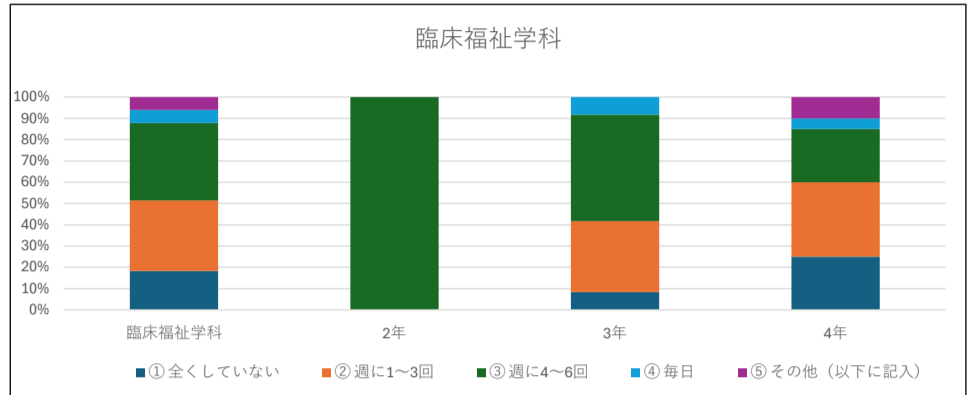
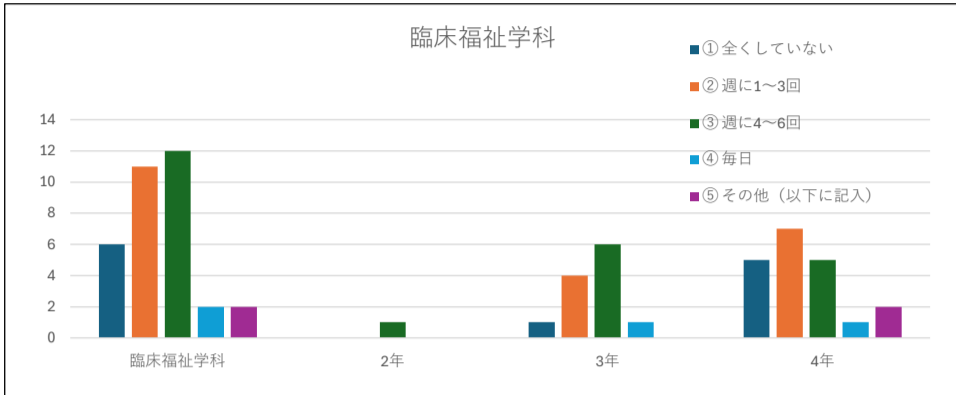
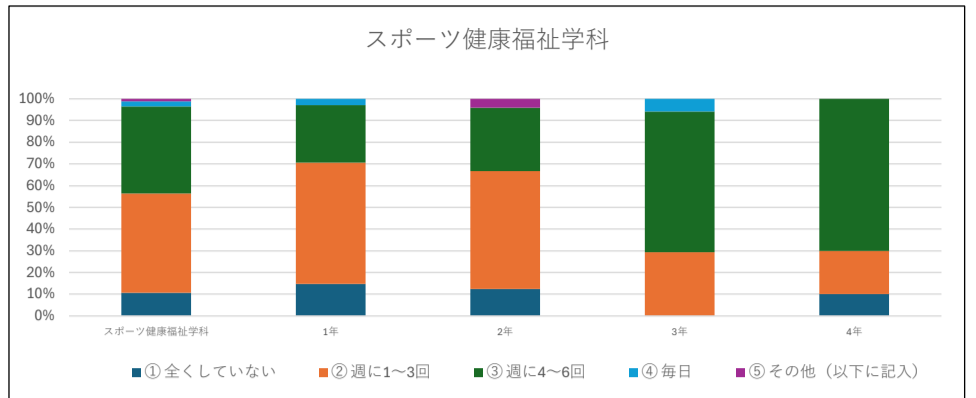
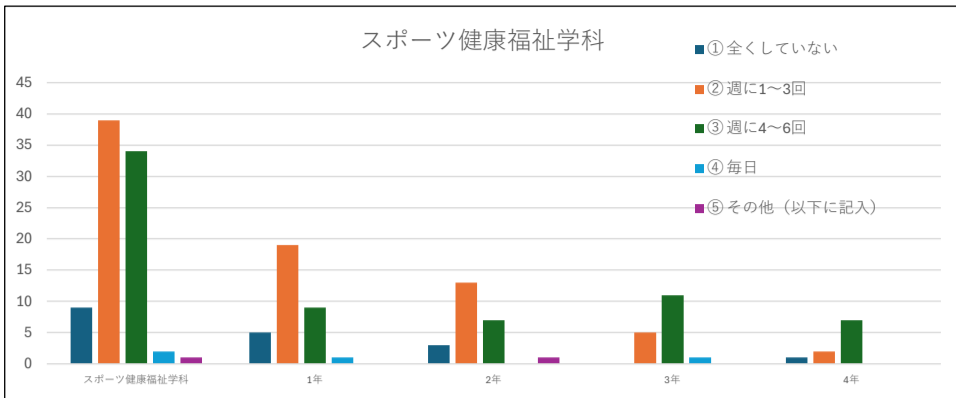
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
スポーツ健康福祉学科	9	39	34	2	1
1年	5	19	9	1	0
2年	3	13	7	0	1
3年	0	5	11	1	0
4年	1	2	7	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
臨床福祉学科	6	11	12	2	2
2年	0	0	1	0	0
3年	1	4	6	1	0
4年	5	7	5	1	2
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
動物生命薬科学科	14	14	6	0	0
1年	9	5	4	0	0
2年	3	3	1	0	0
3年	1	4	0	0	0
4年	1	2	1	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
生命医科学科	27	32	2	0	2
1年	6	10	1	0	0
2年	4	10	0	0	0
3年	9	11	1	0	1
4年	8	1	0	0	1
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
臨床心理学科	12	29	15	1	0
1年	7	16	7	0	0
2年	1	2	7	1	0
3年	1	4	0	0	0
4年	3	7	1	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
薬学科	99	62	16	2	8
1年	32	10	6	0	0
2年	9	13	2	0	2
3年	12	16	1	1	3
4年	14	12	4	0	0
5年	8	8	3	1	3
6年	24	3	0	0	0
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
大学全体	167	187	85	7	13
行ラベル	① 全くしていない	② 週に1~3回	③ 週に4~6回	④ 毎日	⑤ その他 (以下に記入)
薬学科以外	68	125	69	5	5
1年	27	50	21	1	0
2年	11	28	16	1	1
3年	12	28	18	2	1
4年	18	19	14	1	3

【アルバイトの頻度】回答者14名

- ・長期休暇中のみアルバイト (5名)
- ・月に1~3回程度の頻度でアルバイト (4名)
- ・月に数回程度アルバイト (2名)
- ・不定期 (時期によりばらつきあり) (1名)
- ・週に複数回 (繁忙期中心) (1名)
- ・年に数回の単発アルバイト (1名)

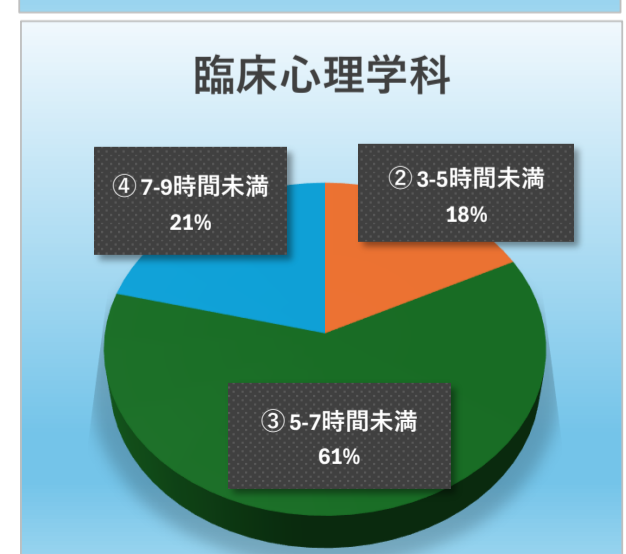
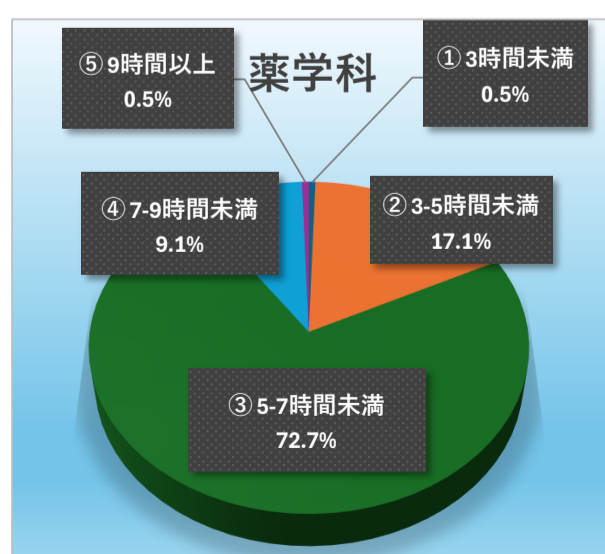
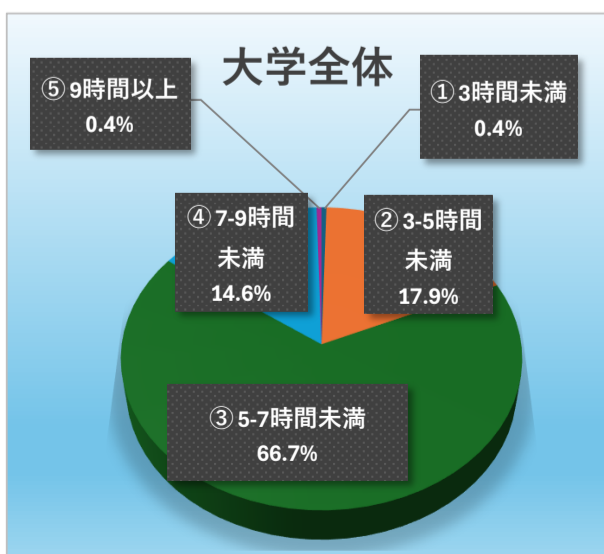
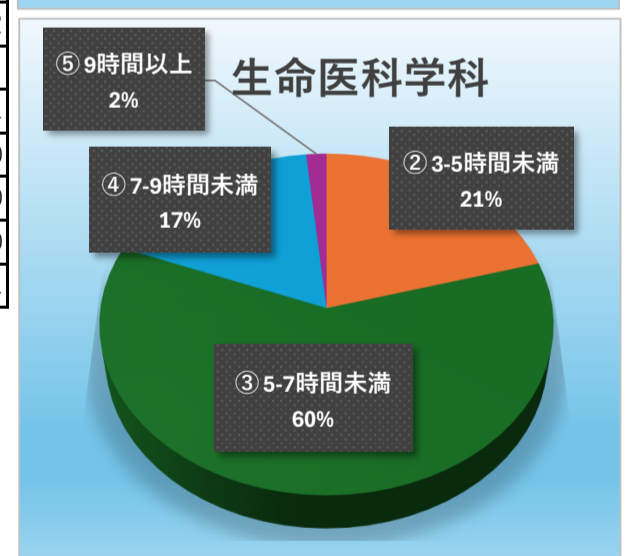
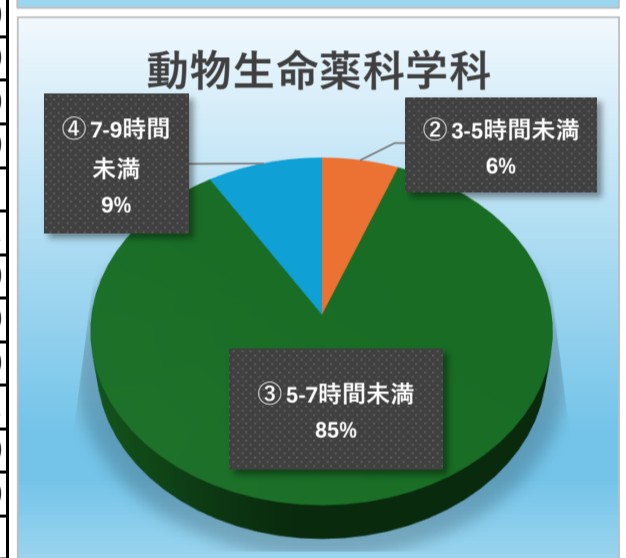
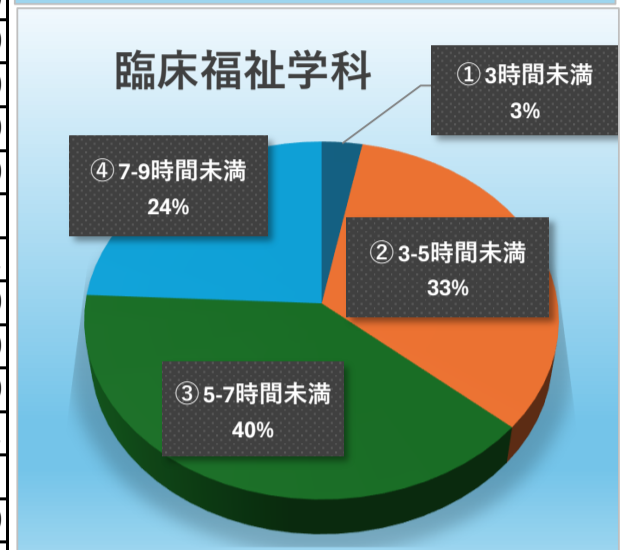
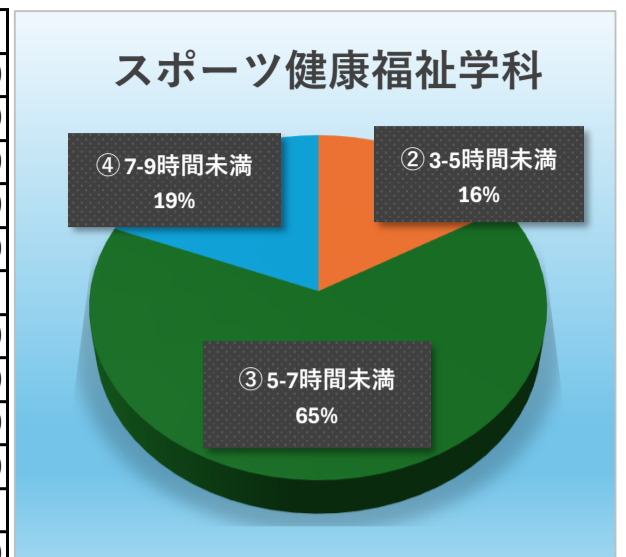


設問II-2. アルバイトをどのくらいの頻度でしていますか？



設問 II - 3. 授業のある日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
スポーツ健康福祉学科	0	14	55	16	0
1年	0	7	22	5	0
2年	0	4	14	6	0
3年	0	2	13	2	0
4年	0	1	6	3	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
臨床福祉学科	1	11	13	8	0
2年	0	0	1	0	0
3年	1	6	3	2	0
4年	0	5	9	6	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
動物生命薬科学科	0	2	29	3	0
1年	0	2	16	0	0
2年	0	0	5	2	0
3年	0	0	5	0	0
4年	0	0	3	1	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
生命医科学科	0	13	38	11	1
1年	0	1	13	3	0
2年	0	4	7	3	0
3年	0	6	12	4	0
4年	0	2	6	1	1
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
臨床心理学科	0	10	35	12	0
1年	0	6	18	6	0
2年	0	2	7	2	0
3年	0	1	3	1	0
4年	0	1	7	3	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
薬学科	1	32	136	17	1
1年	1	6	38	3	0
2年	0	7	17	2	0
3年	0	9	19	5	0
4年	0	3	23	3	1
5年	0	3	17	3	0
6年	0	4	22	1	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
大学全体	2	82	306	67	2
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
薬学科以外	1	50	170	50	1
1年	0	16	69	14	0
2年	0	10	34	13	0
3年	1	15	36	9	0
4年	0	9	31	14	1

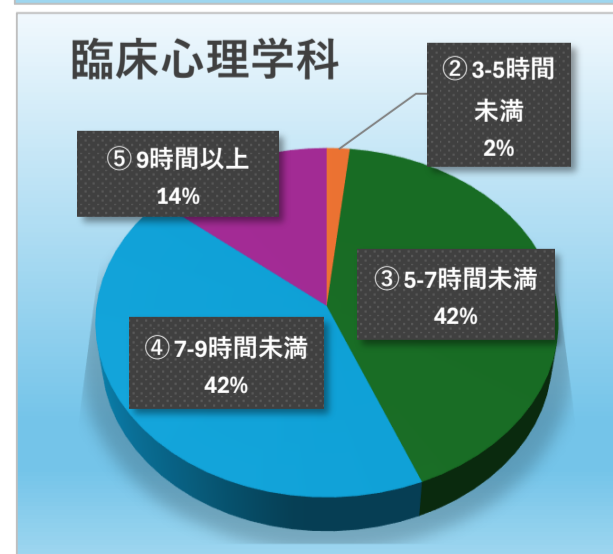
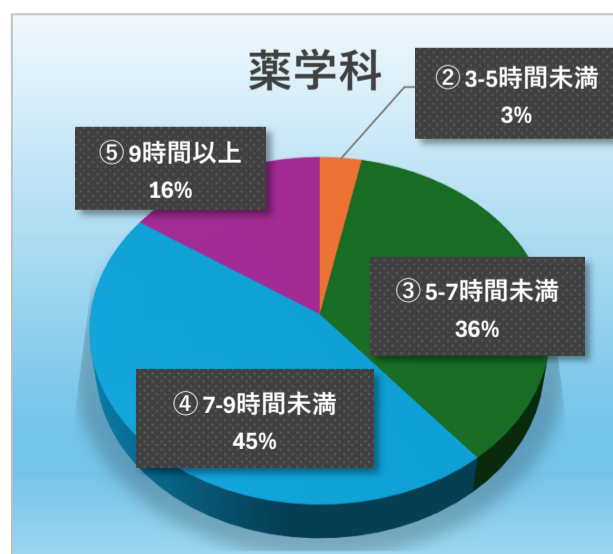
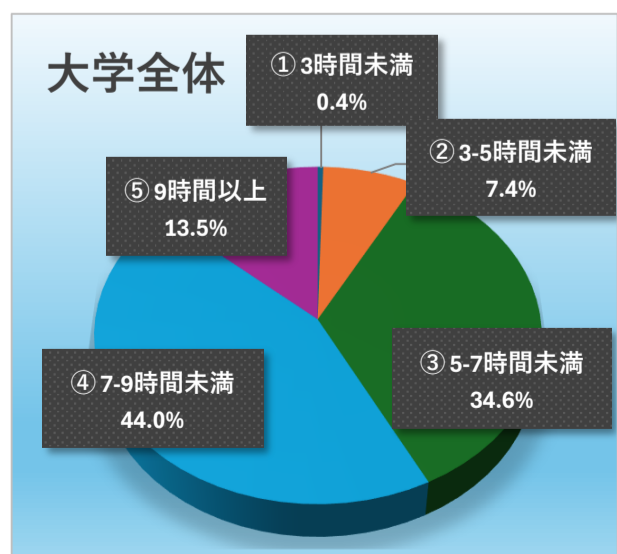
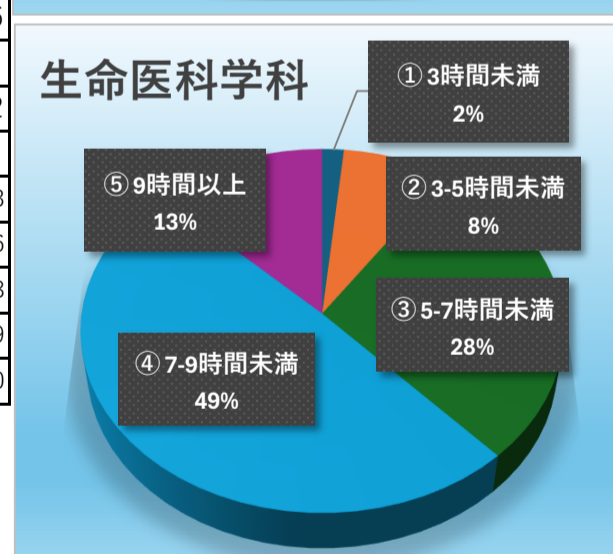
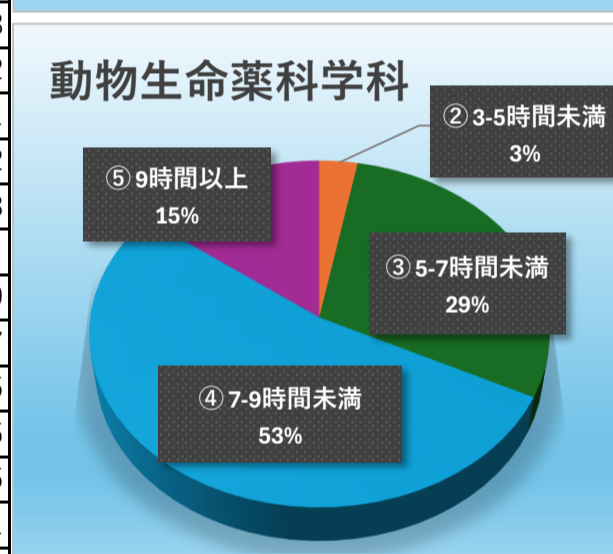
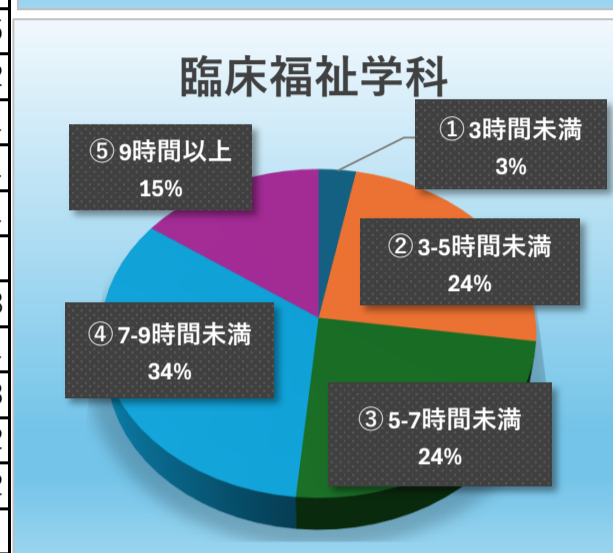
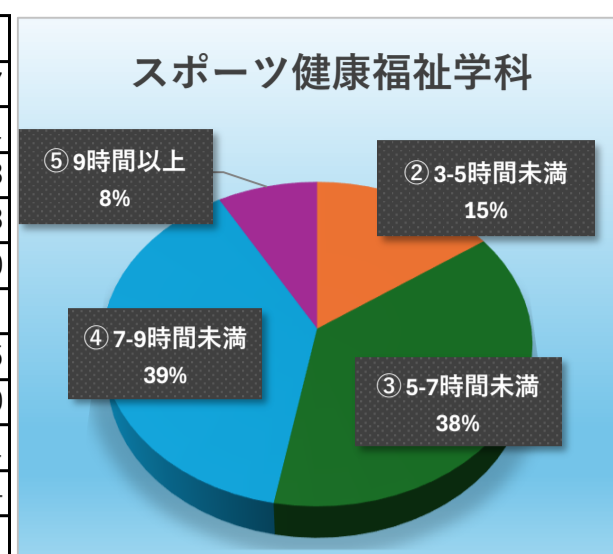


設問II-3. 授業のある日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？



設問 II - 4. 授業のない日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？

行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
スポーツ健康福祉学科	0	13	32	33	7
1年	0	3	16	14	1
2年	0	5	5	11	3
3年	0	4	6	4	3
4年	0	1	5	4	0
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
臨床福祉学科	1	8	8	11	5
2年	0	0	0	1	0
3年	1	5	1	4	1
4年	0	3	7	6	4
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
動物生命薬科学科	0	1	10	18	5
1年	0	1	5	10	2
2年	0	0	2	4	1
3年	0	0	2	2	1
4年	0	0	1	2	1
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
生命医科学科	1	5	18	31	8
1年	1	1	3	11	1
2年	0	1	2	8	3
3年	0	2	9	9	2
4年	0	1	4	3	2
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
臨床心理学科	0	1	24	24	8
1年	0	0	14	14	2
2年	0	1	4	5	1
3年	0	0	2	1	2
4年	0	0	4	4	3
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
薬学科	0	6	67	85	29
1年	0	2	15	24	7
2年	0	1	8	12	5
3年	0	0	11	17	5
4年	0	1	12	12	5
5年	0	1	8	13	1
6年	0	1	13	7	6
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
大学全体	2	34	159	202	62
行ラベル	① 3時間未満	② 3-5時間未満	③ 5-7時間未満	④ 7-9時間未満	⑤ 9時間以上
薬学科以外	2	28	92	117	33
1年	1	5	38	49	6
2年	0	7	13	29	8
3年	1	11	20	20	9
4年	0	5	21	19	10

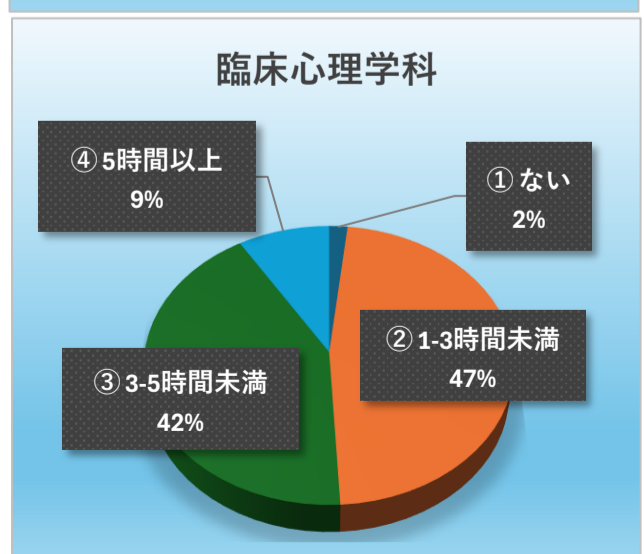
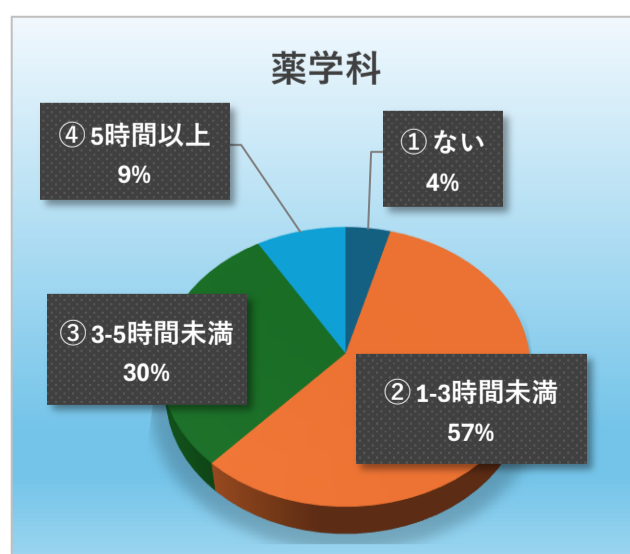
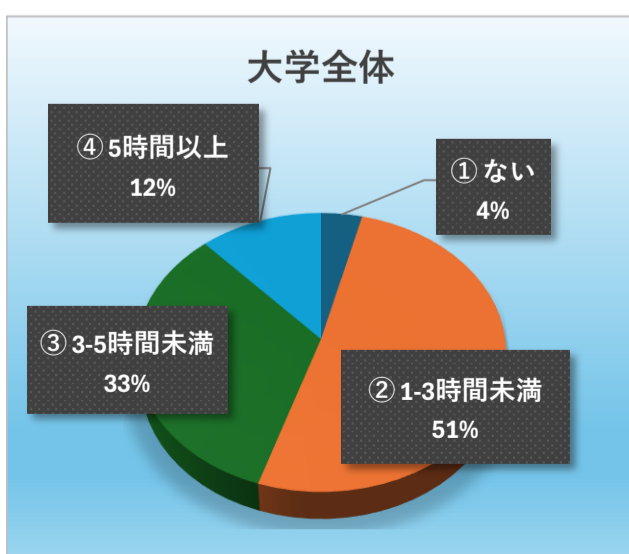
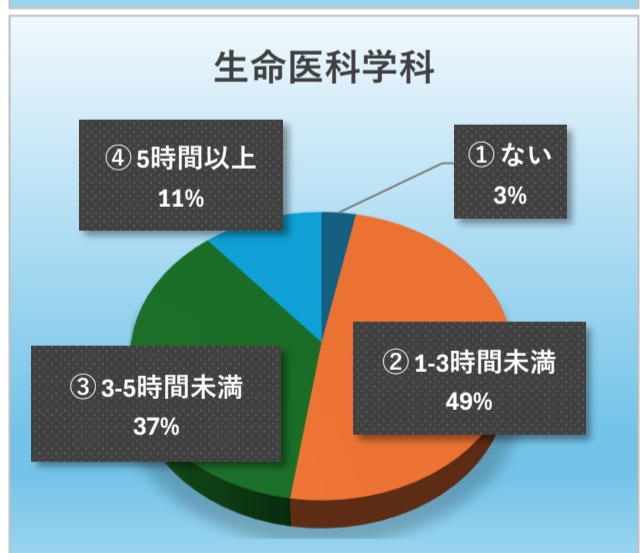
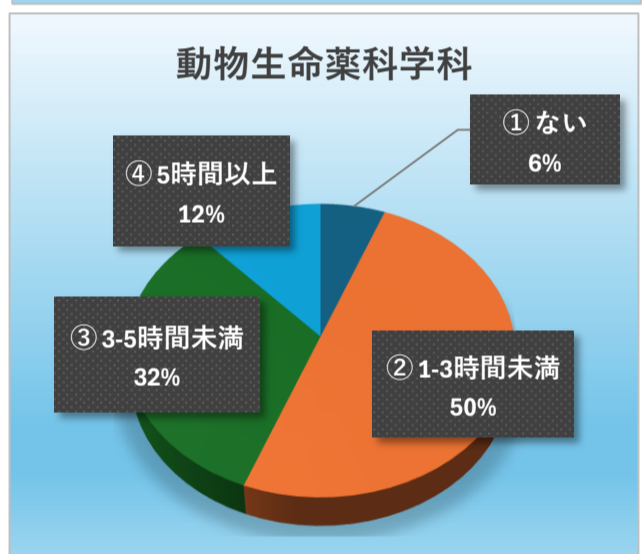
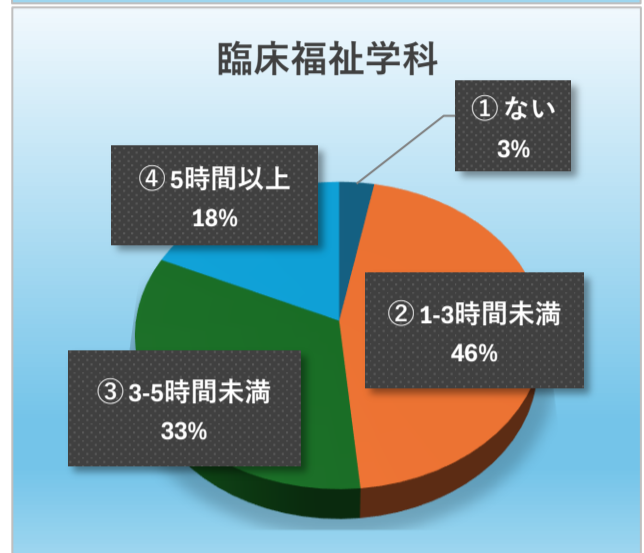
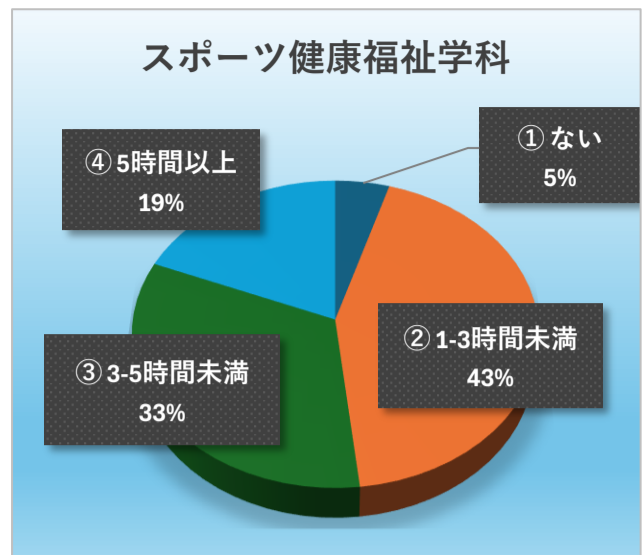


設問II-4. 授業のない日の睡眠時間は、おおよそどれくらいですか？



設問II-5. 授業のある日について、自由な時間はどれくらいありますか？

行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
スポーツ健康福祉学科	4	37	28	16
1年	1	14	12	7
2年	1	10	10	3
3年	2	10	3	2
4年	0	3	3	4
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
臨床福祉学科	1	15	11	6
2年	0	0	1	0
3年	1	6	4	1
4年	0	9	6	5
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
動物生命薬科学科	2	17	11	4
1年	2	9	7	0
2年	0	5	0	2
3年	0	3	1	1
4年	0	0	3	1
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
生命医科学科	2	31	23	7
1年	1	4	10	2
2年	0	10	1	3
3年	0	14	7	1
4年	1	3	5	1
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
臨床心理学科	1	27	24	5
1年	1	15	13	1
2年	0	6	4	1
3年	0	1	2	2
4年	0	5	5	1
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
薬学科	8	107	55	16
1年	1	25	15	7
2年	2	16	4	4
3年	1	20	11	0
4年	2	14	11	3
5年	1	13	8	1
6年	1	19	6	1
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
大学全体	18	234	152	54
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
薬学科以外	10	127	97	38
1年	5	42	42	10
2年	1	31	16	9
3年	3	34	17	7
4年	1	20	22	12

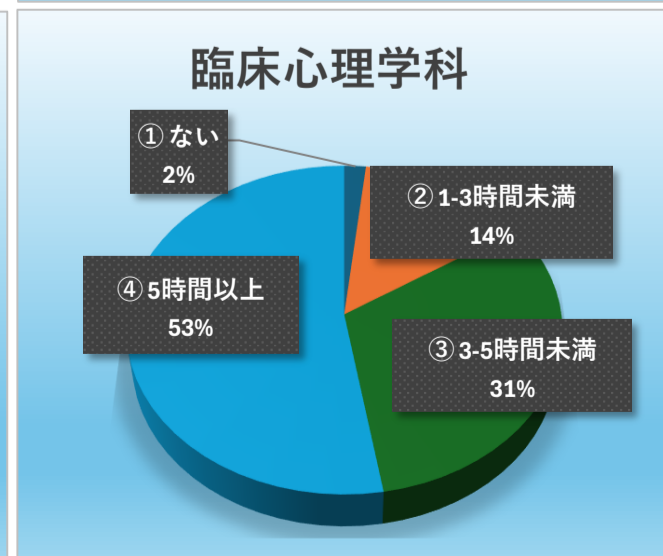
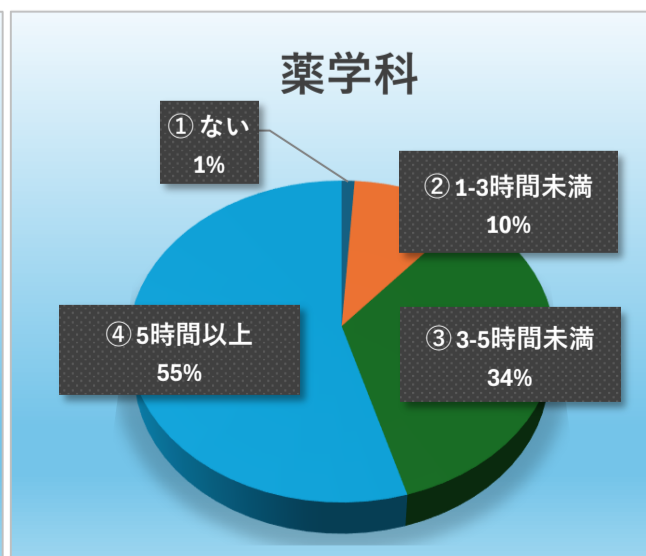
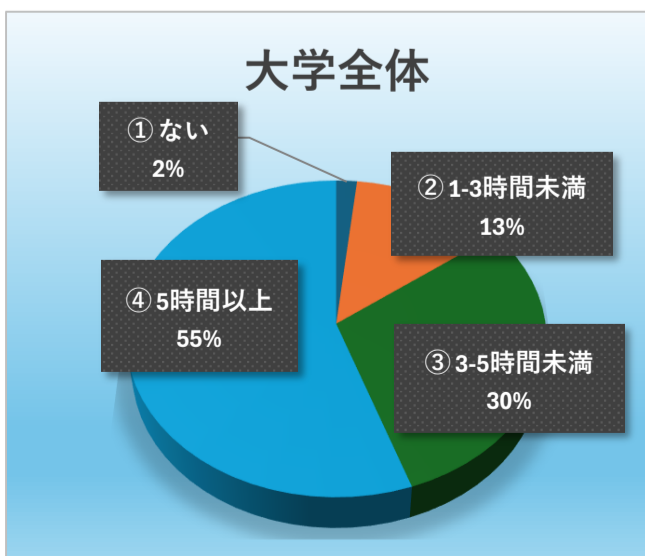
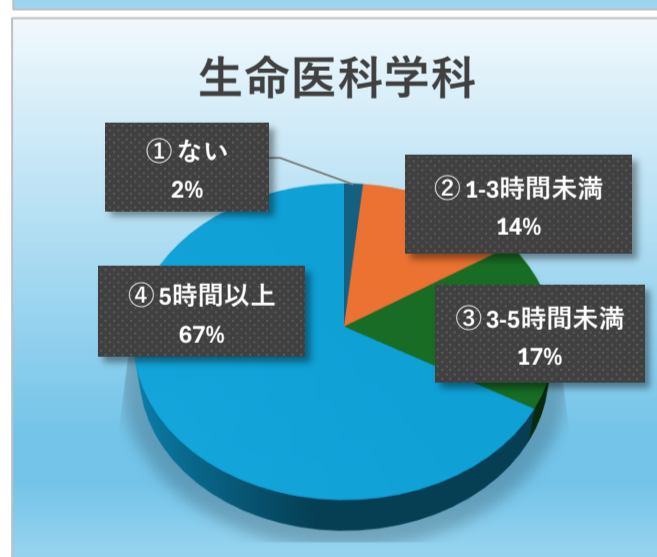
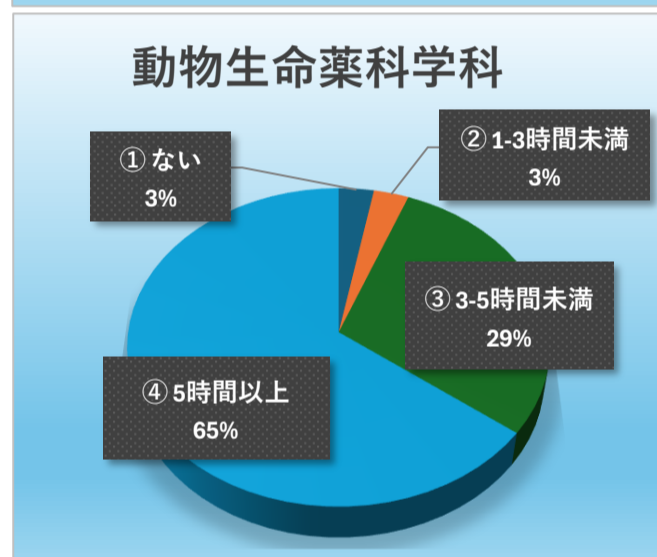
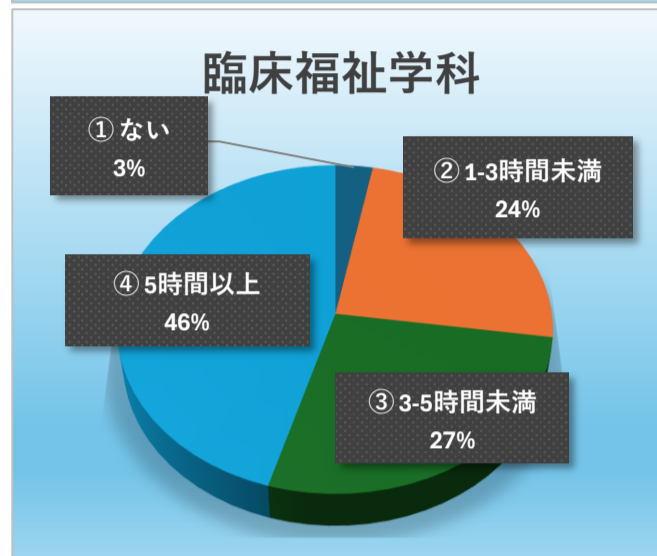
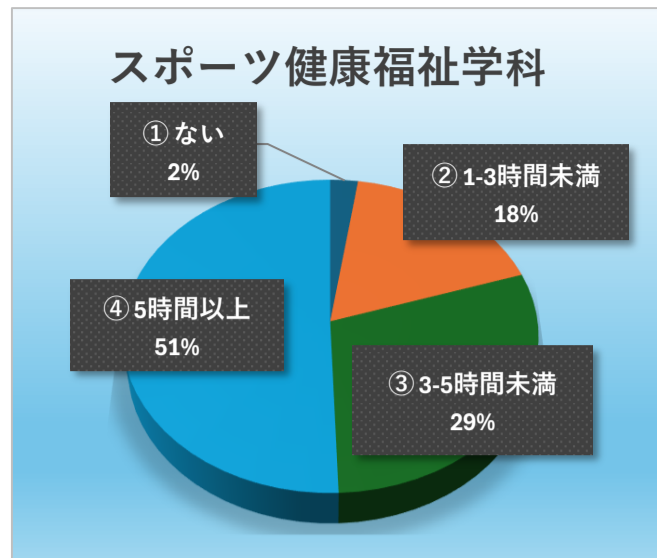


設問II-5. 授業のある日について、自由な時間はどれくらいありますか？



設問II-6. 授業のない日について、自由な時間はどれくらいありますか？

行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
スポーツ健康福祉学科	2	15	25	43
1年	0	7	10	17
2年	1	4	6	13
3年	1	3	6	7
4年	0	1	3	6
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
臨床福祉学科	1	8	9	15
2年	0	0	0	1
3年	1	3	4	4
4年	0	5	5	10
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
動物生命薬科学科	1	1	10	22
1年	1	1	5	11
2年	0	0	1	6
3年	0	0	2	3
4年	0	0	2	2
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
生命医科学科	1	9	11	42
1年	0	2	1	14
2年	0	2	3	9
3年	0	3	6	13
4年	1	2	1	6
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
臨床心理学科	1	8	18	30
1年	0	5	9	16
2年	1	1	5	4
3年	0	0	1	4
4年	0	2	3	6
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
薬学科	2	19	64	102
1年	0	4	14	30
2年	0	2	8	16
3年	0	1	16	16
4年	1	4	7	18
5年	0	4	5	14
6年	1	4	14	8
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
大学全体	8	60	137	254
行ラベル	① ない	② 1-3時間未満	③ 3-5時間未満	④ 5時間以上
薬学科以外	6	41	73	152
1年	1	15	25	58
2年	2	7	15	33
3年	2	9	19	31
4年	1	10	14	30

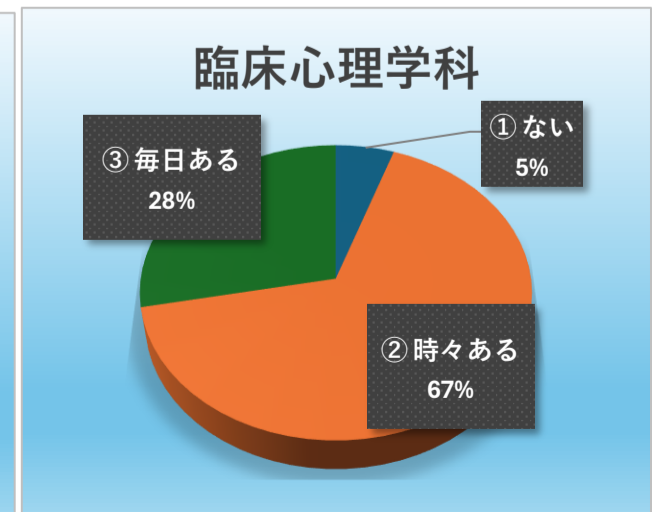
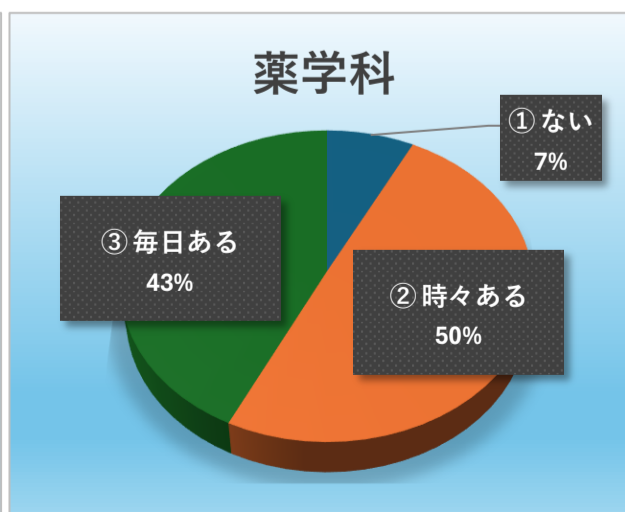
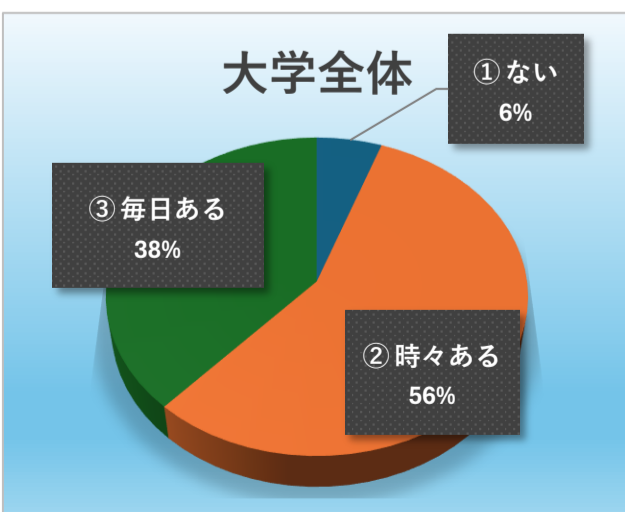
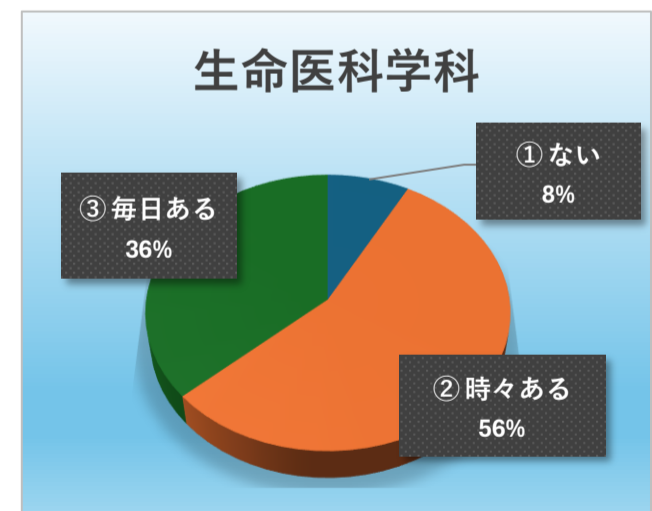
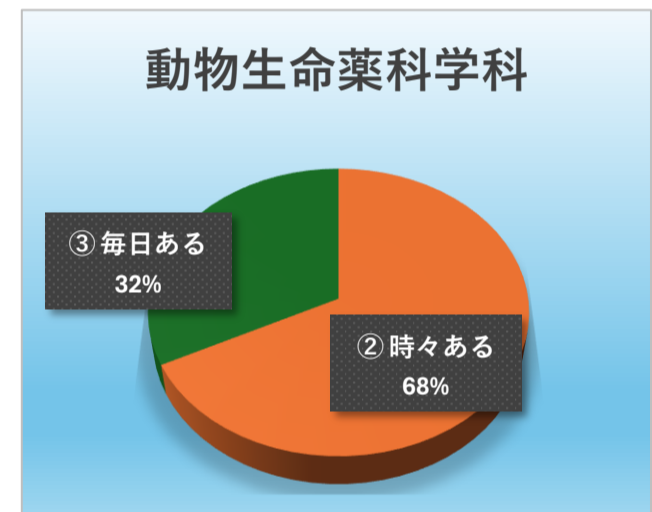
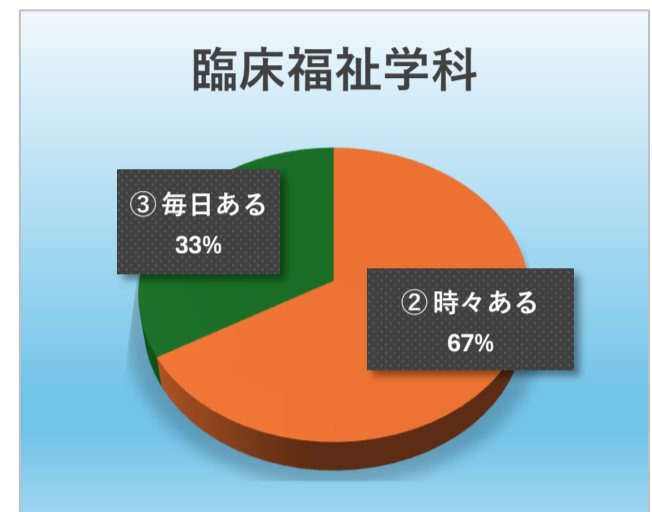
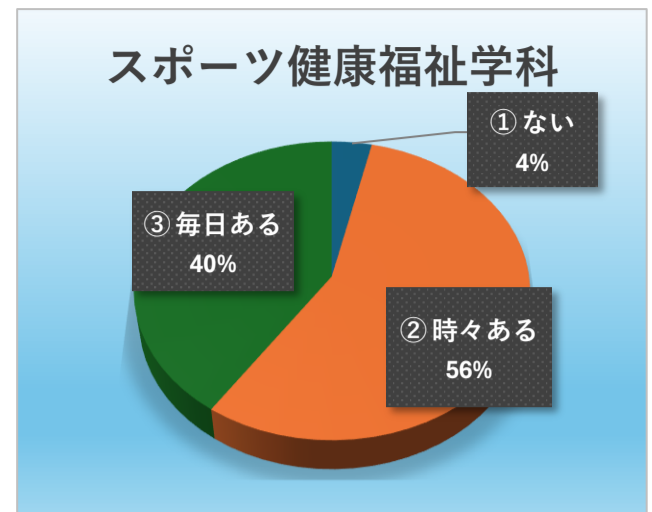


設問II-6. 授業のない日について、自由な時間はどれくらいありますか？



設問 II-7. ストレス解消やリラックスのために費やす時間がありますか？

行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある	
スポーツ健康福祉学科		3	47	34
1年		1	23	10
2年		2	11	10
3年		0	9	8
4年		0	4	6
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある	
臨床福祉学科		0	22	11
2年		0	1	0
3年		0	9	3
4年		0	12	8
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある	
動物生命薬科学科		0	23	11
1年		0	11	7
2年		0	6	1
3年		0	4	1
4年		0	2	2
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある	
生命医科学科		5	35	23
1年		3	8	6
2年		1	7	6
3年		0	15	7
4年		1	5	4
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある	
臨床心理学科		3	38	16
1年		1	20	9
2年		2	7	2
3年		0	2	3
4年		0	9	2
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある	
薬学科		14	93	80
1年		5	26	17
2年		1	12	13
3年		2	19	12
4年		4	12	14
5年		1	13	9
6年		1	11	15
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある	
大学全体		25	258	175
行ラベル	① ない	② 時々ある	③ 毎日ある	
薬学科以外		11	165	95
1年		5	62	32
2年		5	32	19
3年		0	39	22
4年		1	32	22

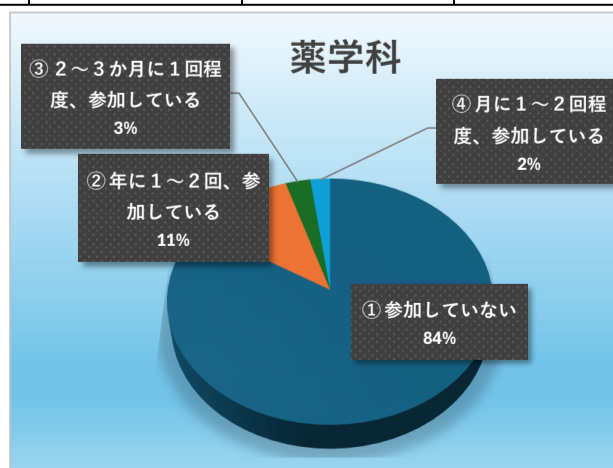
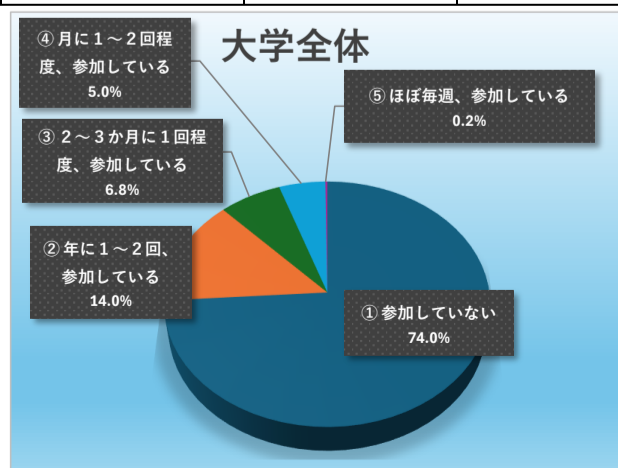
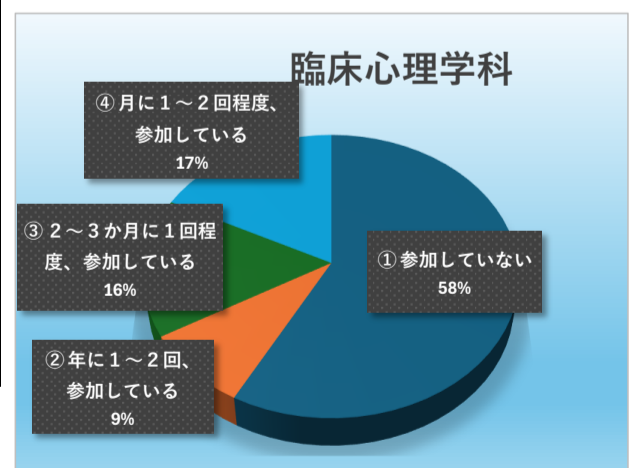
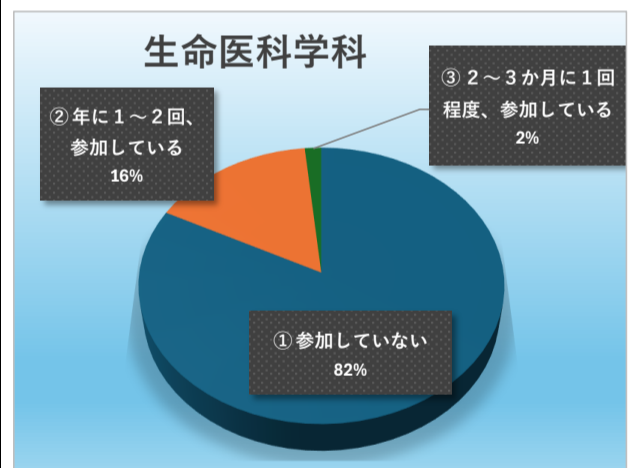
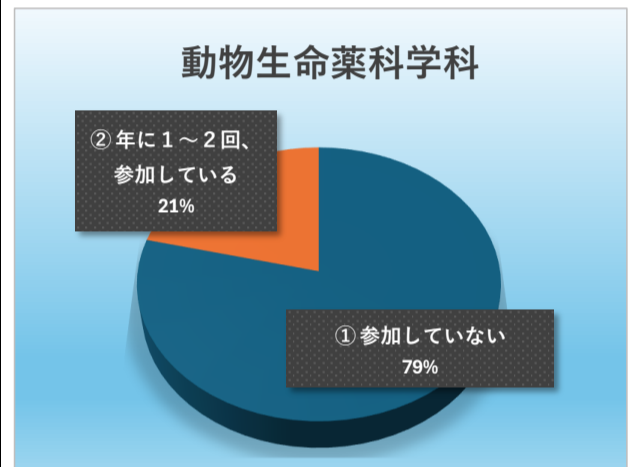
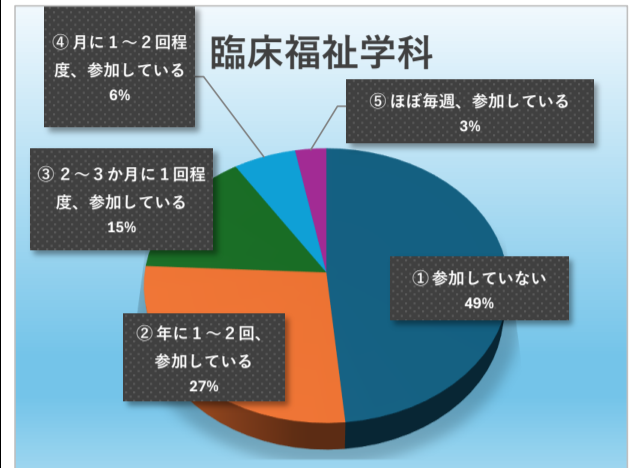
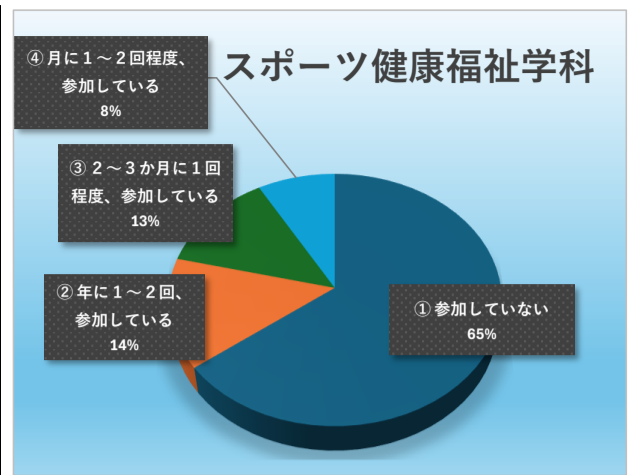


### 設問II-7. ストレス解消やリラックスのために費やす時間がありますか？

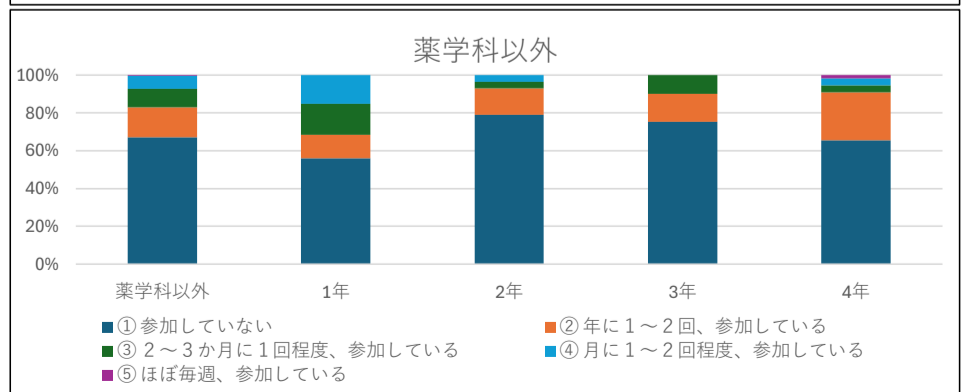
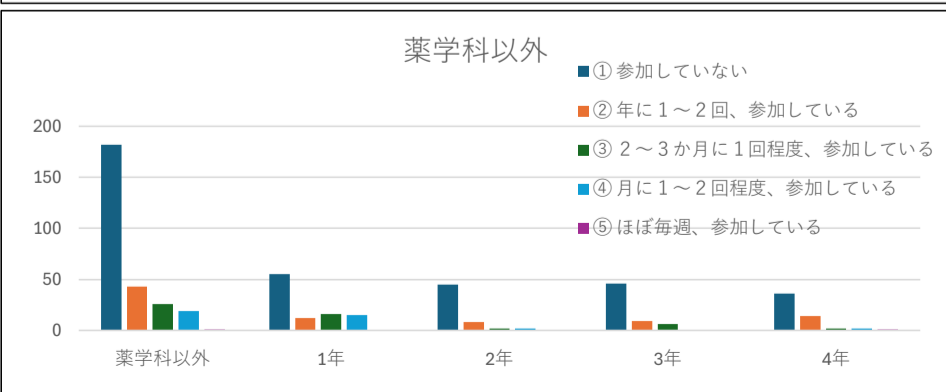
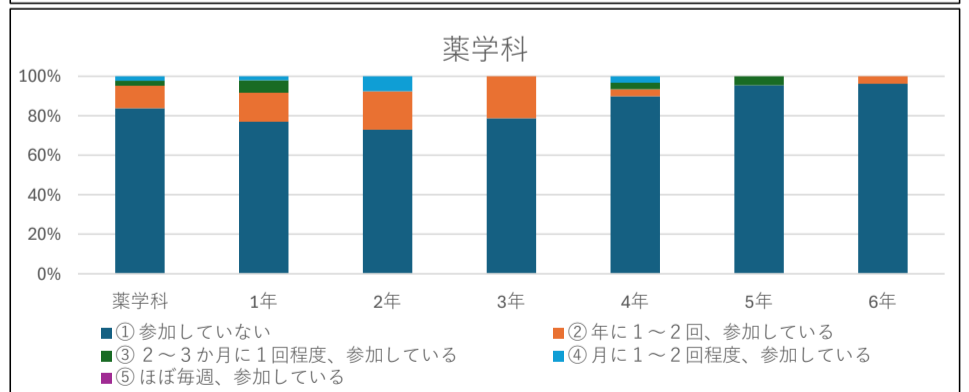
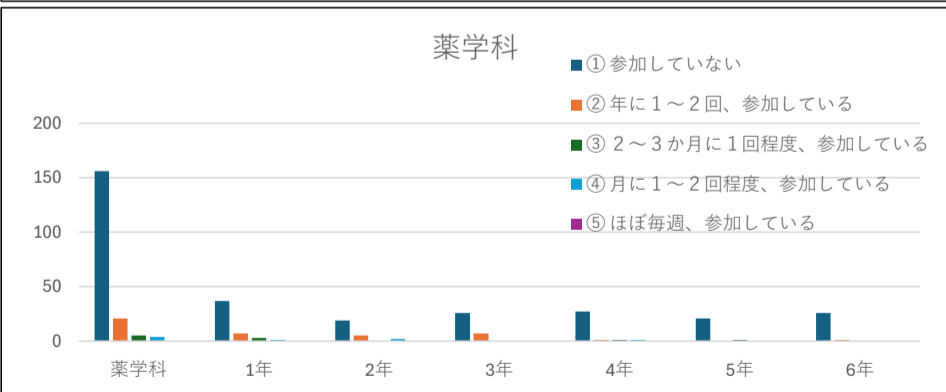
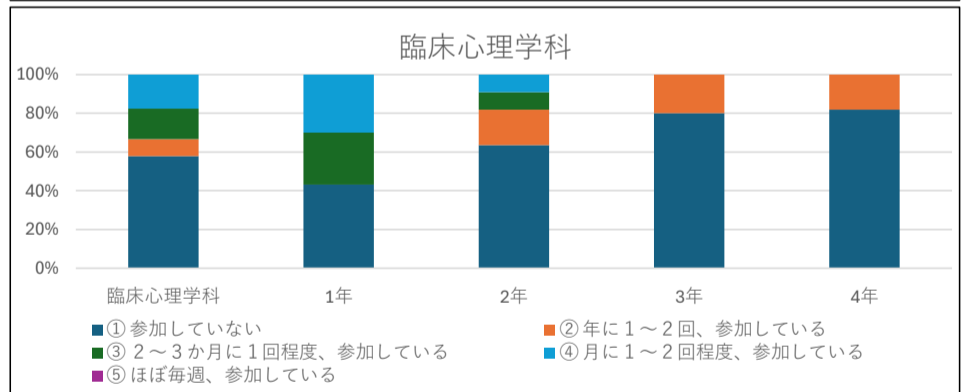
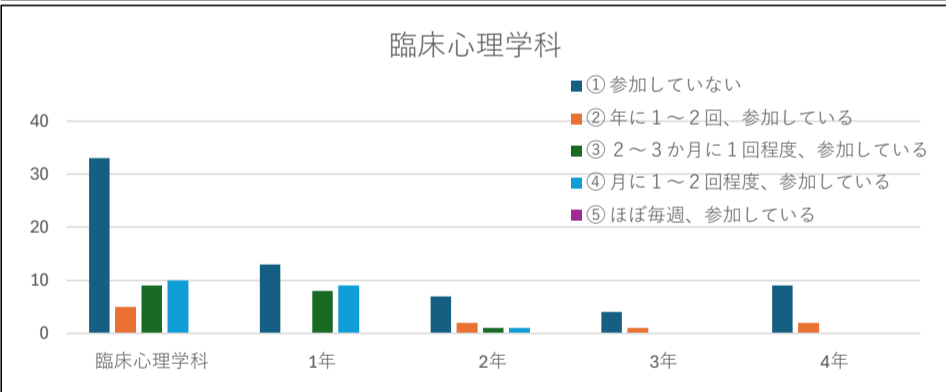
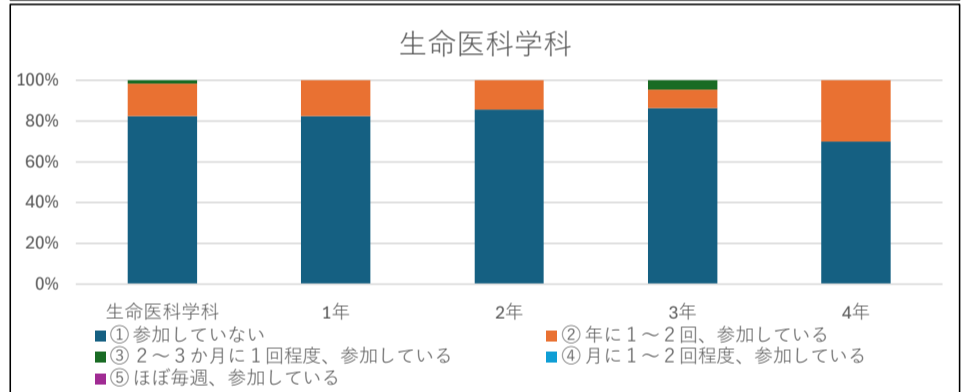
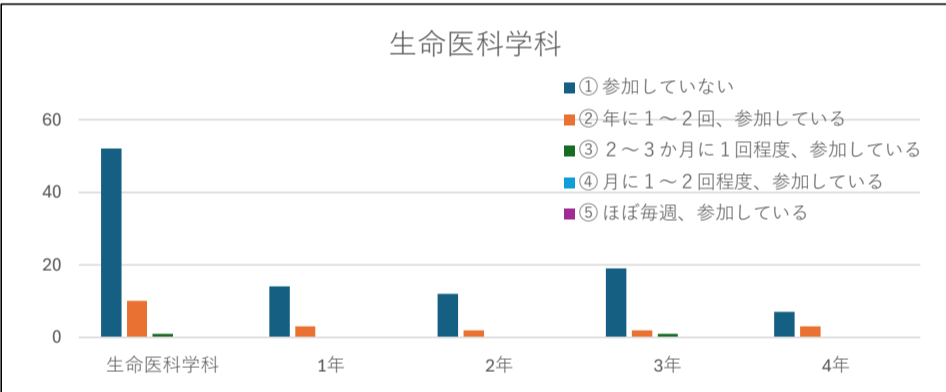
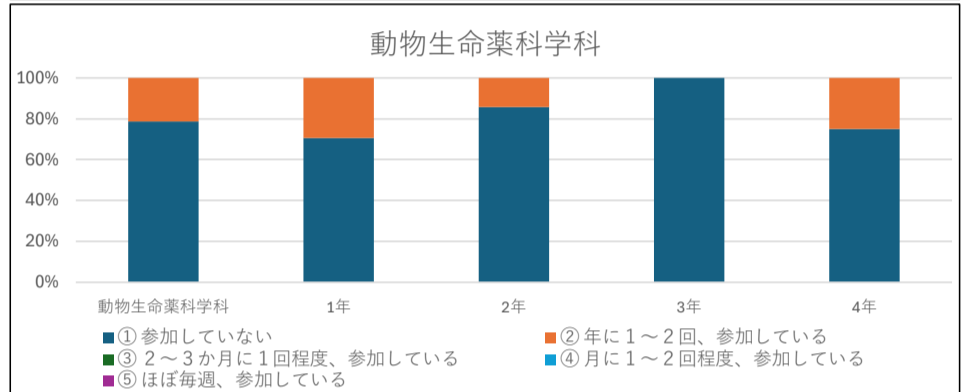
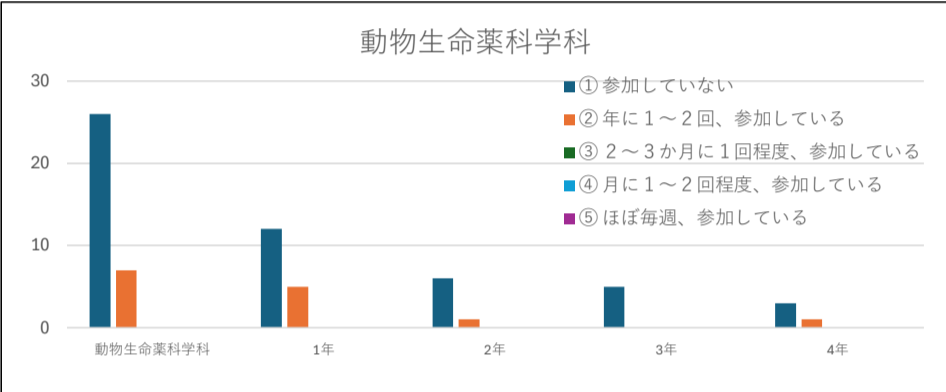
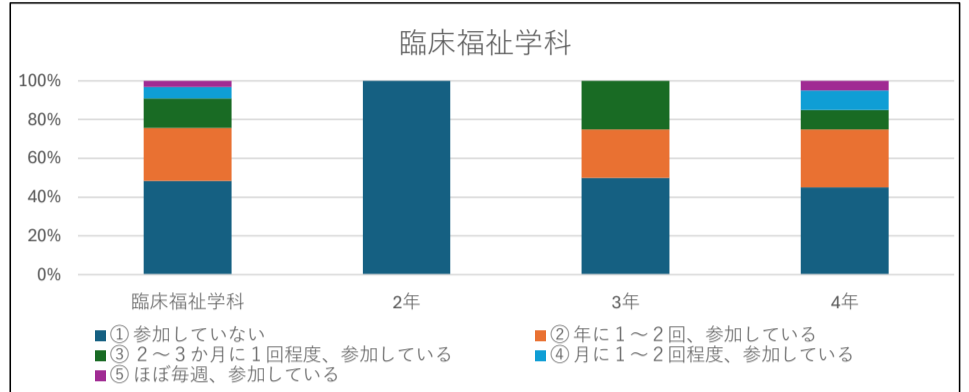
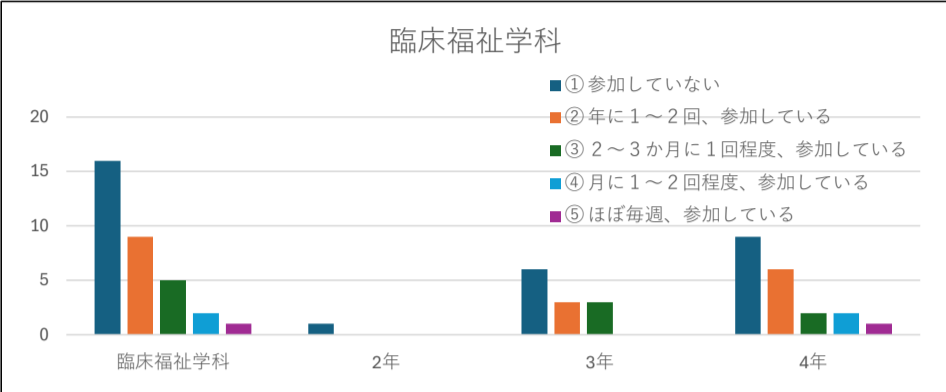
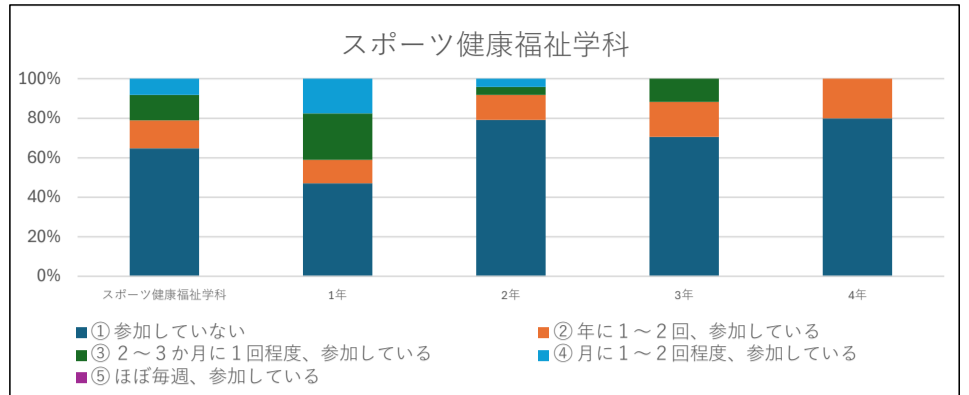
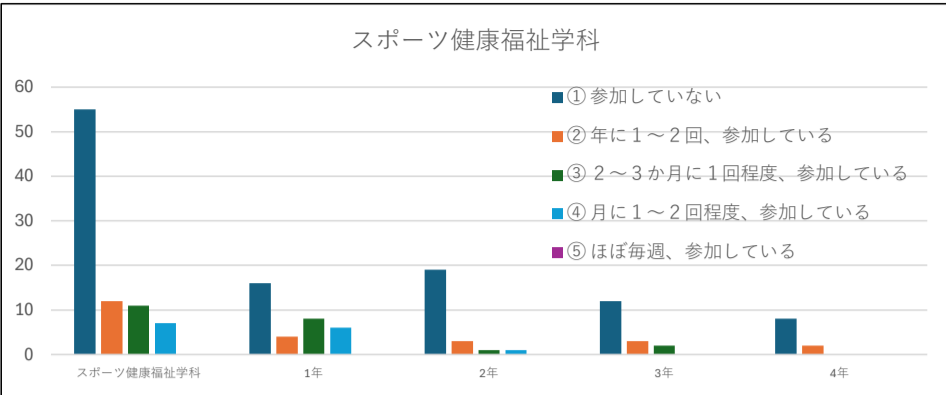


設問II-8. ボランティア活動に参加していますか？

行ラベル	① 参加していない	② 年に1~2回、参加している	③ 2~3か月に1回程度、参加している	④ 月に1~2回程度、参加している	⑤ ほぼ毎週、参加している
スポーツ健康福祉学科	55	12	11	7	0
1年	16	4	8	6	0
2年	19	3	1	1	0
3年	12	3	2	0	0
4年	8	2	0	0	0
臨床福祉学科	16	9	5	2	1
2年	1	0	0	0	0
3年	6	3	3	0	0
4年	9	6	2	2	1
動物生命薬科学科	26	7	0	0	0
1年	12	5	0	0	0
2年	6	1	0	0	0
3年	5	0	0	0	0
4年	3	1	0	0	0
生命医科学科	52	10	1	0	0
1年	14	3	0	0	0
2年	12	2	0	0	0
3年	19	2	1	0	0
4年	7	3	0	0	0
臨床心理学科	33	5	9	10	0
1年	13	0	8	9	0
2年	7	2	1	1	0
3年	4	1	0	0	0
4年	9	2	0	0	0
薬学科	156	21	5	4	0
1年	37	7	3	1	0
2年	19	5	0	2	0
3年	26	7	0	0	0
4年	27	1	1	1	0
5年	21	0	1	0	0
6年	26	1	0	0	0
大学全体	338	64	31	23	1
薬学科以外	182	43	26	19	1
1年	55	12	16	15	0
2年	45	8	2	2	0
3年	46	9	6	0	0
4年	36	14	2	2	1

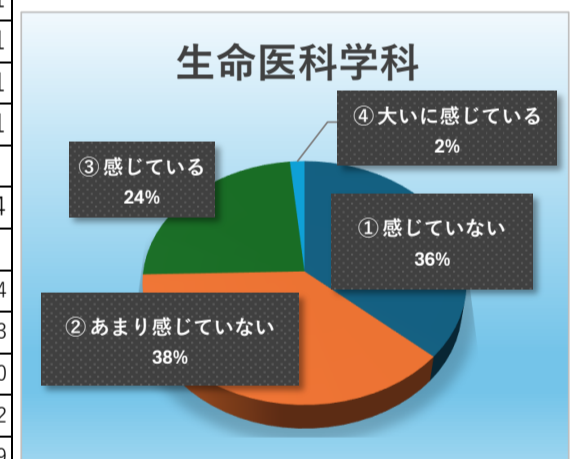
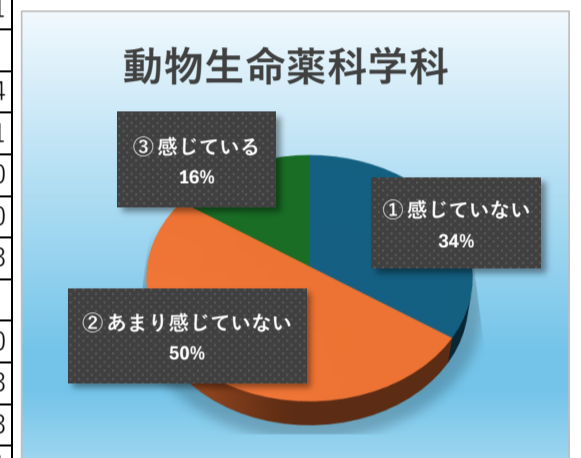
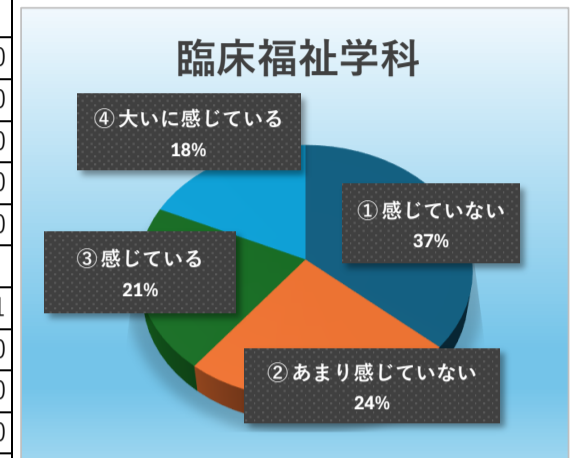
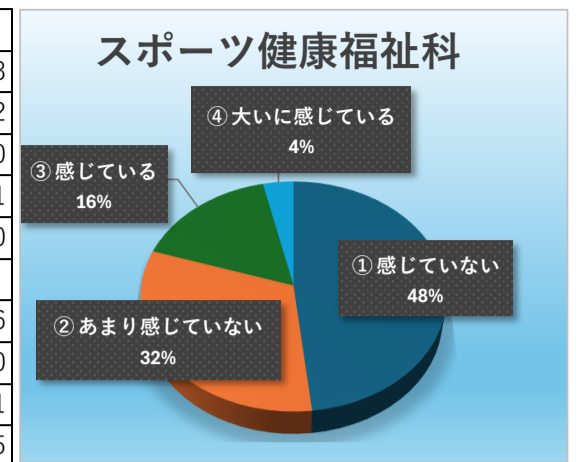


設問II-8. ボランティア活動に参加していますか？



設問 II - 9. 現在の学生生活で不安や悩みを感じていますか？

行ラベル	① 感じていない	② あまり感じていない	③ 感じている	④ 大いに感じている
スポーツ健康福祉学科	41	27	14	3
1年	16	9	7	2
2年	12	6	6	0
3年	7	9	0	1
4年	6	3	1	0
臨床福祉学科	12	8	7	6
2年	0	1	0	0
3年	5	4	2	1
4年	7	3	5	5
動物生命薬科学科	11	16	5	0
1年	7	7	3	0
2年	3	4	0	0
3年	1	2	1	0
4年	0	3	1	0
生命医科学科	23	24	15	1
1年	5	6	6	0
2年	7	3	4	0
3年	7	11	4	0
4年	4	4	1	1
臨床心理学科	24	19	10	4
1年	15	9	5	1
2年	2	6	3	0
3年	2	3	0	0
4年	5	1	2	3
薬学科	68	78	28	10
1年	21	19	5	3
2年	8	12	3	3
3年	5	18	7	1
4年	11	12	6	1
5年	10	11	1	1
6年	13	6	6	1
大学全体	179	172	79	24
薬学科以外	111	94	51	14
1年	43	31	21	3
2年	24	20	13	0
3年	22	29	7	2
4年	22	14	10	9



【学生生活における不安・悩み】回答者38名

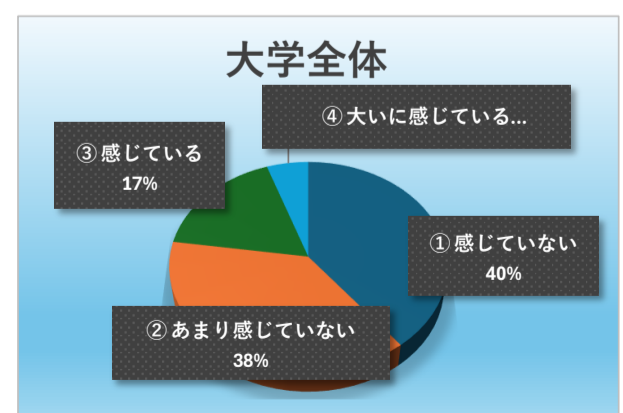
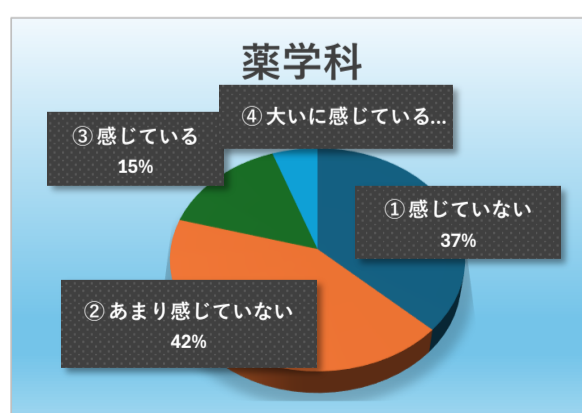
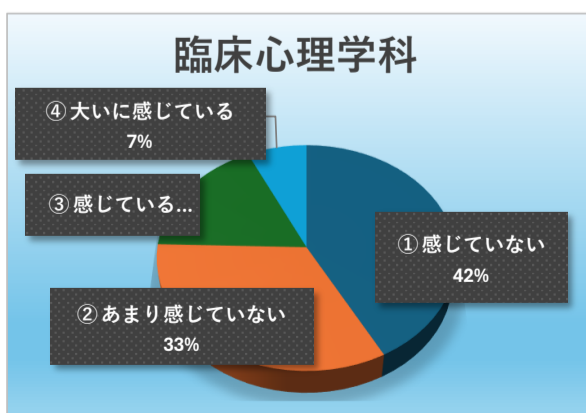
○学業や進路に関する不安  
卒業や国家試験、就職、進路未定に対する不安が多く見られた。また、授業理解や成績、勉強方法など学業面での悩みも多い。

○人間関係のストレス  
友人関係や部活動・学科内での人間関係に関する悩みが多く、孤独感やクラスの雰囲気への不満も見られた。  
※特に、学業・進路と人間関係に関する不安が多く見られた。

○生活・経済面の悩み  
アルバイトや学費、将来の金銭面に対する不安が挙げられた。

○健康・精神面の問題  
ストレスや精神的負担、学習意欲に関する悩みが見られた。

○学習環境・教育面への不満  
教員の対応や授業・施設環境に対する不満が一部で見られた。



設問 II - 9. 現在の学生生活で不安や悩みを感じていますか？



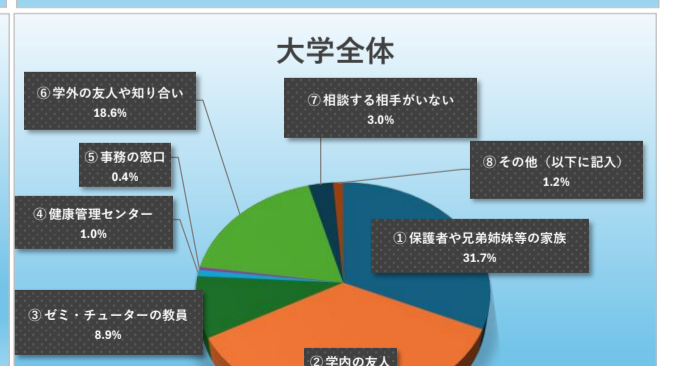
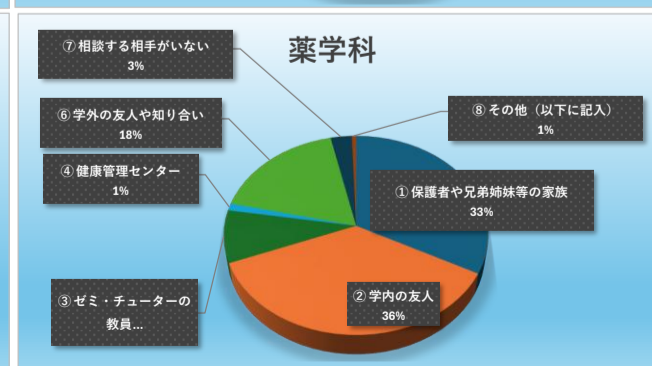
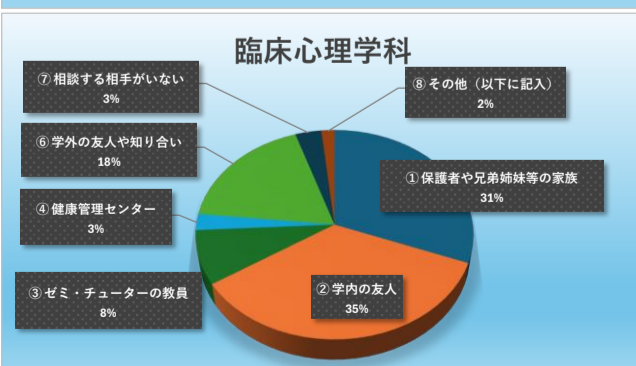
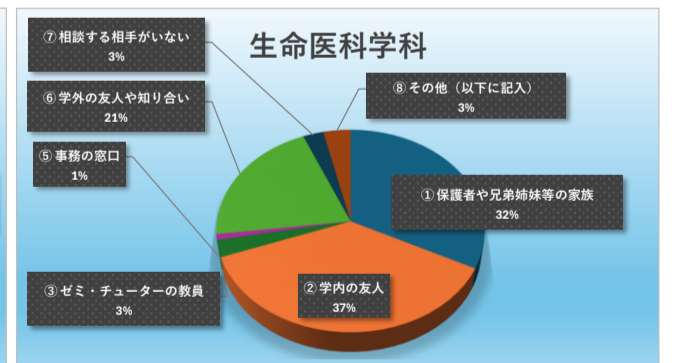
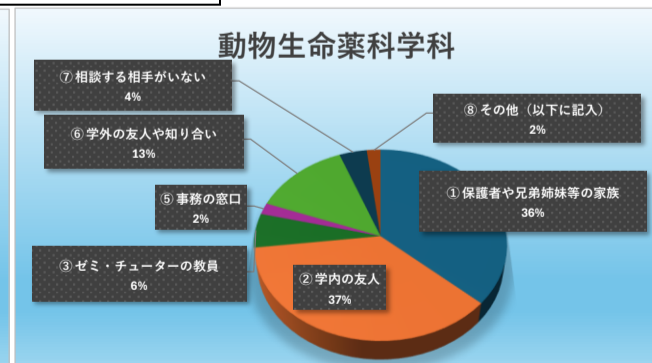
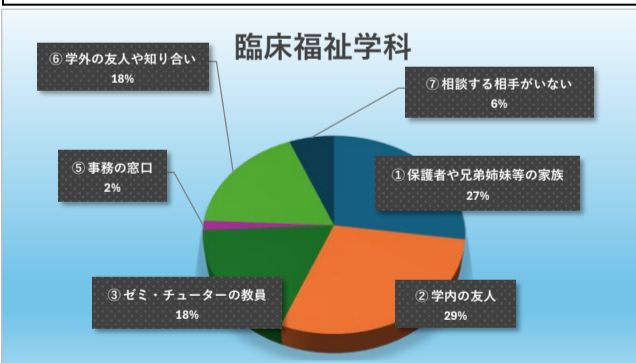
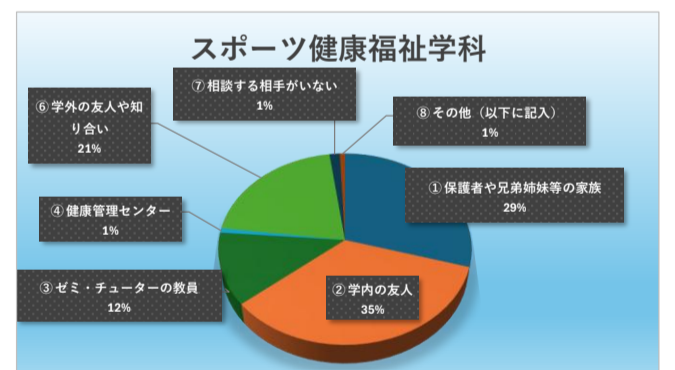
設問II-10. 悩みや不安を感じた際に誰に相談していますか？（複数回答）

行ラベル	① 保護者や兄弟姉妹等の家族	② 学内の友人	③ ゼミ・チューターの教員	④ 健康管理センター	⑤ 事務の窓口	⑥ 学外の友人や知り合い	⑦ 相談する相手がない	⑧ その他（以下に記入）
スポーツ健康福祉学科	41	48	17	1	0	29	2	1
1年	17	20	7	1	0	14	0	1
2年	16	11	5	0	0	7	0	0
3年	4	10	2	0	0	4	2	0
4年	4	7	3	0	0	4	0	0
臨床福祉学科	18	19	12	0	1	12	4	0
2年	0	1	0	0	0	1	0	0
3年	5	8	5	0	0	5	1	0
4年	13	10	7	0	1	6	3	0
動物生命薬科学科	19	19	3	0	1	7	2	1
1年	9	9	2	0	1	3	1	0
2年	4	4	0	0	0	3	1	1
3年	3	3	1	0	0	0	0	0
4年	3	3	0	0	0	1	0	0
生命医科学科	36	41	3	0	1	23	3	4
1年	12	7	0	0	0	8	2	1
2年	7	10	0	0	0	3	1	1
3年	14	16	1	0	0	8	0	1
4年	3	8	2	0	1	4	0	1
臨床心理学科	37	42	10	3	0	22	4	2
1年	19	25	3	1	0	11	1	0
2年	4	9	3	1	0	3	2	0
3年	5	3	1	0	0	2	0	1
4年	9	5	3	1	0	6	1	1
薬学科	115	128	30	4	0	63	10	2
1年	34	33	6	2	0	19	0	0
2年	19	16	3	2	0	4	2	1
3年	23	28	7	0	0	12	1	0
4年	17	20	7	0	0	11	4	1
5年	11	14	2	0	0	9	2	0
6年	11	17	5	0	0	8	1	0
大学全体	266	297	75	8	3	156	25	10
薬学科以外	151	169	45	4	3	93	15	8
1年	57	61	12	2	1	36	4	2
2年	31	35	8	1	0	17	4	2
3年	31	40	10	0	0	19	3	2
4年	32	33	15	1	2	21	4	2

【学生が悩みや不安を感じた際の相談相手】回答者8名

- 相談していない・できていない
  - ・相談していない、相談しない
  - ・あまり人に相談しようと思わない
- 大学の教職員
  - ・先生
  - ・大学内の教員（チューター以外）
- 医療機関
  - ・病院
- 友人・当事者同士
  - ・当事者の仲間

※相談していない、または相談に消極的な学生が多く見られた。



設問II-10. 悩みや不安を感じた際に誰に相談していますか？（複数回答）

